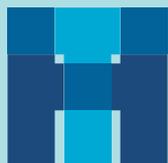


2026年度 履修の手引

ホスピタリティ・ツーリズム学部

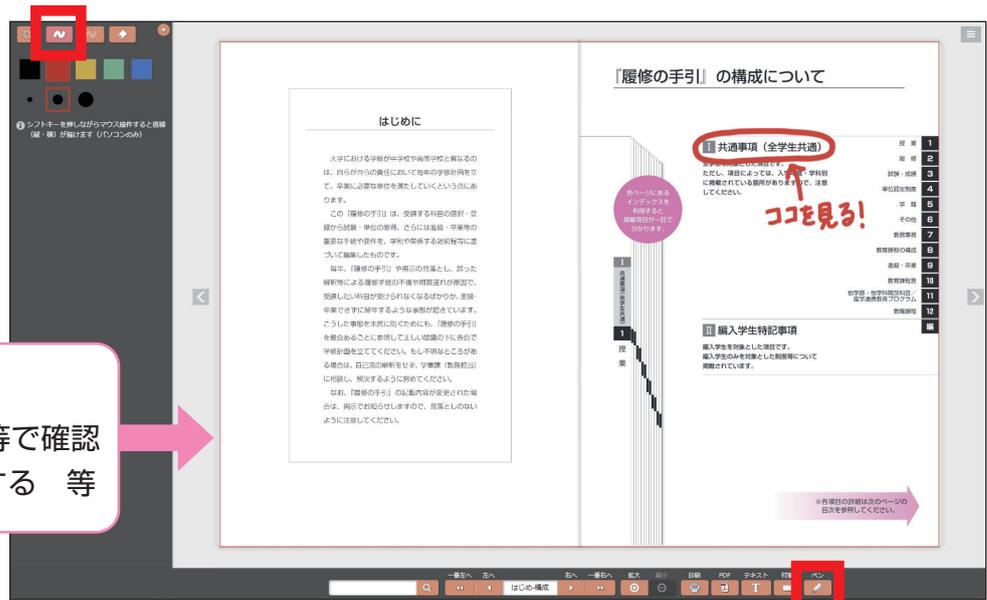
SCHOOL OF
HOSPITALITY & TOURISM
MANAGEMENT



デジタルブックの便利な機能について

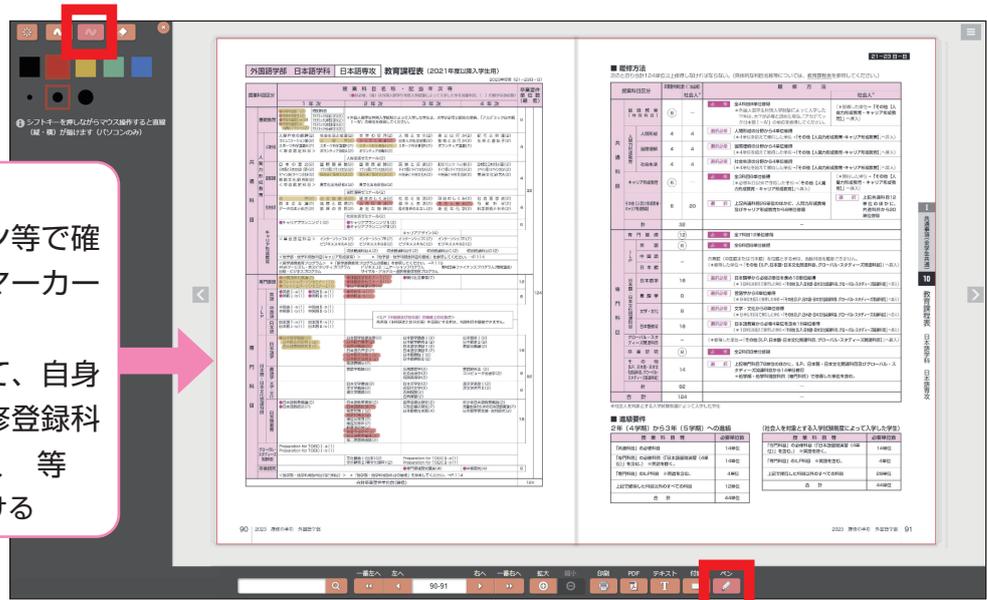
手書き機能

使用例)
オリエンテーション等で確認
した重要事項をメモする 等



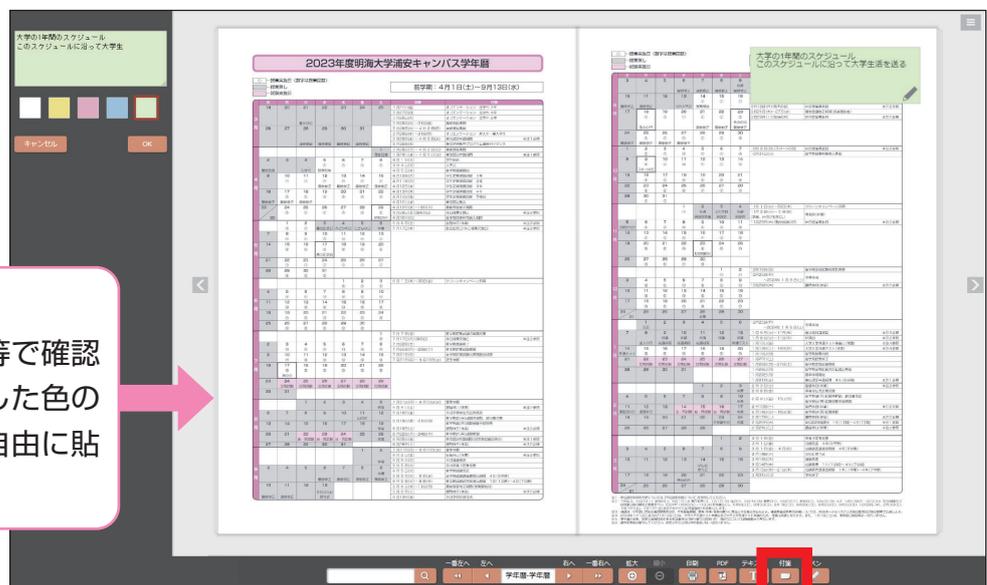
マーカー機能

使用例)
・オリエンテーション等で確
認した重要事項をマーカー
する
・教育課程表において、自身
の既修得科目や履修登録科
目にマーカーを引く 等
※直線は PC 版のみ引ける

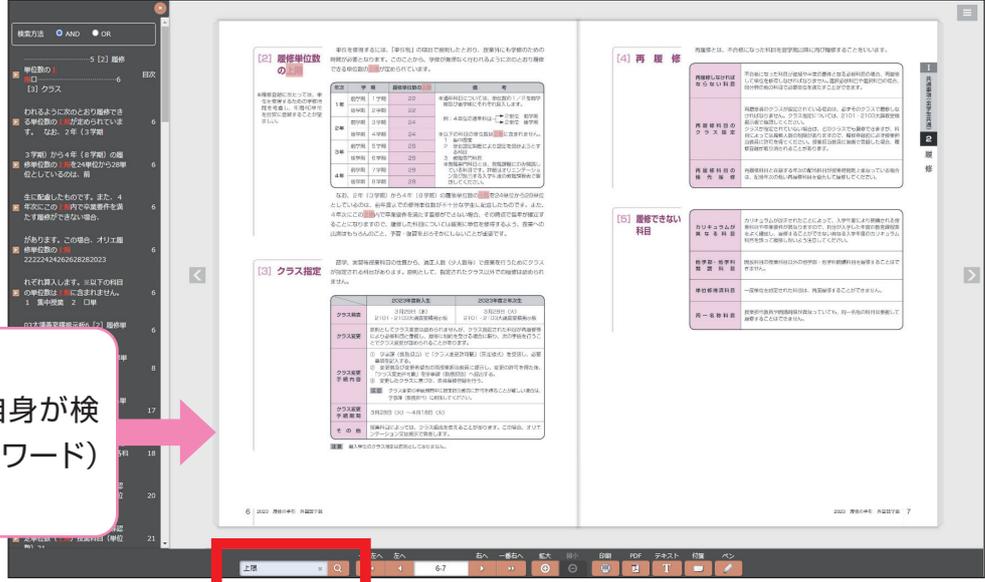


付箋機能

使用例)
オリエンテーション等で確認
した重要事項を選択した色の
付箋にメモを記入し自由に貼
り付ける

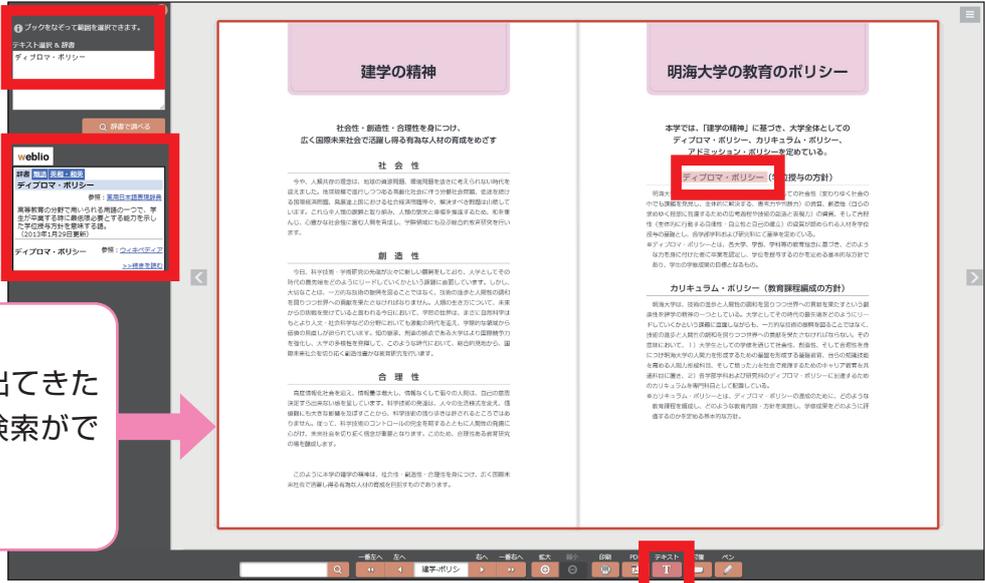


ワード検索機能



使用例)
履修の手引の中で、自身が検索したい事項を単語（ワード）で検索する

辞書検索機能



使用例)
意味が不明な用語が出てきた場合にその場で辞書検索ができる
※ PC 版のみ使用可能

デジタルブックはスマートフォンでも利用できます
基本的な機能はPC版と同等のものが使用できますが、一部機能はPC版のみとなります。

【スマートフォン画面】



注意 「履修の手引」に書き込む、マーカーを引く、付箋を貼る等の作業を行った場合、その情報が保存されるのは同じデバイス（PC、スマートフォン、タブレット等）、かつ、同じブラウザ（Microsoft Edge、Mozilla Firefox、Chrome、Safari等）で開く場合のみですので注意してください。

はじめに

大学における学修が中学校や高等学校と異なるのは、自らが自らの責任において毎年の学修計画を立て、卒業に必要な単位を満たしていくという点にあります。

この『履修の手引』は、受講する科目の選択・登録から試験・単位の修得、さらには進級・卒業等の重要な手続や要件を、学則や関係する諸規程等に基づいて編集したものです。

毎年、『履修の手引』や掲示の見落とし、誤った解釈等による履修手続の不備や期限遅れが原因で、受講したい科目が受けられなくなるばかりか、進級・卒業できずに留年するような事態が起きています。こうした事態を未然に防ぐためにも、『履修の手引』を機会あるごとに参照して正しい認識の下に各自で学修計画を立ててください。もし不明なところがある場合は、自己流の解釈をせず、学事課（教務担当）に相談し、解決するように努めてください。

なお、『履修の手引』の記載内容が変更された場合は、掲示でお知らせしますので、見落としのないように注意してください。

『履修の手引』の構成について

各ページにある
インデックスを
利用すると
掲載項目が一目で
分かります。

I

共通事項（全学生共通）

1

授業

I 共通事項（全学生共通）

全学生を対象とした項目です。

ただし、項目によっては、入学年度別に掲載されている箇所がありますので、注意してください。

授業

1

履修

2

試験・成績

3

単位認定制度

4

学籍

5

その他

6

教務事務

7

教育課程の構成

8

進級・卒業

9

教育課程表

10

他学部・他学科開放科目／
産学連携教育プログラム

11

II 編入学生・学士入学生特記事項

編入学生・学士入学生を対象とした項目です。

編入学生・学士入学生のみを対象とした制度等について掲載されています。

編・学

※各項目の詳細は次のページの
目次を参照してください。

目次

2026年度学年暦／建学の精神／明海大学の教育のポリシー／三つのポリシー／学修成果とその測定方法／学部長メッセージ／学部概要

I 共通事項

1 授業

1 授業	1
[1] 学期	1
[2] 授業時間	1
[3] 授業の出席	1
[4] 授業の欠席	2
[5] 休講	3
[6] 補講	3
2 授業科目	3
[1] 開講期	3
[2] 配当年次	3
[3] 授業科目の種類	3
3 単位制	4
[1] 単位制とは	4
[2] 単位を修得するための学修時間	4
[3] 各授業科目の単位数	4
[4] 単位の認定	4

2 履修

1 履修のルール	5
[1] 履修登録とは	5
[2] 履修単位数の上限	6
[3] クラス指定	7
[4] 再履修	7
[5] 履修できない科目	7
2 履修登録方法	8

3 試験・成績

1 試験	12
[1] 試験の種類	12
[2] 定期試験の欠席	13
[3] 試験日程・受験手続	13
[4] 試験時間	14
[5] 受験資格・受験上の注意 (学年暦に定められた期間に行われる試験)	14
2 成績	15
[1] 成績評価・成績表記	15
[2] GPA(成績平均点数制)	16
[3] 成績発表	17
[4] 成績調査	17

4 単位認定制度

1 単位認定制度について	18
2 各制度の内容及び申請方法等	19
[1] 既修得単位	19
[2] 知識及び技能に係る審査の成果	21
[3] 派遣留学生(約1年間の海外留学)	28
[4] 派遣留学生(短期海外研修)	29
[5] 派遣学生(国内)	29
[6] インターンシップ	30
[7] ボランティア活動	30
[8] ホスピタリティ・ボランティア活動	30

5 学籍

1 修業年限と在学期間	31
2 学籍の異動	32
[1] 休学	32
[2] 復学	33
[3] 退学	33
[4] 除籍	33
[5] 復籍	33
[6] 転学部	33

6 その他

1 明海多言語コミュニケーションコモンズ(MLACC)	34
2 コンピュータ・コンサルティング・サロン(CCS)	34
3 科目等履修生	35
4 研究生	35

7 教務事務

1 証明書	36
2 事務取扱時間	37
3 問い合わせ	37
4 学生への連絡	38
[1] Webポータルシステムによる掲示配信	38
[2] 掲示板の場所と掲示内容	38
5 メールアカウントの付与	38
6 シラバス	39
7 manaba	40
8 学修ポートフォリオ	40
9 交通機関の運休又は自然災害等による休講措置	40

8 教育課程の構成

1 授業科目の構成	41
2 専門科目	43
3 カリキュラムマップ(履修系統図)	45
4 クラス担任制	49
5 専攻(メジャー)変更	49

9 進級・卒業

1 進級	50
[1]進級要件	50
[2]進級発表	52

2 卒業	52
[1]卒業要件	52
[2]卒業単位充足者・卒業予定者発表	54
[3]学位	54
3 年次(学期)別基準単位数	55

10 教育課程表

教育課程表	61
-------	----

11 他学部・他学科開放科目/産学連携教育プログラム

他学部・他学科開放科目の履修	70
産学連携教育プログラムの履修	75

II 編入学生・学士入学生特記事項

1 修業年限と在学期間	77
2 2年間の学修計画	77
3 既修得単位の認定(包括・弾力認定)	77
4 卒業要件	78

5 その他	78
[1]クラス指定	78
[2]修得(認定)済科目の履修	78
6 教育課程表(編入学生・学士入学生用)	79

2026年度明海大学浦安キャンパス学年暦(学部)

- ① …授業実施日(数字は授業回数)
- …授業無し
- …試験実施日
- …休日授業実施日

前学期: 4月1日(水)～9月11日(金)

	日							日程		行事	
	日	月	火	水	木	金	土				
3月	15	16	17	18	19	20	21	3月25日(水)	オリエンテーション 全学科 3年		
						春分の日		3月26日(木)	オリエンテーション 全学科 4年		
	22	23	24	25	26	27	28	3月27日(金)	オリエンテーション 全学科 2年		
						履修登録	履修登録	3月27日(金)～4月2日(木)	履修登録期間・履修相談期間		
	29	30	31					3月30日(月)～4月1日(水)	オリエンテーション 新入生・編入学生・学士入学生		
								3月30日(月)～4月6日(月)	単位認定申請期間 ※注1参照		
				1	2	3	4	3月27日(金)～4月2日(木)	履修登録期間・履修相談期間		
				履修登録	履修登録		入学式	3月30日(月)～4月1日(水)	オリエンテーション 新入生・編入学生・学士入学生		
								3月30日(月)～4月6日(月)	単位認定申請期間 ※注1参照		
4月	5	6	7	8	9	10	11	4月1日(水)	学年始め		
		①	①	①	①	①	①	4月1日(水)	産学連携教育プログラム履修ガイダンス		
		授業開始				履修修正	履修修正	4月4日(土)	入学式		
	12	13	14	15	16	17	18	4月6日(月)	前学期授業開始		
		②	②	②	②	②	②	4月6日(月)	学生定期健康診断 1年		
								4月7日(火)	学生定期健康診断 2年		
								4月8日(水)	学生定期健康診断 3年		
								4月9日(木)	学生定期健康診断 4年		
	19	20	21	22	23	24	25	4月10日(金)	学生定期健康診断 予備日		
		③	③	③	③	③	③	4月10日(金)	単位認定発表		
26	27	28	29	30			4月10日(金)～16日(木)	履修登録修正期間			
	④	④	④	④			4月29日(水)[昭和の日]	休日授業実施日 ※注2参照			
			昭和の日				4月30日(木)	前学期授業料等納入期限			
5月						1	2	5月17日(日)	創立記念日		
						④	④				
	3	4	5	6	7	8	9				
		憲法記念日	みどりの日	こどもの日	振替休日	⑤	⑤	⑤			
	10	11	12	13	14	15	16				
	⑤	⑤	⑤	⑥	⑥	⑥					
17	18	19	20	21	22	23					
	⑥	⑥	⑥	⑦	⑦	⑦					
24	25	26	27	28	29	30					
	⑦	⑦	⑦	⑧	⑧	⑧					
31											
6月		1	2	3	4	5	6	6月1日(月)～30日(火)	クリーンキャンペーン月間		
		⑧	⑧	⑧	⑨	⑨	⑨				
	7	8	9	10	11	12	13				
		⑨	⑨	⑨	⑩	⑩	⑩				
	14	15	16	17	18	19	20				
	⑩	⑩	⑩	⑪	⑪	⑪					
21	22	23	24	25	26	27					
	⑪	⑪	⑪	⑫	⑫	⑫					
28	29	30									
	⑫	⑫									
7月				1	2	3	4	7月3日(金)	前学期定期試験時間割発表		
				⑫	⑬	⑬	⑬	7月20日(月)[海の日]	休日授業実施日 ※注2参照		
	5	6	7	8	9	10	11	7月22日(水)	前学期授業終了		
		⑬	⑬	⑬	⑭	⑭	⑭	7月23日(木)	前学期補講日 ※注3参照		
	12	13	14	15	16	17	18	7月23日(木)	休講日 ※注2参照		
		⑭	⑭	⑭	⑮	⑮	⑮	7月24日(金)～30日(木)	前学期定期試験期間		
19	20	21	22	23	24	25	7月31日(金)	前学期定期試験欠席届提出期限			
	⑮	⑮	⑮	休講	定期試験	定期試験	7月31日(金)～9月11日(金)	夏季休暇			
				補講日							
26	27	28	29	30	31						
	定期試験	定期試験	定期試験	定期試験							
8月							1	7月31日(金)～9月11日(金)	夏季休暇		
							休業	8月1日(土)～8日(土)	振替休日(休業) ※注2参照		
	2	3	4	5	6	7	8	8月18日(火)	9月卒業単位充足者発表		
							休業	8月18日(火)～19日(水)	前学期追(再)試験時間割、該当者発表		
	9	10	11	12	13	14	15	8月20日(木)～21日(金)・24日(月)	前学期追(再)試験受験手続期間		
			山の日					8月21日(金)	前学期追(再)試験期間		
16	17	18	19	20	21	22	8月22日(土)～29日(土)	単位認定申請期限(前学期成績反映分) ※注1参照			
				追(再)試験	追(再)試験	休業	8月22日(土)～29日(土)	振替休日(休業) ※注2参照			
23	24	25	26	27	28	29					
	追(再)試験					休業					
30	31										
9月			1	2	3	4	5	7月31日(金)～9月11日(金)	夏季休暇		
								9月3日(木)	9月進級発表		
								9月3日(木)	9月卒業予定者発表		
								9月3日(木)	前学期成績発表		
								9月3日(木)～4日(金)	前学期成績調査願提出期間 4年(8学期)		
								9月3日(木)～8日(火)	前学期成績調査願提出期間 1年(1学期)～4年(7学期)		
6	7	8	9	10	11		9月4日(金)～9日(水)	履修登録修正期間(授業開始前)			
							9月11日(金)	9月卒業式			
	履修修正	履修修正	履修修正	履修修正		9月卒業式					

- ① …授業実施日(数字は授業回数)
- …授業無し
- …試験実施日
- …休日授業実施日

後学期:9月12日(土)~3月31日(水)

日		月		火	水	木	金	土	日程	行事
9月			1	2	3	4	5	6	7月31日(金)~9月11日(金)	夏季休暇
						履修修正	履修修正	9月4日(金)~9日(水)	履修登録修正期間(授業開始前)	
	6	7	8	9	10	11	12	9月7日(月)	オリエンテーション(9月進級者・復学者)	
	履修修正	履修修正	履修修正	履修修正		9月入学式	①	9月11日(金)	9月入学式	
						9月入学式	②	9月12日(土)	後学期授業開始	
	13	14	15	16	17	18	19	9月18日(金)~24日(木)	履修登録修正期間(授業開始後)	
	①	①	①	①	①	②	9月21日(月)[敬老の日]	休日授業実施日	※注2参照	
					履修修正	履修修正	9月24日(木)	休講日	※注2参照	
	20	21	22	23	24	25	26			
	履修修正	敬老の日	国民の休日	秋分の日	休講	②	③			
	履修修正	履修修正	履修修正	履修修正	履修修正					
	27	28	29	30						
		③	②	②						
10月					1	2	3	4	10月12日(月)[スポーツの日]	休日授業実施日
					②	③	④	⑤	10月30日(金)~11月2日(月)	※注2参照
	4	5	6	7	8	9	10	(準備、片付けを含む。)	明海祭(休講)	
		④	③	③	③	④	⑤	10月31日(土)	後学期授業料等納入期限	
	11	12	13	14	15	16	17			
	⑤	④	④	④	⑤	⑥				
	18	19	20	21	22	23	24			
	スポーツの日	⑥	⑤	⑤	⑤	⑥	⑦			
	25	26	27	28	29	30	31			
		⑦	⑥	⑥	⑥	明海祭準備	明海祭			
11月	1	2	3	4	5	6	7	10月30日(金)~11月2日(月)	明海祭(休講)	
		明海祭	明海祭片付け	文化の日	⑦	⑦	⑦	⑧	(準備、片付けを含む。)	
	8	9	10	11	12	13	14	11月1日(日)~30日(月)	クリーンキャンペーン月間	
		⑧	⑦	⑧	⑧	⑧	⑨	⑩	11月23日(月)[勤労感謝の日]	休日授業実施日
	15	16	17	18	19	20	21			※注2参照
	⑨	⑧	⑨	⑨	⑨	⑩	⑪			
	22	23	24	25	26	27	28			
	勤労感謝の日	⑩	⑨	⑩	⑩	⑩	⑪			
	29	30								
		⑪								
12月			1	2	3	4	5	12月11日(金)	後学期定期試験時間割発表	
			⑩	⑪	⑪	⑪	⑫	⑬	12月26日(土)	冬季休暇
	6	7	8	9	10	11	12	~2027年1月7日(木)		
		⑫	⑪	⑫	⑫	⑫	⑬	⑭	12月28日(月)	振替休日(休業)
	13	14	15	16	17	18	19			※注2参照
	⑬	⑫	⑬	⑬	⑬	⑭	⑮			
	20	21	22	23	24	25	26			
	⑭	⑬	⑭	⑭	⑭	⑮	⑯			
	27	28	29	30	31					
		休業								
1月						1	2	2026年12月26日(土)	冬季休暇	
						元日	⑮	⑯	~1月7日(木)	
	3	4	5	6	7	8	9	1月8日(金)	後学期授業再開	
						⑮	⑮	⑮	1月15日(金)	大学入学共通テスト準備日(休講)
	10	11	12	13	14	15	16	1月16日(土)・17日(日)	大学入学共通テスト(休業)	※注4参照
		成人の日	⑭	⑮	⑮	休講	共通テスト	1月19日(火)	後学期授業終了	※注4参照
	17	18	19	20	21	22	23	1月20日(水)	後学期補講日	※注3参照
		⑮	⑮	休講	定期試験	定期試験	定期試験	1月20日(水)	休講日	※注2参照
24	25	26	27	28	29	30	1月21日(木)~27日(水)	後学期定期試験期間		
	共通テスト	⑮	⑮	補講日	定期試験	定期試験	1月28日(木)	後学期定期試験欠席届提出期限		
31	定期試験	定期試験	定期試験	定期試験	定期試験	定期試験	1月28日(木)	春季休暇開始		
								1月29日(金)	単位認定申請期限 4年(8学期)	※注1参照
2月		1	2	3	4	5	6	2月6日(土)	振替休日(休業)	※注2参照
							休業	2月9日(火)	卒業単位充足者発表	
	7	8	9	10	11	12	13	2月9日(火)・10日(水)	後学期追(再)試験時間割、該当者発表	
						⑫	⑬	2月12日(金)・15日(月)・16日(火)	後学期追(再)試験期間	
	14	15	16	17	18	19	20	2月13日(土)	振替休日(休業)	※注2参照
						⑬	⑭	2月19日(金)	単位認定申請期限 1年(1学期)~4年(7学期)	※注1参照
		追(再)試験	追(再)試験				休業	2月20日(土)	振替休日(休業)	※注2参照
	21	22	23	24	25	26	27	2月26日(金)	卒業予定者発表	
							2月26日(金)	成績発表 4年(8学期)		
							2月26日(金)・3月1日(月)	成績調査願提出期間 4年(8学期)		
28	29	30	31				2月27日(土)	振替休日(休業)	※注2参照	
								2月26日(金)・3月1日(月)	成績調査願提出期間 4年(8学期)	
3月		1	2	3	4	5	6	3月10日(水)	卒業式	
	7	8	9	10	11	12	13	3月12日(金)	進級発表	
				卒業式				3月12日(金)	成績発表 1年(1学期)~4年(7学期)	
	14	15	16	17	18	19	20	3月12日(金)~17日(水)	成績調査願提出期間 1年(1学期)~4年(7学期)	
	21	22	23	24	25	26	27	3月31日(水)	学年終了	
	香分の日	振替休日								
	28	29	30	31						

注1: 単位認定申請の手続については、「単位認定制度について」を参照してください。
 注2: 今年度は、4月29日(水・昭和の日)、7月20日(月・海の日)、9月21日(月・敬老の日)、10月12日(月・スポーツの日)及び11月23日(月・勤労感謝の日)は授業日数の関係上授業を行い、7月23日(木)、9月24日(木)及び2027年1月20日(水)を休講日とし、8月1日(土)、8月8日(土)、8月22日(土)、8月29日(土)、12月28日(月)、2027年2月6日(土)、2月13日(土)、2月20日(土)及び2月27日(土)を振替休日(休業)とします。
 注3: 補講は、学年暦に定める補講期間のほか、平常授業期間、夏季・冬季・春季休暇中に実施される場合があります。補講実施日時等の詳細については、Webポータルシステムの掲示配信及び掲示板等で告知します。
 注4: 2027年1月15日(金)及び1月16日(土)は、大学入学共通テスト準備日及び大学入学共通テスト実施のため、授業は休講となります。また、1月16日(土)は、事務窓口取扱等は一切行いません。
 注5: 学年暦の変更、授業に直接関係のある緊急事項及び諸行事等の詳細日程・場所等については随時掲示で告知します。
 注6: 諸手続期限は厳守してください。指定された日時以外の取扱いは一切行いません。

MEIKAI UNIVERSITY 2026 ACADEMIC CALENDAR
SCHOOL OF HOSPITALITY & TOURISM MANAGEMENT / DEPARTMENT OF HOSPITALITY & TOURISM MANAGEMENT
GLOBAL MANAGEMENT MAJOR

- ① ---Class day : Spring Semester Term 1
- ② ---Class day : Spring Semester Term 2
- * The number inside the circle indicates the number of classes
- No Class day
- NH ---National Holiday
- SH ---Substitute Holiday(University Closed)
- NH ---Classes Held on National Holiday
- Anniversary ---Anniversary of the University's Founding

Spring Semester : April 1 (Wed) ~ September 11 (Fri)

		SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	Date	Schedule
Mar.	3	15	16	17	18	19	20	21	March 25 (Wed)	Orientation for 3rd year Students
							NH		March 26 (Thu)	Orientation for 4th year Students
		22	23	24	25	26	27	28	March 27 (Fri)	Orientation for 2nd year Students
									March 27 (Fri) ~ April 2 (Thu)	Course Registration Period / Consulting Period for Course Registration
									March 30 (Mon) ~ April 1 (Wed)	Orientation for New Students / Orientation for Transfer Students
		29	30	31				March 30 (Mon) ~ April 6 (Mon)	Application Period for Credit Recognition * <small>(Credits earned at other universities and qualifications or skills for knowledge and competency assessment before enrollment)</small>	
Apr.	4				1	2	3	4	March 27 (Fri) ~ April 2 (Thu)	Course Registration Period / Consulting Period for Course Registration
									March 30 (Mon) ~ April 1 (Wed)	Orientation for New Students / Orientation for Transfer Students
									March 30 (Mon) ~ April 6 (Mon)	Application Period for Credit Recognition * <small>(Credits earned at other universities and qualifications or skills for knowledge and competency assessment before enrollment)</small>
		5	6	7	8	9	10	11	April 1 (Wed)	Start of Academic Year
			①	①	①	①	①	①	April 1 (Wed)	Guidance for Cooperative Academic-Industrial Programs (held in Japanese only)
		12	13	14	15	16	17	18	April 4 (Sat)	Matriculation Ceremony
			②	②	②	②	②	②	April 6 (Mon)	Start of Spring Semester Term 1 Courses
									April 6 (Mon)	Health Examination for 1st year Students
									April 7 (Tue)	Health Examination for 2nd year Students
									April 8 (Wed)	Health Examination for 3rd year Students
									April 9 (Thu)	Health Examination for 4th year Students
									April 10 (Fri)	Health Examination Alternative Day
		26	27	28	29	30		April 10 (Fri)	Announcement of Credit Recognition Result	
		④	④	④	④			April 10 (Fri) ~ 16 (Thu)	Correction Period for Course Registration	
								April 29 (Wed)	Classes Held on National Holiday[Showa Day]	
								April 30 (Thu)	Payment Due Date for Spring Semester	
May	5						1	2	May 17 (Sun)	Anniversary of the University's Founding
							④	④		
		3	4	5	6	7	8	9		
		NH	NH	NH	NH	⑤	⑤	⑤		
		10	11	12	13	14	15	16		
		⑤	⑤	⑤	⑤	⑥	⑥	⑥		
17	18	19	20	21	22	23				
Anniversary	⑥	⑥	⑥	⑦	⑦	⑦				
24	25	26	27	28	29	30				
⑦	⑦	⑦	⑧	⑧	⑧	⑧				
31										
Jun.	6		1	2	3	4	5	6	June 1 (Mon) ~ 30 (Tue)	Campus Clean Up Campaign
			⑧	⑧	⑧	①	①	①	June 3 (Wed)	End of Spring Semester Term 1 Courses
		7	8	9	10	11	12	13	June 4 (Thu)	Start of Spring Semester Term 2 Courses
		①	①	①	②	②	②	②		
		14	15	16	17	18	19	20		
②	②	②	③	③	③	③				
21	22	23	24	25	26	27				
③	③	③	④	④	④	④				
28	29	30								
④	④	④								
Jul.	7				1	2	3	4	July 20 (Mon)	Classes Held on National Holiday[Marine Day]
					④	⑤	⑤	⑤	July 23 (Thu)	Spring Semester Supplementary Lecture Day
		5	6	7	8	9	10	11	July 23 (Thu)	No Class day
		⑤	⑤	⑤	⑥	⑥	⑥	⑥	July 30 (Thu)	End of Spring Semester Term 2 Courses
		12	13	14	15	16	17	18	July 31 (Fri) ~ September 11 (Fri)	Summer Vacation
		⑥	⑥	⑥	⑦	⑦	⑦	⑦		
19	20	21	22	23	24	25				
⑦	⑦	⑦	⑧	⑧	⑧	⑧				
26	27	28	29	30	31					
⑧	⑧	⑧	⑧	⑧						
Aug.	8							1	July 31 (Fri) ~ September 11 (Fri)	Summer Vacation
								SH	August 1 (Sat) ~ 8 (Sat)	Substitute Holidays(University Closed)
		2	3	4	5	6	7	8	August 18 (Tue)	Announcement of Provisional September Graduating Students
								SH	August 21 (Fri)	Due Date of Credit Recognition Application * (Spring Semester)
		9	10	11	12	13	14	15	August 22 (Sat) ~ 29 (Sat)	Substitute Holidays(University Closed)
16	17	18	19	20	21	22				
						SH				
23	24	25	26	27	28	29				
						SH				
30	31									
Sep.	9			1	2	3	4	5	July 31 (Fri) ~ September 11 (Fri)	Summer Vacation
									September 3 (Thu)	Announcement of 1st and 2nd year Students with Passing Grades(for students enrolled in fall)
									September 3 (Thu)	Announcement of September Graduating Students
									September 3 (Thu)	Announcement of Spring Semester Grades
									September 3 (Thu) ~ 4 (Fri)	Submission Period for Students Petition to Appeal Grades (for 4th year 8th semester Students)
									September 3 (Thu) ~ 8 (Tue)	Submission Period for Students Petition to Appeal Grades(for 1st year 1st semester- 4th year 7th semester Students)
									September 4 (Fri) ~ 9 (Wed)	Correction Period for Course Registration(Before course commencement)(for students enrolled in spring)
							September 11 (Fri)	Fall Graduation Ceremony		

- ① ---Class day : Fall Semester Term 1
- ② ---Class day : Fall Semester Term 2
- *The number inside the circle indicates the number of classes
- No Class day
- NH ---National Holiday
- SH ---Substitute Holiday(University Closed)
- NH ---Classes Held on National Holiday

Fall Semester : September 12 (Sat) ~ March 31 (Wed)

		SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	Date	Schedule
Sep.	9			1	2	3	4	5	July 31 (Fri) ~ September 11 (Fri)	Summer Vacation
		6	7	8	9	10	11	12	September 4 (Fri) ~ 9 (Wed)	Correction Period for Course Registration(Before course commencement)(for students enrolled in spring)
									September 7 (Mon)	Fall Orientation(for students enrolled in fall)
		13	14	15	16	17	18	19	September 7 (Mon) ~ 9 (Wed)	Course Registration Period / Consulting period for course registration(for students enrolled in fall)
			①	①	①	①	①	②	September 7 (Mon) ~ 9 (Wed)	Application Period for Credit Recognition * (for students enrolled in fall) <small>(Credits earned at other universities and qualifications or skills for knowledge and competency assessment before enrollment)</small>
		20	21	22	23	24	25	26	September 11 (Fri)	Fall Matriculation Ceremony
			②				②	③	September 12 (Sat)	Start of Fall Semester Term 1 Courses
		27	28	29	30				September 17 (Thu)	Announcement of Credit Recognition Result(for students enrolled in fall)
Oct.	10					1	2	3	September 18 (Fri) ~ 24 (Thu)	Correction Period for Course Registration(After course commencement)
		4	5	6	7	8	9	10	September 21 (Mon)	Classes Held on National Holiday[Respect for the Aged Day]
			④	③	③	③	④	⑤	September 24 (Thu)	No Class day
		11	12	13	14	15	16	17	October 12 (Mon)	Classes Held on National Holiday[Health and Sports Day]
			⑤	④	④	④	⑤	⑥	October 30 (Fri) ~ November 2 (Mon)	Meikai Festival (No Class days)
Nov.	11								October 31 (Sat)	Payment Due Date for Fall Semester
		18	19	20	21	22	23	24		
		25	26	27	28	29	30	31		
			⑥	⑤	⑤	⑤	⑥	⑦		
		1	2	3	4	5	6	7	October 30 (Fri) ~ November 2 (Mon)	Meikai Festival (No Class days)
		8	9	10	11	12	13	14	November 1 (Sun) ~ 30 (Mon)	Campus Clean Up Campaign
Dec.	12								November 13 (Fri)	End of Fall Semester Term 1 Courses
		15	16	17	18	19	20	21	November 14 (Sat)	Start of Fall Semester Term 2 Courses
		22	23	24	25	26	27	28	November 23 (Mon)	Classes Held on National Holiday[Labor Thanksgiving Day]
			①	⑧	①	①	①	②		
		29	30							
Jan.	1			1	2	3	4	5	December 26 (Sat) ~ January 7 2027 (Thu)	Winter Vacation
		6	7	8	9	10	11	12	December 28 (Mon)	Substitute Holiday(University Closed)
		13	14	15	16	17	18	19		
		20	21	22	23	24	25	26		
			②	⑨	②	②	②	③		
		27	28	29	30	31				
			③							
Feb.	2						1	2	December 26 2026 (Sat) ~ January 7 (Thu)	Winter Vacation
		3	4	5	6	7	8	9	January 8 (Fri)	Restart of Fall Semester Term 2 Courses
		10	11	12	13	14	15	16	January 15 (Fri)	Preparation Day for Common Test for University Admissions (No Class Day)
		17	18	19	20	21	22	23	January 16 (Sat) - 17 (Sun)	Common Test for University Admissions (University Closed to Students)
			⑦	⑦	⑦	⑧	⑧	⑧	January 20 (Wed)	Fall Semester Supplementary Lecture Day
		24	25	26	27	28	29	30	January 20 (Wed)	No Class day
Mar.	3								January 27 (Wed)	End of Fall Semester Term 2 Courses
		7	8	9	10	11	12	13	January 28 (Thu)	Start of Spring Vacation
		14	15	16	17	18	19	20	January 29 (Fri)	Due Date of Credit Recognition Application * (for 4th year 8th semester Students)
			⑧	⑧	⑧					
		21	22	23	24	25	26	27	February 6 (Sat)	Substitute Holiday(University Closed)
		28							February 9 (Tue)	Announcement of Provisional Graduating Students
									February 13 (Sat)	Substitute Holiday(University Closed)

建学の精神

社会性・創造性・合理性を身につけ、
広く国際未来社会で活躍し得る有為な人材の育成をめざす

社会性

今や、人類共存の理念は、地球の資源問題、環境問題を抜きに考えられない時代を迎えました。地球規模で進行しつつある高齢化社会に伴う労働社会問題、低迷を続ける国際経済問題、発展途上国における社会経済問題等々、解決すべき問題は山積しています。これら全人類の課題と取り組み、人類の繁栄と幸福を推進するため、和を重んじ、心豊かな社会性に富む人間を育成し、学際領域にも及ぶ総合的教育研究を行います。

創造性

今日、科学技術・学術研究の先端が次々に新しい展開をしており、大学としてその時代の最先端をどのようにリードしていくかという課題に直面しています。しかし、大切なことは、一方的な技術の振興を図ることではなく、技術の進歩と人間性の調和を図りつつ世界への貢献を果たさなければなりません。人類の生き方について、未来からの挑戦を受けていると言われる今日において、学問の世界は、まさに自然科学はもとより人文・社会科学などの分野においても激動の時代を迎え、学際的な領域から価値の見直しが迫られています。知の継承、創造の拠点である大学はより国際競争力を強化し、大学の多様性を発揮して、このような時代において、総合的見地から、国際未来社会を切り拓く創造性豊かな教育研究を行います。

合理性

高度情報化社会を迎え、情報量は増大し、情報なくして個々の人間は、自己の意思決定すら出来ない感を呈しています。科学技術の発達、人々の生活様式を変え、価値観にも大きな影響を及ぼすことから、科学技術の独り歩きは許されることはありません。従って、科学技術のコントロールの完全を期するとともに人間性の発揚に心がけ、未来社会を切り拓く信念が重要となります。このため、合理性ある教育研究の場を醸成します。

このように本学の建学の精神は、社会性・創造性・合理性を身につけ、広く国際未来社会で活躍し得る有為な人材の育成をめざすものであります。

明海大学の教育のポリシー

本学では、「建学の精神」に基づき、大学全体としての
ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、
アドミッション・ポリシーを定めている。

ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

明海大学は、厳格な成績評価の下、建学の精神にある国際未来社会で活躍するための資質として、社会性（社会に貢献するホスピタリティマインドを持ち、協働に向けて主体的に思考し、的確に判断し、決断できる資質）、創造性（夢に向け熱意を持ち、試行錯誤をし、小さな発見を積み重ね、新たな価値を産みだして的確に表現できる資質）、合理性（知識やスキルを学び、目標達成に向けて多様な情報を収集し、適切に選択して活用できる資質）が認められる人材を学位授与の基礎とし、各学部学科および研究科にて基準を定めている。

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成の方針）

明海大学は、技術の進歩と人間性の調和を図りつつ世界への貢献を果たすという創造性を建学の精神の一つとしている。大学としてその時代の最先端をどのようにリードしていくかという課題に直面しながらも、一方的な技術の振興を図ることではなく、技術の進歩と人間性の調和を図りつつ世界への貢献を果たさなければならない。その意味において、1) 大学生としての学修を通じて社会性、創造性、そして合理性を身につけ明海大学の人間力を形成するための基盤を形成する基礎教育、自らの知識技能を高める人間力形成科目、そして培った力を社会で発揮するためのキャリア教育を共通科目に置き、2) 各学部学科および研究科のディプロマ・ポリシーに到達するためのカリキュラムを専門科目として配置している。

*ディプロマ・ポリシーとは…各大学、学部、学科等の教育理念に基づき、どのような力を身に付けた者に卒業を認定し、学位を授与するのかを定める基本的な方針であり、学生の学修成果の目標となるもの。

*カリキュラム・ポリシーとは…ディプロマ・ポリシーの達成のために、どのような教育課程を編成し、どのような教育内容・方針を実施し、学修成果をどのように評価するのかを定める基本的な方針。

アドミッション・ポリシー（入学者受け入れの方針）

明海大学は、建学の精神「社会性・創造性・合理性を身につけ、広く国際未来社会で活躍し得る有為な人材の育成」をめざして、豊かな人間力を基盤とした高度専門職業人養成を含む幅広い職業人養成を教育の目的としている。そのため、入学予定者には、学業、技術・技能、文化、芸術、スポーツなどの分野で活躍した体験を活かし、入学後、本学での学修を通して、これからの国際社会で通用する実力を身につけ、将来、各分野で活躍したいという強い意志を持つ学生を求めている。さらに、生涯学習社会の到来に対し、時代の変化に合わせて積極的に社会を支え、改善していく資質を有する人材の育成を目途として、生涯学習型学修に意欲的に取り組み、自己の更なる確立をめざす者を求めている。

*アドミッション・ポリシーとは…各大学、学部、学科等の教育理念、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーに基づく教育内容等を踏まえ、どのように入学者を受け入れるかを定める基本的な方針であり、受け入れる学生に求める学修成果（「学力の3要素」についてどのような成果を求めるのか）を示すもの。

・「学力の3要素」…①知識・技能、②思考力・判断力・表現力等の能力、③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

三つのポリシー

— ホスピタリティ・ツーリズム学科 —

2022年度以降入学生

ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

ホスピタリティ・ツーリズム学科では、ホスピタリティ・ツーリズム学を修得し、ホスピタリティ・マインドとコミュニケーション能力を身につけ、それらが求められる社会領域で活躍できると判断できる、次の要件を満たした者に学士（ホスピタリティ・ツーリズム学）の学位を授与する。

【観光専攻】

- 1 ホスピタリティ・ツーリズム学に関して十分な知識を持ち、ホスピタリティ・マインドと語学力を必要とし、これから希少性が高まる接客・接遇を重視する産業界において専門性を生かして活躍できる。
- 2 英語運用能力（CEFR B1 レベル以上）を含むコミュニケーション能力を十分に有すると同時に、継続して学修することができる。
- 3 効果的なパーソナル・コミュニケーションを実現できる能力の上に、社会の変化を適切に捉え、自ら考え主体的に行動することができる。

【経営情報専攻】

- 1 ホスピタリティ・ツーリズム学に関する知識と ICT リテラシーを併せて修得し、文理を超えた理解をもとにデジタル技術を活用した組織や社会の変革を推進するリーダーとして活躍できる。
- 2 英語運用能力（CEFR B1 レベル以上）を含むコミュニケーション能力を基礎として、言語の違いを超えた活用を目指した学修ができる。
- 3 ホスピタリティ・マインドをベースとした分析・洞察力にあふれ、問題発見と提案力を発揮することで、SDGs の達成に向けて、自ら考え主体的に行動することができる。

【グローバル・マネジメント専攻】

- 1 ホスピタリティ・ツーリズム学を基礎として、マネジメントに関する幅広い知識を持って、高度のコミュニケーション能力を必要とする産業界や国内外においてリーダーとして活躍できる。
- 2 英語運用能力(CEFR B2レベル以上相当)を基礎とし、海外大学のホスピタリティ・ツーリズム関連学部への留学体験に基づく文化の違いを超えたコミュニケーション

能力を十分に有すると同時に、継続して発展させることができる。

- 3 ホスピタリティ・マインドをベースとしたリーダーシップにあふれ、柔軟性を活かして利害を超えた関係を構築でき、組織や社会の変革をリードすることができる。

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成の方針）

ホスピタリティ・ツーリズム学科は、ホスピタリティ産業に代表される、ホスピタリティ・マインドとコミュニケーション能力を必要とする産業界において必要となる知識や振る舞いを段階的に修得することを目的に、次の方針に基づき、教育課程の編成を行っている。評価は学内外の試験やルーブリックあるいはポートフォリオ等を総合的に使用して実施する。

【観光専攻】

- 1 1年次から4年次まで CEFR を基準とした独自の英語教育を展開し、ホスピタリティ業界で必要となる中級レベル以上の英語コミュニケーション能力を修得する。
(2年次進級要件：CEFR A2 レベル以上、3年次進級要件：CEFR B1 レベル以上)
- 2 4年間一貫の少人数制必修ゼミによる個別指導の徹底を通じた基礎学力の修得と目的進路に応じた専門的研究や各種資格取得を通じて「就職力」の強化を図る。

【経営情報専攻】

- 1 1年次から4年次まで CEFR を基準とした独自の英語教育を展開し、ホスピタリティ業界や ICT に関連する学修で必須となる中級レベル以上の英語コミュニケーション能力を修得する。
(卒業要件：CEFR B1 レベル以上)
- 2 ホスピタリティ・ツーリズム学を基礎としたマネジメントや ICT、デジタル技術に関する、目的進路に応じた専門科目群の履修、実地研修や演習による実践を通じて、幅広く体系的にデジタル技術を活用した変革に必要な知見と発想力を修得する。
(3年次進級要件：IT パスポート試験合格)
- 3 4年間一貫の少人数制必修ゼミによる個別指導の徹底を通じて基礎教養と基礎学力を修得するとともに、事例研究等を通じて産業界におけるデジタル技術の利活用
に資する視点・視座・視野の涵養を図る。

【グローバル・マネジメント専攻】

- 1 1年次のTOEFLを主体とした英語教育と専門領域に関連した教養教育により海外大学のホスピタリティ・ツーリズム関連学部への留学準備を行い、2・3年次で半年から1年間の留学を経験することで、これからのホスピタリティ・ツーリズム業界のリーダーに求められる多様性の受容とコミュニケーション能力を涵養する。
- 2 ホスピタリティ・ツーリズム学を基礎としたマネジメントに関する専門科目群をほぼ必修とし、目的進路に応じた専門科目群の履修、演習による実践を通じて、幅広く体系的にマネジメントに必要な知識と振る舞いを修得する。
- 3 4年間一貫の少人数制必修ゼミによる個別指導の徹底を通じた基礎教養と基礎学力の修得と、マネジメントとリーダーシップに関する専門研究を通じて「社会人基礎力」の強化を図る。

アドミッション・ポリシー（入学者受け入れの方針）

ホスピタリティ・ツーリズム学科では、ホスピタリティ・ツーリズム学を学び、ホスピタリティ・マインドとコミュニケーション能力を生かして社会に貢献することに強い意欲を持つ人材を、次の3つの専攻に分けて求めている。

【観光専攻】

- 1 入学前に身に付けておくことが望ましい資質・能力
 - ① 知識・技能
知識：高等学校卒業相当と認められる日本地理・世界地理・日本史・日本文化についての知識
技能：対人コミュニケーションスキル・CEFR A2レベルの基本的英語コミュニケーションスキル・プレゼンテーションスキル
 - ② 思考力・判断力・表現力
思考力：常に好奇心を持って問題を発見し、共感と創造力を持って対策を考えられること
判断力：偏見を持たずに状況を分析して、優先順位がつけられること
表現力：効果的に口頭で自分の意見を表明できる。さらに、文章と写真や図表等の表現においても工夫できることが望ましい
 - ③ 主体性・協働性
主体性：責任感を持って誠実かつ真摯な姿勢で物事に取り組み、自己の成長にも積極的である
協働性：相手を尊重し、共感とリーダーシップを持って柔軟に物事に取り組める

2 意欲・関心

次に掲げる項目のいずれかに該当していること。

- 観光に関連する産業への就職を希望する人
- ホスピタリティを活かして社会課題の解決や産業発展に貢献することを希望する人
- 英語を活かして誰かの役に立つことを希望し、今後も継続的に成長することを希望する人
- 地域や観光地に興味があり、その特性や魅力を観光資源として活用するアイデア創出等、地域貢献活動に積極的に取り組みたい人
- 異文化に興味を持ち、その違いを柔軟に受け入れた上で魅力に転換するなど応用していくことに関心がある人
- これまで合格・取得した検定や資格等についてさらに向上を目指す、あるいはそのための努力や成績結果を活かして、自ら進路・就職先を開拓しようという強い意志を持つ人

3 評価方法・評価する能力

評価方法 (試験科目等)	評価する能力	知識 技能	思考力 判断力 表現力	主体性 協働性
英語力確認テスト	英語のみで作成されている試験問題であり、実践的な英語の語彙力・会話表現の知識、英文読解能力を評価する。	✓	✓	
分析力テスト	図表やグラフを読む力、文章読解力、思考力を評価し、また、全て記述式で解答することから、文章表現力も評価する。	✓	✓	
面接	問題発見能力、創造性、共感性、的確な判断力、口頭表現力、自己成長性、協働して学ぶ態度を評価する。		✓	✓
プレゼンテーション	論理的な思考力、情報を的確に伝達する能力、コミュニケーション能力を評価する。	✓	✓	
小論文	ホスピタリティ・ツーリズム学学修への意欲、主体性・協働して学ぶ態度、論理的思考力等を評価する。		✓	✓
出願申請書	これまでの自己を振り返り、相対化する思考力と判断力を評価する。 ホスピタリティ・ツーリズム学科観光専攻の教育内容の理解度、学科への熱意や意欲等を評価する。 また、適切な文体や表現が使用されているかなど、文章表現力を評価する。	✓	✓	
調査書	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度について評価する。			✓
英語	高等学校卒業相当の文法・語彙力・会話表現の知識、英文読解能力、リスニング能力を評価する。	✓		
国語	高等学校卒業相当の語彙力（慣用表現・四字熟語などの知識）・文章読解力・文章表現力を評価する。	✓	✓	
数学	高等学校卒業相当の計算能力・思考力を確認することで、論理的思考力を評価する。	✓		
日本語	本学の授業を受講するために必要な日本語の語彙力、文法の知識、読解力を評価する。	✓		
日本語運用力診断	日本語の短文を音読し、その内容について質疑応答を行うことで、日本語の発音の正確さ、語彙力、理解力等を評価する。	✓	✓	
英語運用力診断	英語の短文を音読し、その内容について質疑応答を行うことで、英語の発音の正確さ、語彙力、理解力等を評価する。	✓	✓	
大学入学共通テスト 各科目	学習指導要領において育成することを旨とする資質・能力を評価する。	✓	✓	

《評価する能力と入試区分の対応》

評価方法 (試験科目等)	評価する能力			対応する入試区分													
	知識・技能	思考力・表現力・判断力	主体性・協働性	総合型選抜						学校推薦型選抜			一般選抜		外国人留学生入試		
				AO	なりたいじぶん	クリエイティブ	スポーツ・文化	企業推薦	社会人	指定校・全商・全工	沖縄特別	SDGs	一般選抜	共通テスト利用			
分析力テスト	✓	✓		○	◎												
思考力・判断力テスト	✓	✓		○													
英語力確認テスト	✓	✓		○													
面接		✓	✓	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	○		◎
英語力診断テスト	✓	✓		○	○												
小論文		✓	✓				◎	◎	◎	◎	◎						
プレゼンテーション	✓	✓			○	◎											
出願申請書		✓	✓							◎	◎	◎					
調査書			✓			◎								○			
英語	✓													◎			
国語	✓	✓												○			
数学	✓													○			
生物	✓													○			
総合教養	✓	✓												○			
日本語	✓																○
日本語運用力診断	✓	✓															○
英語運用力診断	✓	✓															○
講義理解力判定テスト	✓	✓															○
大学入学共通テスト各科目	✓	✓													◎		

◎：全学科共通で実施するもの

○：学科や日程により実施の有無が異なるもの

【経営情報専攻】

1 入学前に身に付けておくことが望ましい資質・能力

① 知識・技能

知識：高等学校卒業相当と認められる情報科・ビジネス基礎(政治・経済)・地理・歴史・日本文化に関する知識

技能：対人コミュニケーションスキル・データ活用(特に数学Ⅰで学習する二次関数やデータの分析に関する基本的知識が身に付いていることが望ましい)・プレゼンテーションスキル

② 思考力・判断力・表現力

思考力：論理的に状況を整理した上で、将来を見通した対策を、計画的・創造的に考えることができる

判断力：データに基づいて状況を理解し、潜在的な危険や不確実性を見極めて判断できる

表現力：文章と写真や図表を効果的に用いた視覚的表現を工夫した資料等を作成することができ、また、基本的な口頭表現でコミュニケーションをとることもできる

③ 主体性・協働性

主体性：トレンドに関心を持ち、自己管理も行いながら好奇心を持って積極的に新しいトレンドを提案できる

協働性：共通の目標達成に向けて、他者のアイデアも活かしてチームワーク良く物事に取り組める

2 意欲・関心

次に掲げる項目のいずれかに該当していること。

- 観光に関連する産業への就職を希望する人
- デジタル技術を応用して社会課題の解決や産業発展に貢献することを希望する人
- データを活かしたビジネスに興味があり、的確に活用することに関心がある人
- 問題解決に興味があり、チームで問題解決するための提案に関心がある人
- 地域や観光に興味があり、その特性や魅力を観光資源として、デジタル技術を用いて活用するアイデア創出等の地域貢献活動に積極的に取り組みたい人
- イノベーションや新しいことに興味があり、創造性を発揮してチャレンジしてみたいと考えている人

3 評価方法・評価する能力

評価方法 (試験科目等)	評価する能力	知識 技能	思考力 判断力 表現力	主体性 協働性
英語力確認テスト	英語のみで作成されている試験問題であり、実践的な英語の語彙力・会話表現の知識、英文読解能力を評価する。	✓	✓	
分析力テスト	図表やグラフを読む力、文章読解力、思考力を評価し、また、全て記述式で解答することから、文章表現力も評価する。	✓	✓	
面接	創造性、問題発見能力、的確な判断力、自己成長性、口頭表現力、協働して学ぶ態度、共感力を評価する。		✓	✓
プレゼンテーション	論理的な思考力、情報を的確に伝達する能力、コミュニケーション能力を評価する。	✓	✓	
小論文	ホスピタリティ・ツーリズム学学修への意欲、主体性・協働して学ぶ態度、論理的思考力等を評価する。		✓	✓
出願申請書	これまでの自己を振り返り、相対化する思考力と判断力を評価する。 ホスピタリティ・ツーリズム学科経営情報専攻の教育内容の理解度、学科への熱意や意欲等を評価する。 また、適切な文体や表現が使用されているかなど、文章表現力を評価する。	✓	✓	
調査書	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度について評価する。			✓
英語	高等学校卒業相当の文法・語彙力・会話表現の知識、英文読解能力、リスニング能力を評価する。	✓		
国語	高等学校卒業相当の語彙力（慣用表現・四字熟語などの知識）・文章読解力・文章表現力を評価する。	✓	✓	
数学	高等学校卒業相当の計算能力・思考力を確認することで、論理的思考力を評価する。	✓		
日本語	本学の授業を受講するために必要な日本語の語彙力、文法の知識、読解力を評価する。	✓		
日本語運用力診断	日本語の短文を音読し、その内容について質疑応答を行うことで、日本語の発音の正確さ、語彙力、理解力等を評価する。	✓	✓	
英語運用力診断	英語の短文を音読し、その内容について質疑応答を行うことで、英語の発音の正確さ、語彙力、理解力等を評価する。	✓	✓	
大学入学共通テスト 各科目	学習指導要領において育成することを旨とする資質・能力を評価する。	✓	✓	

《評価する能力と入試区分の対応》

評価方法 (試験科目等)	評価する能力			対応する入試区分													
	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・協働性	総合型選抜						学校推薦型選抜			一般選抜		外国人留学生入試		
				AO	なりたじぶん	クリエイティブ	スポーツ・文化	企業推薦	社会人	指定校・全商・全工	沖縄特別	SDGs	一般選抜	共通テスト利用			
分析力テスト	✓	✓		○	◎												
思考力・判断力テスト	✓	✓		○													
英語力確認テスト	✓	✓		○													
面接		✓	✓	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
英語力診断テスト	✓	✓		○	○												
小論文		✓	✓				◎	◎	◎	◎	◎						
プレゼンテーション	✓	✓			○	◎											
出願申請書		✓	✓							◎	◎	◎					
調査書			✓			◎									○		
英語	✓														◎		
国語	✓	✓													○		
数学	✓														○		
生物	✓														○		
総合教養	✓	✓													○		
日本語	✓																○
日本語運用力診断	✓	✓															○
英語運用力診断	✓	✓															○
講義理解力判定テスト	✓	✓															○
大学入学共通テスト各科目	✓	✓														◎	

◎：全学科共通で実施するもの

○：学科や日程により実施の有無が異なるもの

【グローバル・マネジメント専攻】

1 入学前に身に付けておくことが望ましい資質・能力

① 知識・技能

知識：高等学校卒業相当と認められるビジネス基礎（政治・経済）・地理・世界史に関する知識

技能：多文化共生に関する経験・CEFR B1 レベル相当の英語のコミュニケーションスキル・データ活用（特に数学Ⅰで学習する二次関数やデータの分析に関する基本的知識が身に付いていることが望ましい）

② 思考力・判断力・表現力

思考力：論理的に状況を整理した上で、将来を見通した対策を、多様で国際的な視点から創造的に考えることができる

判断力：データから洞察を得て、潜在的な危険や不確実性を迅速に見極めて判断できる

表現力：英語で、多文化に配慮した効果的な視覚的表現や口頭表現を用いて文書の作成やコミュニケーションをとることができる

③ 主体性・協働性

主体性：好奇心を持って、問題解決に向けて自律的に創造性とリーダーシップを活かして物事に取り組める

協働性：多様なメンバーの意見を尊重し、共通の目的の達成に向けて柔軟性と適応力を発揮して積極的に物事に取り組める

2 意欲・関心

次に掲げる項目のいずれかに該当していること。

- 観光を始め、多文化コミュニケーションが求められる産業への就職を希望している人
- 語学スキルを活かした社会課題の解決や産業発展に貢献するとともに、スキルを継続的に伸ばさせたいと希望する人
- 国際的なビジネスに興味があり、リーダーシップを発揮して取り組むチャレンジをしたいと希望する人
- 問題解決に興味があり、多様性の高いチームで解決に取り組みたいと考えている人
- イノベーションや新しいことに興味があり、多様な視点からの意見を応用して問題解決することに関心がある人
- これまで合格・取得した検定や資格等についてさらに向上を目指す、あるいはそのための努力や成績結果を活かして、自ら進路・就職先を開拓しようという強い意志を持つ人

3 評価方法・評価する能力

評価方法 (試験科目等)	評価する能力	知識 技能	思考力 判断力 表現力	主体性 協働性
思考力・判断力 テスト	英語の動画(字幕なし)を視聴し、小論文を含めた問題に記述式で解答することで、英語のリスニング能力と、論理的思考力・文章表現力を評価する。	✓	✓	
分析力テスト	図表やグラフを読む力、文章読解力、思考力を評価し、また、全て記述式で解答することから、文章表現力も評価する。	✓	✓	
面接	提案力、多様性への理解、創造性、問題発見能力、的確な判断力、自己成長性、口頭表現力、協働して学ぶ態度を評価する。		✓	✓
プレゼンテーション	論理的な思考力、英語による情報を的確に伝達する能力、コミュニケーション能力を評価する。	✓	✓	
小論文	ホスピタリティ・ツーリズム学修への意欲、主体性・協働して学ぶ態度、論理的思考力等を評価する。		✓	✓
出願申請書	これまでの自己を振り返り、相対化する思考力と判断力を評価する。 ホスピタリティ・ツーリズム学科グローバル・マネジメント専攻の教育内容の理解度、学科への熱意や意欲等を評価する。 また、適切な文体や表現が使用されているかなど、文章表現力を評価する。	✓	✓	
英語	高等学校卒業相当の文法・語彙力・会話表現の知識、英文読解能力、リスニング能力を評価する。	✓		
国語	高等学校卒業相当の語彙力(慣用表現・四字熟語などの知識)・文章読解力・文章表現力を評価する。	✓	✓	
総合教養	高等学校卒業相当の一般教養と、英語の理解力・表現力、知識、論理的思考力・判断力を評価する。	✓	✓	
講義理解力判定 テスト	英語の動画(字幕なし)を視聴し、小論文を含めた問題に記述式で解答することで、英語のリスニング能力と、論理的思考力・文章表現力・問題解決に向けて取り組む態度を評価する。	✓	✓	
大学入学共通テスト 各科目	学習指導要領において育成することを旨とする資質・能力を評価する。	✓	✓	

《評価する能力と入試区分の対応》

評価方法 (試験科目等)	評価する能力			対応する入試区分													
	知識・技能	思考力・表現力・判断力	主体性・協働性	総合型選抜						学校推薦型選抜			一般選抜		外国人留学生入試		
				AO	なりたじぶん	クリエイティブ	スポーツ・文化	企業推薦	社会人	指定校・全商・全工	沖縄特別	SDGs	一般選抜	共通テスト利用			
分析力テスト	✓	✓		○	◎												
思考力・判断力テスト	✓	✓		○													
英語力確認テスト	✓	✓		○													
面接		✓	✓	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
英語力診断テスト	✓	✓		○	○												
小論文		✓	✓				◎	◎	◎	◎	◎						
プレゼンテーション	✓	✓			○	◎											
出願申請書		✓	✓							◎	◎	◎					
調査書			✓			◎									○		
英語	✓														◎		
国語	✓	✓													○		
数学	✓														○		
生物	✓														○		
総合教養	✓	✓													○		
日本語	✓																○
日本語運用力診断	✓	✓															○
英語運用力診断	✓	✓															○
講義理解力判定テスト	✓	✓															○
大学入学共通テスト各科目	✓	✓														◎	

◎：全学科共通で実施するもの

○：学科や日程により実施の有無が異なるもの

2020・2021年度入学生

ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

ホスピタリティ・ツーリズム学科では、ホスピタリティ・ツーリズム学を修得し、ホスピタリティ・マインドとコミュニケーション能力を身につけ、それらが求められる社会領域で活躍できると判断できる、次の要件を満たした者に学士（ホスピタリティ・ツーリズム学）の学位を授与する。

【ホスピタリティ・ツーリズム メジャー】

- 1 ホスピタリティ・ツーリズム学に関して十分な知識を持ち、ホスピタリティ産業、その他ホスピタリティ・マインドと語学力を必要とする産業において専門性を生かして活躍できる。
- 2 特に、英語運用能力（CEFR B1 レベル以上）を含むコミュニケーション能力を十分に有すると同時に、継続して学修することができる。
- 3 ホスピタリティ・マインドにあふれ、状況把握を発揮することで周囲への気配りができ、社会の変化に対しても果敢に挑戦し、自ら考え主体的に行動することができる。

【グローバル・マネジメント メジャー】

- 1 ホスピタリティ・ツーリズム学を基礎として、マネジメントに関する幅広い知識を持って、高度のコミュニケーション能力を必要とする産業や国内外においてリーダーとして活躍できる。
- 2 英語運用能力(CEFR B2レベル以上相当)を基礎とし、海外大学のホスピタリティ・ツーリズム関連学部への留学体験に基づく文化の違いを超えたコミュニケーション能力を十分に有すると同時に、継続して発展させることができる。
- 3 ホスピタリティ・マインドをベースとしたリーダーシップにあふれ、柔軟性を活かして利害を超えた関係を構築でき、組織や社会の変革をリードすることができる。

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成の方針）

ホスピタリティ・ツーリズム学科は、ホスピタリティ産業、その他ホスピタリティ・マインドとコミュニケーション能力を必要とする産業において必要となる知識や振る舞いを段階的に修得することを目的に、次の方針に基づき、教育課程の編成を行っている。

【ホスピタリティ・ツーリズム メジャー】

- 1 1年次から4年次までCEFRを基準とした独自の英語教育を展開し、ホスピタリティ業界で必要となる中級レベル以上の英語コミュニケーション能力を修得する。
(2年次進級要件：CEFR A2レベル以上、3年次進級要件：CEFR B1レベル以上)
- 2 4年間一貫の少人数制必修ゼミによる個別指導の徹底を通じた基礎学力の修得と目的進路に応じた専門的研究や各種資格取得を通じて「就職力」の強化を図る。

【グローバル・マネジメント メジャー】

- 1 1年次のTOEFLを主体とした英語教育と専門領域に関連した教養教育により海外大学のホスピタリティ・ツーリズム関連学部への留学準備を行い、2・3年次で半年から1年間の留学を経験することで、これからのホスピタリティ・ツーリズム業界のリーダーに求められる多様性の受容とコミュニケーション能力を涵養する。
- 2 ホスピタリティ・ツーリズム学を基礎としたマネジメントに関する専門科目群をほぼ必修とし、目的進路に応じた専門科目群の履修、演習による実践を通じて、幅広く体系的にマネジメントに必要な知識と振る舞いを修得する。
- 3 4年間一貫の少人数制必修ゼミによる個別指導の徹底を通じた基礎教養と基礎学力の修得と、マネジメントとリーダーシップに関する専門研究を通じて「社会人基礎力」の強化を図る。

アドミッション・ポリシー（入学受け入れの方針）

ホスピタリティ・ツーリズム学科では、ホスピタリティ・ツーリズム学を学び、ホスピタリティ・マインドとコミュニケーション能力を生かして社会に貢献することに強い意欲を持つ人材を、次の2つのメジャーに分けて求めている。

【ホスピタリティ・ツーリズム メジャー】

- 1 何事にも主体的、積極的に取り組む意思のある人
- 2 旅行、ホテル、航空、エンターテインメント、ウエディング、外食、化粧品販売を始めとするホスピタリティ・ツーリズム産業、その他ホスピタリティ・マインドと語学力を必要とする産業への就職を強く希望する人

対応する入試【総合型選抜（ＡＯ）】【総合型選抜（スポーツ・文化活動）】【学校推薦型選抜（指定校）】【学校推薦型選抜（公募制）】【学校推薦型選抜（沖縄特別奨学生）】【外国人留学生特別入試】

- 3 基礎的な英語運用能力（CEFR A2 レベル以上）を有し、入学後も引き続きその能力を高める努力をする意思のある人

対応する入試【一般選抜】【大学入学共通テスト利用選抜】【学校推薦型選抜（指定校）】【学校推薦型選抜（公募制）】【学校推薦型選抜（沖縄特別奨学生）】【外国人留学生特別入試】

【グローバル・マネジメント メジャー】

- 1 国際感覚を持ち、ホスピタリティ・マインドと高度のコミュニケーション能力が要求される産業や国内外領域においてリーダーとして活躍するための基本的能力を有し、論理的思考や問題発見への習熟に取り組む意思のある人
- 2 ホスピタリティ・マインド、語学力と多文化理解力が必要とされる産業分野を中心としたさまざまな社会領域において、リーダーとして貢献していくことを強く目指す人
- 3 基本的な英語運用能力（CEFR B1 レベル以上）を有し、入学後にもその能力の応用と活用に向けて努力し続ける向上心のある人

対応する入試【一般選抜】【大学入学共通テスト利用選抜】【総合型選抜（ＡＯ）】【学校推薦型選抜（指定校）】【学校推薦型選抜（公募制）】【学校推薦型選抜（沖縄特別奨学生）】【外国人留学生特別入試】

学修成果とその測定方法

学修成果とは

大学は「学問を修める」場です。そのため、教員から知識を一方向的に教わるだけでなく、学生が自ら主体的に学び、専門的な知識や能力を身に付けることが求められます。このような大学での学びを「学修」と呼び、学修を通じて身に付けた知識・技能・態度などを「学修成果」と言います。

学修成果の測定方法について

学修成果は、「何ができるようになったか」という観点でその達成度が測定されます。測定項目や測定方法は本学公式ホームページの「アセスメント・プラン」に示されており、成績評価、専門的能力の向上、ジェネリックスキル（汎用的な能力・態度・志向等）の伸長、各種アンケート結果などを用いて測定します。

詳細は、明海大学公式ホームページ アセスメント・プランを確認してください。

<URL>

https://www.meikai.ac.jp/about/outline/assessment_policy/

- * 「アセスメント・プラン」とは、①明海大学で定める3つのポリシー（アドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシー）が適切であるか、②明海大学の教育課程が3つのポリシーに基づき適切に機能しているかを、3つのレベル（大学レベル・学部レベル・授業レベル）でさまざまな角度から点検・評価するための具体的実施方法を定めたものです。

ディプロマ・ポリシーに定める目標の達成のため、成績評価結果や各種調査結果等を参照しながら、自らの成長を確認し、目標設定と振り返りを行いつつ学修を進め、主体的に学修成果を積み上げてください。

これからの次代を担う皆さんへ

ホスピタリティ・ツーリズム学部長 中野 実

ようこそホスピタリティ・ツーリズム学部へ。新入生の皆さん、入学おめでとうございます。この履修の手引がこれからの大学生活における基本となります。しっかり読んで自身で計画を立てていきましょう。また在学生の皆さん、新しい年度が始まり各々が目標をもって選択科目の履修計画に取り組んでいることと思います。ぜひ「なりたいじぶん」に向けて何を学ぶか熟慮してください。

日本は2003年に観光立国宣言をし、明海大学のホスピタリティ・ツーリズム学部は2005年に創設されました。今年で22年になります。2003年当時、日本を訪れた外国人旅行者は年間520万人でした。昨年2025年、その数は4,268万人となり8倍となっています。観光はいまや日本の主要産業にもなっていますが、一方でオーバーツーリズムなどの課題も浮き彫りとなってきています。この旅行者の受入も、そして社会でオーバーツーリズムを考えることも、キーとなってくるのが「ホスピタリティ」ではないでしょうか。旅行者がどうしたら心地よく訪問できるのか、そしてそこにいる人々がどうしたら心地よく居住できるのか、ホスピタリティの精神を抜きにして考えることはできません。ホスピタリティ・ツーリズム学部でホスピタリティを学び実践し、そして「なりたいじぶん」となって次代の社会で活躍することを期待しています。

新入生の皆さんは、まず1年次に履修しなければならない「学修の基礎」や「ホスピタリティ論」などの必修科目に加えて、自身でも選択科目を選びます。必修科目の時間割を確認し、この履修の手引を見ながら年間の履修計画を立ててください。そして観光専攻と経営情報専攻の学生は2年次に向けた達成目標を確認し、またグローバル・マネジメント専攻の学生は留学に向けた前提条件となるTOEFL iBT 80以上／IELTS 6.5以上を、早く実現できるように基礎となる英語運用能力を伸ばしていきましょう。

2年次の観光専攻・経営情報専攻の学生は、選べる専門科目が増えてきます。また観光専攻と経営情報専攻では3年次に向けた達成目標が違ってきます。観光専攻は英語の達成目標に向け、そして経営情報専攻では「ITパスポート」の取得に向けて早い段階から意識的に準備していきましょう。外国人留学生を除いたグローバル・マネジメント専攻の学生は後期から海外留学に向けた履修計画を、また外国人留学生は計画的な時間割とともに、日本語学習も意識しましょう。

3年次は各専攻とも、ほとんどの科目が専門科目となります。自分が目指す業界が明確な人はさらにその専門知識を取得し、まだ明確でない人は幅広く学びながら自分の目指す道を探ってください。夏休みからは就職活動が本格化します。それを見据えた履修計画を立ててください。

4年次は引き続きの専門科目の学びと就職活動との両立が求められます。そして4年間の学びの総括として、卒業研究に取り組んでください。そして3月には希望の進路とともに、充実した学生生活を終え卒業を迎えましょう。

ここまで読んできて分かるように、「自分で」履修計画を立てることが大学生活の大前提です。そして自身で決めて履修した科目を学ぶことが大学生活において最優先となります。それ以外の時間でも、インターンシップ、ボランティア、あるいはプロジェクト活動など様々な経験を積んで充実した大学生活を送ってください。明海大学ホスピタリティ・ツーリズム学部で、この学びと経験を蓄積したものが、次代を担う「広く国際未来社会で活躍し得る有為な人材」となりえると確信しています。

学部概要

2022年度以降入学生

コロナ禍は社会に大きな影響を及ぼしました。

これまで、産業構造の変化と技術革新、さらに経済・社会の成熟により、サービス経済化が進む現代社会において、経済波及効果と雇用創出効果が高く、長期にわたる成長が見込まれたホスピタリティ・ツーリズム産業は、日本におけるリーディング産業として期待されてきました。

しかし、コロナ禍により、ホスピタリティ・ツーリズム産業も社会的な変化に応じた新たな形を模索するようになりました。接客・接遇を主体とするサービス業においても、デジタルシフトが加速しました。また、その一方で、この分野で必要とされるもののすべてがデジタルシフトすることではなく、ビジネスプロフェッショナルに求められる対面コミュニケーション能力や「ホスピタリティ・マインド」の必要性は依然として残りました。むしろ利用機会が減少し、頻度が低下したことで対人コミュニケーションの希少性は高まり、よりラグジュアリーなものになります。今後、そのようなニーズに対応できる能力を持つ人材の価値はますます高まるとも考えられます。

そこで、このデジタルシフトとラグジュアリーシフトの2極化に対応し、これまでホスピタリティ・ツーリズム学部が培ってきた「多様性（ダイバシティ）への適応」を一層推進するために、本学部は2022年度より3つの専攻制に移行しました。ひとつはホスピタリティ・ツーリズム学にデジタル・イノベーションの知見を融合させ、文理を超えた理解でビジネス変革を推進するリーダーを育成する「経営情報専攻」、もうひとつは、ホスピタリティ・マインドに基づくコミュニケーションの知見を活かしてラグジュアリーなサービスを企画・実践できるエキスパートを育成する「観光専攻」、そして、グローバルな視野からホスピタリティ・マインドを活かしたビジネスを企画し、様々な領域で活躍できるリーダーを育成する「グローバル・マネジメント専攻」（GMM）の3つの専攻です。

これらの3つの専攻制を通して、学際的な見地から産業界の様々な課題や現象に焦点を当て、各専攻の特色に応じた企業や地域社会と連携する「実学・実践的な教育」を展開し、「ホスピタリティ・マインド」を醸成する人格形成教育を実践することで広く国際社会において活躍し得る有為な人材を育成していきます。

2021年度以前入学生

産業構造の変化と技術革新、さらには経済・社会の成熟により、サービス経済化の時代と言われる現代社会において、旅行、ホテル、航空、エンターテインメントや外食産業などのホスピタリティ産業は、経済波及効果と雇用創出効果が高く、長期にわたって成長が見込まれるなど、日本におけるリーディング産業として期待されています。また、あらゆる企業活動において「モノ」から「心」の豊かさに関わる経済活動が重視される歴史的転換期を迎え、顧客個人を大切に、高付加価値のサービスを提供することができる「ホスピタリティ・マインド」を備えた人材が求められています。

本学部では、このような社会的な情勢に応え、ツーリズム関連産業を始めとするあらゆるホスピタリティ産業に学際的な見地から焦点を当て、企業や地域社会と連携した「実学・実践的な教育」を展開するとともに、「ホスピタリティ・マインド」を醸成する人格形成教育を実践し、広く国際社会において活躍し得る有為な人材を育成します。

I

共通事項

全学生に共通する項目です。

1 授業

1 授業

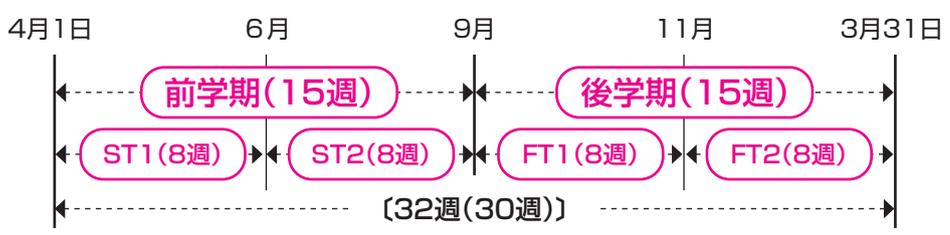
[1] 学期

グローバル・マネジメント専攻

1年間は4つのTermで構成され、授業はおおむね各Termで8週、年間32週にわたり開講されます。(クォーター制)

観光専攻、経営情報専攻、ホスピタリティ・ツーリズムメジャー

1年間は前学期と後学期の2学期で構成され、授業はおおむね前学期が15週、後学期が15週、年間30週にわたり開講されます。



【参考】

観光専攻 経営情報専攻 ホスピタリティ・ツーリズムメジャー [HTM]	グローバル・マネジメント専攻 [GMM]
前学期	Spring Semester Term 1 (ST1) Spring Semester Term 2 (ST2)
後学期	Fall Semester Term 1 (FT1) Fall Semester Term 2 (FT2)

参照→「学年暦」

[2] 授業時間

授業は1時限当たり90分で行われ、原則として、月曜日から金曜日の1時限から5時限となります。

ただし、月曜日から金曜日の6時限及び土曜日の1・2時限に、集中授業、特別授業、補講及び就職等各種ガイダンス等が行われることがあります。

時限	曜日	月	火	水	木	金	土	
1		9:00 ~ 10:30						
2		10:40 ~ 12:10						
3		13:00 ~ 14:30						
4		14:40 ~ 16:10						
5		16:20 ~ 17:50						
6		18:00 ~ 19:30						

参照→P.3「補講」

[3] 授業の出席

授業にはすべて出席しなければなりません。

原則として、実授業回数の5分の4以上の出席がなければ試験を受けることができません。

[4] 授業の欠席

やむを得ない事由により授業を欠席する（した）場合、次のとおり手続を行ってください。

※1
「授業欠席届」（所定様式）は学事課（教務担当）で受領してください。

※2
「欠席届（体育クラブ活動）」（所定様式）は学生支援課（学生支援担当）で受領してください。

※3
以下のいずれかに該当する場合の取扱いは、保健管理センターの判断によります。

- ①連続した7日間を超える欠席期間
- ②第3種「その他の感染症」

参照▶P.13
「定期試験の欠席」

欠席の事由	提出書類		提出先	取扱い
	届出書類	添付書類		
父母、祖父母、兄弟、姉妹に不幸があった場合	授業欠席届（所定様式） ※1	会葬礼状等	学事課（教務担当）	次の期間については、欠席の扱いをしません。 父母： 連続した7日間と往復の日数 祖父母、兄弟、姉妹： 連続した5日間と往復の日数
学校保健安全法施行規則第18条に定められた感染症にかかった場合		感染症名、発症日及び治癒までにかかった期間が判断できる診断書		原則、当該期間中は欠席の扱いをしません。 ※3
裁判员等に選任され、裁判所に出向いた場合		裁判所が発行する証明書類		当該期間中は欠席の扱いをしません。
体育会所属クラブと学生会体育会連盟会所属のスポーツ・文化活動特別入学試験指定クラブの学生が公式試合等に参加した場合	欠席届（体育クラブ活動）（所定様式） ※2		学生支援課（学生支援担当）	欠席の扱いをしません。
上記以外の事由 例：病気、ケガ、事故など	欠席事由を証明できるもの		授業担当教員（事務窓口での取扱いは一切行いません。）	授業担当教員の判断によりますので、各自で確認してください。

注意1 欠席した授業の内容は、後日必ず授業担当教員に確認してください。

注意2 授業科目によっては、授業担当教員から出席の代わりに課題（レポート等）が課されることがあります。

注意3 平常授業時に実施される試験の欠席については、欠席の事由を証明する書類を**授業期間内**に授業担当教員に直接提出し、その取扱いについて授業担当教員の指示を受けてください。学事課（教務担当）での取次ぎ等は一切行いません。

注意4 添付書類は原本を提出してください。

なお、原本の返却が必要な場合は、提出時に学事課（教務担当）に申し出てください。

参考：学校保健安全法施行規則第18条に定められた感染症の種類

種別	病名
第1種	エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、南米出血熱、ペスト、マールブルグ病、ラッサ熱、急性灰白髄炎（ポリオ）、ジフテリア、重症急性呼吸器症候群（SARSコロナウイルス）、中東呼吸器症候群（MERSコロナウイルス）、特定鳥インフルエンザ、新型インフルエンザ等感染症、指定感染症、新感染症
第2種	インフルエンザ（特定鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。）、百日咳、麻しん、流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）、風しん、水痘（みずぼうそう）、咽頭結膜熱、新型コロナウイルス感染症、結核、髄膜炎菌性髄膜炎
第3種	コレラ、細菌性赤痢、腸管出血性大腸菌感染症、腸チフス、パラチフス、流行性角結膜炎、急性出血性結膜炎、その他の感染症

[5] 休 講

参照→『Webポータルシステム利用マニュアル』

参照→p.38「学生への連絡」

やむを得ず授業が休講となることがあります。原則として授業の休講はWebポータルシステムの掲示配信及び掲示板で告知しますので、始業前に必ず確認してください。

なお、休講の掲示配信等がなく、授業開始時刻から30分以上経過しても授業担当教員が出講しない場合は、学事課（教務担当）で指示を受けてください。

[6] 補 講

参照→『Webポータルシステム利用マニュアル』

参照→p.38「学生への連絡」

やむを得ず授業が休講となった場合、補講が実施されます。

また、授業の進度等により、授業担当教員の判断で補講を実施することがあります。

補講は、学年暦に定める補講期間のほか、平常授業期間、夏季・冬季・春季休暇中に実施される場合もあります。日時等の詳細については、Webポータルシステムの掲示配信及び掲示板で告知します。

2 授業科目

[1] 開講期

授業科目は、開講される期間別に次のとおり分けられます。

クォーター科目 (8週)	ST1、ST2、FT1、FT2のいずれかのTermで授業が完結し、成績が評価される科目 注意 クォーター科目は、1週間に2回授業が行われ、最終授業（8週目の2回目）で試験が行われます。
セメスター科目 (15週)	前学期又は後学期のいずれかの学期で授業が完結し、成績が評価される科目 注意 セメスター科目には、1週間に1回授業を行う科目と、1週間に2回授業を行う科目の2種類があります。
通年科目 (30週)	前学期と後学期の1年間で授業が完結し、成績が評価される科目
集中科目	ある一定の期間に集中的に授業が行われ、成績が評価される科目

[2] 配当年次

授業科目には、それぞれ配当年次が定められています。これは、各授業科目を系統的に学修するために履修できる年次の配当を定めているものです。

自分の在籍年次より下位年次に配当されている科目の履修は認められますが、上位年次に配当されている科目の履修は認められません。

なお、『授業時間割』及び『シラバス』には、配当年次のうち履修可能な最低年次が記載されています。

※同一名称科目でも入学年度によって配当年次が異なる場合があります。履修登録の際は、必ず教育課程表を確認してください。

参照→「教育課程表」

[3] 授業科目の種類

授業科目には、次のとおり3つの種類があります。

科目の種類	定 義
必修	卒業するために必ず単位を修得しなければならない科目
選択必修	必修科目以外で特定の分野又は科目の中から所定の単位数を修得しなければならない科目
選 択	必修科目及び選択必修科目以外の科目

3 単位制

[1] 単位制とは

大学における学修は単位制により行われています。単位制とは、所定の授業科目を一定の基準に従い履修（受講）し、試験に合格することで、その科目ごとに定められている単位を修得していく制度をいいます。

[2] 単位を修得するための学修時間

単位の算定は、大学設置基準により、1単位の授業科目を45時間の学修（各自が行う自習時間を含む。）を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業外に必要な学修等を考慮して、各大学において定めるとされています。

本学においては、原則として講義及び演習の科目については15時間の授業と授業外の学修30時間をもって1単位、実験、実習、実技及び外国語の科目については30時間の授業と授業外の学修15時間をもって1単位としており、1単位を修得するための授業時間数と授業外の学修時間数の割合は次のとおりです。

講義・演習		実験・実習・実技・外国語	
授業 15時間	授業外(事前・事後)の学修 30時間	授業 30時間	授業外(事前・事後)の学修 15時間
45時間 1単位		45時間 1単位	

単位を修得するためには、授業だけでなく、毎回の授業に対する事前の準備及び事後の展開などの主体的な学びに要する十分な学修時間が必要です。主体的な学修の仕方を身に付けてください。

なお、各授業科目の授業外（事前・事後）の学修内容及び学修目安時間については、『シラバス』等で確認してください。

[3] 各授業科目の単位数

本学における授業の方法・開講期ごとの学修時間数及び単位数は、次のとおりです。

授業の方法	開講期	学 修 時 間 数	単位数
講 義 演 習	Semester (週1回)	[2時間(授業) + 4時間(授業外)] × 15週 = 90時間	2
	Semester (週2回)	[4時間(授業) + 8時間(授業外)] × 15週 = 180時間	4
	通 年	[2時間(授業) + 4時間(授業外)] × 30週 = 180時間	4
実 験 実 習 実 技 外 国 語	Semester (週1回)	[2時間(授業) + 1時間(授業外)] × 15週 = 45時間	1
	Semester (週2回)	[4時間(授業) + 2時間(授業外)] × 15週 = 90時間	2
	通 年	[2時間(授業) + 1時間(授業外)] × 30週 = 90時間	2

※1授業(90分)は、2時間として換算します。

[4] 単位の認定

履修した科目の単位は、原則として、試験に合格したときに初めて認定されます。試験の方法は、筆記試験、レポート・論文・作品の提出、実技、実習等がありますが、授業科目によっては、平常の成績をもって試験の成績に代えることがあります。

なお、単位の認定に際し、出席数が不足していたり、あるいは途中で受講を放棄したような場合は、その科目の単位は認定されません。

2 履修

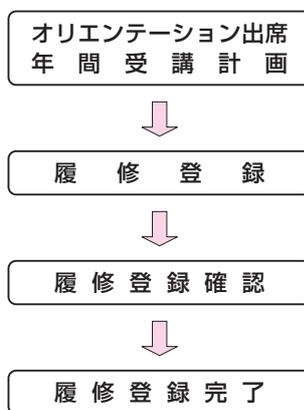
履修とは、各学部・学科で定めている授業科目を一定の規則に従い習い修めることです。

授業科目を履修するに当たっては、進級・卒業要件はもちろんのこと、次に掲げる規則を十分踏まえて、履修計画を立てなければなりません。

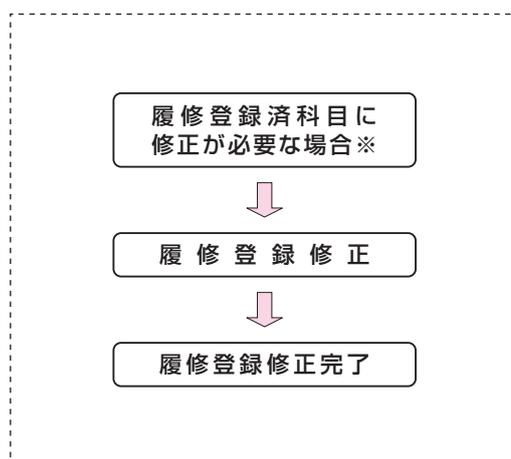
1 履修のルール

[1] 履修登録とは

履修登録とは、学年の始めに年間受講計画を立て、履修するすべての授業科目を登録する手続のことで、その流れはおおむね次のとおりです。



※履修登録修正は、やむを得ず修正が必要な場合のみ行うことができます。



履修登録は、1年間の学修を始めるために欠かすことのできない大学生活で最も重要な手続です。

しかし、履修登録時の単純なミスや、履修登録期間に登録を忘れたことなどが原因で単位を修得できなくなったり、留年するような事態が毎年起きています。

このような事態を未然に防ぐためにも、この『履修の手引』をよく読み、自己の責任において正しい履修登録手続を行ってください。

[2] 履修単位数 の上限

単位を修得するには、「単位制」の項目で説明したとおり、授業外にも学修のための時間が必要となります。このことから、学修が無理なく行われるように次のとおり履修できる単位数の上限が定められています。4年次に履修単位数の上限内で卒業要件を満たす履修ができない場合、その時点で留年が確定することになりますので、履修した科目については確実に単位を修得するよう、授業への出席はもちろんのこと、予習・復習をおろそかにしないことが重要です。

2025年度以降入学生

年次	学期	履修単位数の上限	備 考
1年 ～ 4年	前学期	24	※通年科目については、単位数の1/2を前学期及び後学期にそれぞれ算入します。 例：4単位の通年科目 → 2単位 前学期 → 2単位 後学期
	後学期	24	※以下の科目の単位数は上限に含まれません。 1 集中授業 2 単位認定制度により認定を受けようとする科目

各学期の履修単位数の上限を24単位（年間48単位）としているのは、体系的に編成されている教育課程に沿って学生が自律的、主体的に履修できる範囲を考慮したものです。履修登録に当たっては、単位を修得するための学修時間を考慮し、年間40単位を登録することを目安としてください。

成績優秀者に対する履修登録単位数の上限緩和

2年・3年・4年次への進級時に通算GPAが「特に優れている（3.50～4.00）」に該当する場合は、履修登録できる単位数の上限（24単位）を半期2単位緩和し、26単位までとします。

2024年度以前入学生

年次	学期	履修単位数の上限	備 考
1年	1学期	22	※通年科目については、単位数の1/2を前学期及び後学期にそれぞれ算入します。 例：4単位の通年科目 → 2単位 前学期 → 2単位 後学期
	2学期	22	
2年	3学期	24	※以下の科目の単位数は上限に含まれません。 1 集中授業 2 単位認定制度により認定を受けようとする科目
	4学期	24	
3年	5学期	26	
	6学期	26	
4年	7学期	28	
	8学期	28	

1年次の上限を各学期22単位（年間44単位）としているのは、授業時間割編成上履修できる授業科目に制限がある場合を考慮したものです。さらに、2年次以降の上限を各学期24単位から28単位（年間48単位から56単位）としているのは、前年度の修得単位数が不十分な学生に配慮したものです。履修登録に当たっては、単位を修得するための学修時間を考慮し、年間40単位を登録することを目安としてください。

[3] クラス指定

語学、実習等授業科目の性質から、適正人数(少人数等)で授業を行うためにクラスが指定される科目があります。原則として、指定されたクラス以外での履修は認められません。

	2026年度新入生	2026年度2年次生
クラス発表	3月30日(月) 2101・2103 大講義室横掲示板	3月27日(金) 2101・2103 大講義室横掲示板
クラス変更	原則としてクラス変更は認められませんが、クラス指定された科目が再履修等により必修科目と重複し、履修に制約を受ける場合に限り、次の手続を行うことでクラス変更が認められることがあります。	
クラス変更手続内容	① 学事課(教務担当)で「クラス変更許可願」(所定様式)を受領し、必要事項を記入する。 ② 変更前及び変更希望先の両授業担当教員に提示し、変更の許可を得た後、「クラス変更許可願」を学事課(教務担当)へ提出する。 ③ 変更したクラスに基づき、各自履修登録を行う。 注意 クラス変更の手続期間中に授業担当教員に許可を得ることが難しい場合は、学事課(教務担当)に相談してください。	
クラス変更手続期間	3月27日(金)～4月16日(木)	
その他	授業科目によっては、クラス編成を変えることがあります。この場合、オリエンテーション又は掲示で発表します。	

注意1 編入学生・学士入学生のクラス指定は原則としてありません。

注意2 9月入学生は、オリエンテーション等で別途お知らせします。

[4] 再履修

再履修とは、不合格になった科目を翌学期以降に再び履修することをいいます。

再履修しなければならない科目	不合格になった科目が進級や卒業の要件となる必修科目の場合、再履修して単位を修得しなければなりません。選択必修科目や選択科目の場合、同分野の他の科目で必要単位を満たすことができます。
再履修科目のクラス指定	再履修者のクラスが指定されている場合は、必ずそのクラスで履修しなければなりません。クラス指定については、2101・2103大講義室横掲示板で確認してください。 クラスが指定されていない場合は、どのクラスでも履修できますが、科目によっては履修人数の制限がありますので、履修登録前に必ず授業担当教員に許可を得てください。授業担当教員に無断で登録した場合、履修登録が取り消されることがあります。
再履修科目の優先履修	再履修科目と在籍する年次の配当科目が授業時間割上重なっている場合は、配当年次の低い再履修科目を優先して履修してください。

[5] 履修できない科目

カリキュラムが異なる科目	カリキュラムが改正されたことによって、入学年度により開講される授業科目や卒業要件が異なりますので、自分が入学した年度の教育課程表をよく確認し、履修することができない異なる入学年度のカリキュラム科目を誤って履修しないよう注意してください。
他学部・他学科開講科目	他学部・他学科開放科目を除く他学部・他学科が開講している専門科目を履修することはできません。
単位修得済科目	一度単位を認定された科目は、再度履修することができません。
同一名称科目	授業担当教員や開講時限が異なっても、同一名称の科目は重複して履修することはできません。

2 履修登録方法

履修登録は、Webポータルシステムで行います。詳細については、『Webポータルシステム利用マニュアル』を参照し、正しい登録を行ってください。

4月入学

(前学期)

1 オリエンテーション・資料配布・時間割組立 3月25日(水)～4月2日(木)

チェックポイント

- (1・2年生) 自分のクラスを確認する。
- (2～4年生) 前年度の成績表をもとに、教育課程表で修得済及び未修得科目を確認する。
- (2～4年生) 再履修が必要な必修科目がある場合、クラスが指定されていないか掲示等で確認する。
- (1～4年生) 以下の要件等を踏まえて、履修する科目を選択し、4月2日(木)までに時間割を組み立て、巻末の『時間割(控)』を印刷の上、記入する。
 - 進級要件 → P.50参照
 - 卒業要件 → P.52参照
 - 履修単位数の上限 → P.6参照
 - 履修できない科目 → P.7参照
 - クラス指定 → P.7参照

2 履修相談期間 3月27日(金)～4月2日(木)
時間・場所：9:00～17:00
学事課(教務担当)

チェックポイント

- (1～4年生) 相談するときは、『履修の手引』や掲示等をもう一度よく確認し、疑問点を明確にしておくこと。

3 履修登録期間
(Webポータルシステム「履修登録」) 3月27日(金)9:00～4月2日(木)23:59

チェックポイント

- (1～4年生) 1年間分(通年・前学期・後学期)の科目を登録する。
 - *『Webポータルシステム利用マニュアル』で履修登録方法をよく確認する。
 - *期間内であれば、何度でも登録・修正可能
 - *学内・学外から利用可能
- (1・2年生) あらかじめ登録されている必修科目の曜日・時限・クラス等を確認する。
 - *登録されていない必修科目については、各自で登録する。
- (1・2年生) 進級見込判定を行い、進級要件を満たしているか確認し、必要に応じて登録内容を修正する。
- (4年生) 卒業見込判定を行い、卒業要件を満たしているか確認し、必要に応じて登録内容を修正する。
- (1～4年生) 通年・前学期・後学期とも登録が終了した後は、必ず学生時間割表を出力し、正しく登録されているか確認し、各自で保管すること。

履修登録完了・履修登録内容の確認 4 (Webポータルシステム「時間割照会」) manaba利用開始	4月3日(金) 17:00以降
---	-----------------

5 前学期授業開始	4月6日(月)
------------------	---------

チェックリスト	
<input type="checkbox"/>	(1~4年生) 初回授業から必ず出席すること。(履修者の選抜を行う場合があります。)
<input type="checkbox"/>	(1~4年生) 以下の手続きが必要な場合は、『履修の手引』や掲示等を確認し、必ず所定の期限までに手続きを行うこと。 <ul style="list-style-type: none"> ● (新入生) 既修得単位認定申請 → P.19参照 ● (新入生) 本学入学前に行った知識及び技能に係る審査の成果(資格取得等)に対する単位認定申請 → P.21参照 ● (2~4年生) クラス変更手続 → P.7参照

(やむを得ない事由で履修登録済科目に修正が必要な場合)

6 履修登録修正期間 (Webポータルシステム「履修登録」)	4月10日(金) 9:00 ~ 4月16日(木) 23:59
--	--------------------------------

注意 履修登録修正もWebポータルシステム「履修登録」で行います。操作方法等は、履修登録と同じです。

7 履修登録内容の確認 (Webポータルシステム「時間割照会」) manabaへ履修登録修正内容反映	4月17日(金) 13:00以降
---	------------------

(後学期)

履修登録修正期間 (Webポータルシステム「履修登録」)	授業開始前 9月4日(金) 9:00 ~ 9月9日(水) 23:59 授業開始後 9月18日(金) 9:00 ~ 9月24日(木) 23:59
---------------------------------	--

履修登録内容の確認 (Webポータルシステム「時間割照会」) manabaへ履修登録修正内容反映	授業開始前 9月10日(木) 17:00以降 授業開始後 9月25日(金) 13:00以降
--	--

! 必ず1年間分(通年・前学期・後学期)の授業科目を4月の履修登録期間中にWebポータルシステムで登録してください。

! Webポータルシステムで履修登録を行った科目については、登録した翌日にmanabaのコースに反映されます。

! 今年度履修する科目がない学生は、履修登録期間内に学事課(教務担当)で所定の用紙を受領し、履修する科目がない旨を必ず届け出てください。(Webポータルシステムでの届出はできません。)

1 オリエンテーション・資料配布・時間割組立 9月7日(月)～9月9日(水)

チェックポイント

- (1年生) 以下の要件等を踏まえて、履修する科目を選択し、9月9日(水)までに時間割を組み立て、巻末の『時間割(控)』に記入する。
 - 進級要件 → P.50参照
 - 卒業要件 → P.52参照
 - 履修単位数の上限 → P.6参照
 - 履修できない科目 → P.7参照

2 履修相談期間 9月7日(月)～9月9日(水)
 時間・場所：9:00～17:00
 学事課(教務担当)

チェックポイント

- (1年生) 相談するときは、『履修の手引』や掲示等をもう一度よく確認し、疑問点を明確にしておくこと。

3 履修登録期間
(Webポータルシステム「履修登録」) 9月7日(月)9:00～9月9日(水)23:59

チェックポイント

- (1年生) 後学期の科目を登録する。
 - * 『Webポータルシステム利用マニュアル』で履修登録方法をよく確認する。
 - * 期間内であれば、何度でも登録・修正可能
 - * 学内・学外から利用可能
- (1年生) あらかじめ登録されている必修科目の曜日・時限・クラス等を確認する。
 - * 登録されていない必修科目については、各自で登録する。
- (1年生) 後学期の登録が終了した後は、必ず学生時間割表を出力し、正しく登録されているか確認し、各自で保管すること。

4 履修登録完了・履修登録内容の確認
(Webポータルシステム「時間割照会」) 9月10日(木)17:00以降
 manaba利用開始

5 後学期授業開始 9月12日(土)

チェックポイント

- (1年生) 初回授業から必ず出席すること。(履修者の選抜を行う場合があります。)
- (1年生) 以下の手続きが必要な場合は、『履修の手引』や掲示等を確認し、必ず所定の期限までに手続きを行うこと。
 - (新入生) 既修得単位認定申請 → P.19参照
 - (新入生) 本学入学前に行った知識及び技能に係る審査の成果(資格取得等)に対する単位認定申請 → P.21参照

(やむを得ない事由で履修登録済科目に修正が必要な場合)

6 履修登録修正期間
(Webポータルシステム「履修登録」) 9月18日(金) 9:00 ~ 9月24日(木) 23:59

注意 履修登録修正もWebポータルシステム「履修登録」で行います。操作方法等は、履修登録と同じです。

7 履修登録内容の確認
(Webポータルシステム「時間割照会」)
manabaへ履修登録修正内容反映 9月25日(金) 13:00以降



Webポータルシステムで履修登録を行った科目については、登録した翌日にmanabaのコースに反映されます。



今年度履修する科目がない学生は、履修登録期間内に学事課(教務担当)で所定の用紙を受領し、履修する科目がない旨を必ず届け出てください。(Webポータルシステムでの届出はできません。)

3

試験・成績

1 試験

履修した科目について単位の認定を受けるためには、試験を受けなければなりません。

試験の方法は、筆記試験、レポート・論文・作品の提出、実技、実習等がありますが、平常授業時の成績等を試験に代えることもあります。

注意 レポート・論文・作品の提出に当たっては、その提出方法等を授業担当教員に確認してください。学事課（教務担当）での取次ぎ等は一切行いません。

[1] 試験の種類

試験には、学年暦に定められた期間に行われる以下に掲げる種類の試験があります。ただし、授業科目によっては平常授業時に試験が行われることがあります。

区分	試験の種類等	概要
学年暦に定められた期間に行われる試験	定期試験	前学期又は後学期に終了する科目について定期試験時間割に基づき実施されます。 通年科目は、必要に応じて前学期にも行われる場合もあります。
	追試験	定期試験当日にやむを得ない事由（忌服、傷病、感染症、交通機関の遅れ、就職採用試験、出張等）のため受験できなかった者に対し、その欠席事由が正当と判断された場合に実施されます。
	再試験	定期試験等の結果、不合格（D評価）となった4年生に対し、授業担当教員が必要と認めた場合に実施されます。 なお、再試験の成績評価は「C」が最高となります。
平常授業時に行われる試験	授業担当教員が学修上必要と認めた場合、平常授業時に随時試験が行われます。 ● 試験の方法、時期等については、授業担当教員から指示があります。 ● 追試験の対象となりません。やむを得ない事由により受験できなかった場合の措置は、事前に授業担当教員に確認をしておいてください。 ● 学事課（教務担当）での取次ぎ等は一切行いません。	

※グローバル・マネジメント専攻においては、定期試験、追試験及び再試験を行いません。
クォーター科目の試験は、最終授業（8週目の2回目）で試験が行われます。
セメスター科目の試験は、16週目で実施します。
詳細については、授業担当教員に確認してください。

参照→P.13

「試験日程・受験手続」



追試験・再試験を受験する場合は、所定の手続が必要です。
所定の手続を行わなかった場合、受験（レポートを含む。）することができません。

[2] 定期試験の欠席

やむを得ない事由により、学年暦に定められた期間に行われる定期試験を欠席した場合、次のとおり手続を行ってください。

※1
学校保健安全法施行規則第18条に定める感染症の種類についてはP.2を参照してください。

※2
「定期試験欠席届」(所定様式)は学事課(教務担当)で受領してください。

欠席の事由	提出書類		提出先	取扱い
	届出書類	添付書類		
父母、祖父母、兄弟、姉妹に不幸があった場合	定期試験欠席届(所定様式)※2	会葬礼状等	学事課(教務担当)	欠席事由が正当であると判断される場合に追試験を実施します。
傷病		診断書又は医療機関の発行する領収書		
学校保健安全法施行規則第18条に定められた感染症にかかった場合※1		感染症名、発症日及び治癒までにかかった期間が判断できる診断書		
交通機関の遅れ		交通機関の発行する遅延証明書		
就職採用試験(会社訪問、説明会を除く。)		採用試験通知		
社会人学生の出張		出張証明書(社印又は公印が必要)		
裁判員等に選任され裁判所に向いた場合	裁判所が発行する証明書類			

注意1 上記の取扱いは、平常授業時に行われる試験は除きます。

注意2 平常授業時に行われる試験の欠席については、欠席の事由を証明する書類を**授業期間内**に授業担当教員に直接提出し、その取扱いについて授業担当教員の指示を受けてください。学事課(教務担当)での取次ぎ等は一切行いません。

注意3 添付書類は原本を提出してください。

なお、原本の返却が必要な場合は、提出時に学事課(教務担当)に申し出てください。

[3] 試験日程・受験手続

		前 学 期	後 学 期
定期試験	試験時間割発表	7月3日(金) 2101・2103大講義室横掲示板	12月11日(金) 2101・2103大講義室横掲示板
	試験期間	7月24日(金)～30日(木)	1月21日(木)～27日(水)
追試験	定期試験欠席届の提出	定期試験欠席届に欠席事由を証明するものを添付して提出してください。	
	提出期限	7月31日(金)	1月28日(木)
	該当者発表 試験時間割発表 受験手続期間	8月18日(火)・19日(水) 2101・2103大講義室横掲示板	2月9日(火)・10日(水) 2101・2103大講義室横掲示板
	受験手続方法	1科目ごとに「追・再試験受験願」(受験料として1,000円の証紙を貼付)を提出し、受験票の交付を受けてください。 注意 受験票は受験の際に学生証とともに提示してください。	
	試験期間	8月20日(木)・21日(金)・24日(月)	2月12日(金)・15日(月)・16日(火)
再試験	該当者発表 試験時間割発表 受験手続期間	8月18日(火)・19日(水) 2101・2103大講義室横掲示板	2月9日(火)・10日(水) 2101・2103大講義室横掲示板
	受験手続方法	1科目ごとに「追・再試験受験願」(受験料として2,000円の証紙を貼付)を提出し、受験票の交付を受けてください。 注意 受験票は受験の際に学生証とともに提示してください。	
	試験期間	8月20日(木)・21日(金)・24日(月)	2月12日(金)・15日(月)・16日(火)
書類提出・受験手続		学事課(教務担当)	

注意 追試験及び再試験は、所定の手続を行わなかった場合、受験(レポートを含む。)することができません。

学年暦に定められた期間に行われる試験は1時限当たり60分で行われます。

[4] 試験時間

時限	曜日	月	火	水	木	金	土
1		9:30 ~ 10:30					
2		11:00 ~ 12:00					
3		13:00 ~ 14:00					
4		14:30 ~ 15:30					
5		16:00 ~ 17:00					

注意 学生への定期試験及び追・再試験時間割発表は学年暦に定める日程で行います。その際、時間割は平常授業の曜日・時限・教室とは異なる場合がありますので、必ずWebポータルシステムの掲示配信及び2101・2103大講義室横掲示板で確認してください。

[5] 受験資格・ 受験上の注意 (学年暦に定められた 期間に行われる試験)

受験資格

次に該当する者は、受験資格がありません。

- 履修登録をしていない者
- 学生証を所持していない者
- 追・再試験については、所定の受験料の納入及び手続を行っていない者

受験上の注意

- 試験場では、試験監督者の指示に従ってください。
- 試験科目によっては、試験室の座席が1人置きに指定されていますので、試験監督者の指示に従って適宜着席してください。
- 試験開始後20分以上遅刻した者は、受験することができません。
- 試験開始後30分間は、試験室から退室することができません。
- 学生証を必ず持参し、机上の見やすいところに置いてください。
なお、忘れた場合は、学生支援課（学生支援担当）で仮学生証の発行を受けてください。
- 学生証、筆記用具（ペンケースを除く。）、その他試験で使用を許可された物以外は、すべてカバン等の中に入れ、椅子の下に置いてください。携帯電話・スマートフォン等は、電源を切ってカバン等の中に入れてください。また、試験中の物の貸し借りは認めません。
- 試験中に不正行為を行った者は、事情のいかんを問わず直ちに受験停止となり、以後、学則等に基づき処分されます。
- 原則として、実授業回数の5分の4以上の出席がなければ試験を受けることができません。



平常授業時に行われる試験の受験資格・受験上の注意については、授業担当教員の指示に従ってください。

不正行為者の懲戒処分

受験停止・退場

試験場において試験監督者の指示に従わなかった者は、受験停止となり、退場となる。

訓告処分

次のいずれかに該当する者は、訓告処分とし、当該学期の全履修科目の成績を0点とする。

- ①カンニングペーパー等を使用した者
- ②所持品、身体、机及び壁等に書込みをした者
- ③答案を見せた者及び見て書き写した者
- ④私語及び動作等で連絡した者及び連絡を受けて答案を書いた者
- ⑤使用が許可されていない物を使用した者
- ⑥試験場において試験監督者の指示に従わなかった者
- ⑦①～⑥に準ずる不正行為を行った者

停学処分

次のいずれかに該当する者は、停学処分とし、当該年度の全履修科目の成績を0点とする。

- ①受験を依頼した者及び依頼されて受験した者
- ②答案を交換した者
- ③訓告処分に該当する不正行為を再度行った者
- ④①～③に準ずる不正行為を行った者



携帯電話・スマートフォン等を時計の代わりとして使用するケースがみられます。

この行為は、不正行為者の懲戒処分に該当し、訓告又は停学処分の対象となりますので、試験時は必ず電源を切り、カバン等の中へ入れてください。

2 成績

[1] 成績評価・成績表記

成績評価及び成績表記は、次のとおりです。

判定	合格				不合格		認定	編入学・ 学士入学 時認定
	100 ～90	89～ 80	79～ 70	69～ 60	59～ 0	評価 対象外		
成績表に表記される評価	S	A	B	C	D	*	N	H
成績証明書に表記される評価	A		B	C	表記されない		N	H
成績評価の標準分布	10% 程度	20% 程度	—	—	20% 以内	—	—	—

- 評価対象外とは、授業期間を通じ出席不良、試験の未受験又はレポート未提出等のため、成績評価ができないものを指します。
- 「N」（認定）は、単位認定制度等により認定を受けた授業科目について表記されます。
- 「H」（編入学・学士入学時認定）は、3年次への編入学生・学士入学生が入学時に包括・弾力的に認定を受けた科目等について表記されます。
- 成績は相対評価を原則とし、S評価、A評価及びD評価の標準的な分布は表のとおりです。ただし、必修科目、能力別クラス編成科目、演習科目、履修登録者数の少ない科目、その他学部学科等が指定する授業科目等でこれによりがたい場合は、絶対評価その他適切な方法により成績が評価される場合があります。
各授業科目の評価方法等については、『シラバス』で確認してください。
※評価対象外（*）については、標準的な成績評価の分布算出の対象から除外します。

[2] GPA (成績平均点数制)

本学では、一定期間の履修及び学修状況をより明確に把握するために、GPA (Grade Point Average : 成績平均点数制) による成績・単位修得状況評価を行っています。

GPAは、それぞれの評価に設定されたグレード・ポイント (GP) に単位数を乗じた成績点数の和を、総履修単位数で除することによって算出されますので、一旦履修した科目については、途中で放棄することなく、確実に単位を修得するようにしてください。

なお、GPAは、学生への個別指導、奨学金の給付対象者の選考、宮田賞及び学長賞 (学業成績優秀者への表彰) 授与選考の基準となる他、派遣留学生の選抜及び履修者数の制限等に使用されます。

GPAの算出方法等

GPAの具体的な算出方法等は、次のとおりです。

判定	合格				不合格		認定	編入学・ 学士入学 時認定
	S	A	B	C	D	*		
成績評価	S	A	B	C	D	*	N	H
グレード・ポイント (GP)	4	3	2	1	0	0	除く	除く

①GPAの算出方法

※総履修単位数には、成績評価がN又はHの単位数は含まれません。

$$GPA = \frac{\text{(単位} \times \text{グレード・ポイント) の和}}{\text{総履修単位数}^*}$$

[GPAの算出例]

授業科目名	単位数	評価	単位数×グレード・ポイント
日本の歴史	2	B	2×2=4
日本国憲法	2	D	2×0=0
Practical English I -a	1	S	1×4=4
日本文化論	2	*	2×0=0
ホスピタリティ論	2	A	2×3=6
マネジメント総論	2	C	2×1=2
合計	11		16

$$GPA = \frac{16}{11} = 1.45 \quad \text{※小数点第3位を四捨五入}$$

②総合評価

前記の方法により算出されたGPAによって、次のとおり評価を行います。

GPA	総合評価
3.50 ~ 4.00	特に優れている
3.00 ~ 3.49	優れている
2.00 ~ 2.99	良好
1.00 ~ 1.99	努力が必要
0 ~ 0.99	より一層の努力が必要

注意 総合評価は、履修科目全体の学修成果について評価したものであり、進級又は卒業要件単位の充足状況について評価したものではありません。

成績発表は、次のとおり行います。

[3] 成績発表

成績発表スケジュール

区分	対象年次等	発表日	
前学期 終了科目	1年(1学期) } 4年(8学期)	学 生	9月3日(木)
		保証人	9月上旬
後学期 終了科目	1年(1学期) } 4年(7学期)	学 生	3月12日(金)
		保証人	3月中旬
	4年(8学期)	学 生	2月26日(金)
		保証人	2月下旬

確認方法

参照▶[Webポータルシステム
利用マニュアル]

学生及び 保証人	Webポータルシステム「成績照会」で確認
-------------	----------------------

[4] 成績調査

成績評価について疑問があり、授業担当教員に成績評価の調査を依頼する場合は、所定の期間内に手続を行ってください。期間外の問い合わせには一切応じません。

区分	対象年次等	手続期間	提出書類	提出先	調査結果発表	
前学期 終了科目	1年(1学期) } 4年(7学期)	9月3日(木) ~8日(火)	成績調査願 (所定様式)※	学事課 (教務担当)	学事課 (教務担当)	
	9月卒業 対象者 4年(8学期) 注意3参照	9月3日(木) ・4日(金)			Webポータル システム及び 掲示で呼び出 しますので、 必ず本人が学 生証を持参の 上、直接学事 課(教務担当) で確認してく ださい。	
後学期 終了科目	1年(1学期) } 4年(7学期)	3月12日(金) ~17日(水)				
	4年(8学期)	2月26日(金) ・3月1日(月)				

※成績調査願(所定様式)は
手続期間内に学事課(教務
担当)で受領してください。

注意1 成績調査願には、調査を依頼する理由を具体的に記入してください。

注意2 成績調査願は、受けた評価に対して疑問がある場合に成績評価の再確認を依頼するためのものであり、成績評価の変更を依頼したり、具体的な評価内容・点数等を確認するためのものではありません。

注意3 4年(8学期)に在籍している者の成績調査手続期間は、他の年次と異なります。この期間以外に手続を行うことはできません。

4

単位認定制度

1 単位認定制度について

本学では他の大学等における学修や知識及び技能に係る審査の成果に対して、単位を認定する制度があります。

学修の種類等	概 要	対象となる学修の時期		認定される 単位数の上限	
		入学前	入学後		
入学前の既修得単位等の認定	[1]既修得単位 → P.19 本学入学前に他の大学又は短期大学で修得した単位の認定 (外国の大学若しくは短期大学で修得した単位又は科目等履修生として修得した単位を含む。)	○	—	30	
大学以外の教育施設等における学修	[2]知識及び技能に係る審査の成果 → P.21 本学入学前及び入学後に行った知識及び技能に係る審査の成果(資格取得等)に対する単位の認定	○	○	12～18 注:入学年度、専攻(メジャー)により異なります。	
他の大学又は短期大学における授業科目の履修等	[3]派遣留学生(約1年間の海外留学) → P.28 海外の協定校等に派遣留学生として約1年間留学し、所定の互換科目を修得したことによる単位の認定	—	○	40 注:留学先により異なります。	合計 60 単位
	[4]派遣留学生(短期海外研修) → P.29 海外の協定校等に派遣留学生として学生の休暇期間中に短期間研修留学し、所定のプログラムを修めたことによる単位の認定 ※グローバル・マネジメント専攻 [GMM] を除く。	—	○	2	
	[5]派遣学生(国内) → P.29 単位互換に関する包括協定を締結している千葉県内の26私立大学、7短期大学及び放送大学の34校において修得した単位の認定	—	○	8	
その他	[6]インターンシップ → P.30 企業等における実習・研修的な就業体験の成果に対して行う単位の認定	—	○	44	
	[7]ボランティア活動 → P.30 社会貢献活動の成果に対して行う単位の認定	—	○	4	
	[8]ホスピタリティ・ボランティア活動 → P.30 ホスピタリティ・ツーリズム学部が実施するボランティア活動の成果に対して行う単位の認定	—	○	4	

2 各制度の内容及び申請方法等

前頁に記載されているそれぞれの単位認定制度の内容及び申請方法等は、次のとおりです。

[1] 既修得単位

認定申請できる科目と単位数

科目区分等			認定単位数 (上限)		備考
共通科目	基礎教育	学修の基礎Ⅲ-a	2	30	各科目区分単位数の合計30単位まで申請することができます。
		学修の基礎Ⅲ-b (情報リテラシー)	2		
	人間力形成教育	人間形成	4		
		国際理解	4		
		社会生活	4		
	キャリア形成教育	インターンシップA	2		
		インターンシップB	2		
	専門科目				

対象・申請方法等

対象	2026年度入学の1年	
申請書類	① 単位認定申請書兼単位認定通知書（本学所定様式） ② 成績証明書又は単位修得証明書 ③ 認定申請する科目の授業内容を明らかにする文書で、次のa又はbのいずれかのもの a 出身校が発行した授業内容の証明書 b シラバス（写）	
所定様式配布及び申請書類提出	学事課（教務担当）	
申請期間	4月入学	9月入学
	3月30日（月）～4月6日（月）	9月7日（月）～9日（水）
単位認定発表	4月10日（金）	9月17日（木）
	学事課(教務担当)で、単位認定通知書を直接本人へ交付します。	

注意 1 申請書類②及び③について、英語以外の外国語で記載されている場合は、日本語又は英語の訳文を添付してください。

注意 2 外国の大学又は短期大学で修得した単位の認定を希望する場合及び申請書類③のa又はbのいずれの書類も用意できない場合は、事前に学事課（教務担当）で相談してください。

認定申請の留意点

認定申請を行うに当たり、次に掲げる要件を満たしていることが認定の目安となりますので留意してください。

- ① 申請する科目は、本学の認定を受けようとする科目と単位数又は総授業時間数（実授業時間数）が同じ又はそれ以上であること。

注意 外国の大学等で修得した科目は、単位制によらない場合や、単位の換算基準が異なることがありますので、本学所定様式により総授業時間数等を申告してください。（成績証明書等に時間数の記載がない場合は、出身校に問い合わせの上、申告してください。）

- ② 申請する科目の授業内容を『シラバス』で確認し、本学で認定を受けようとする科目の内容に相当したものであること。

—申請例—

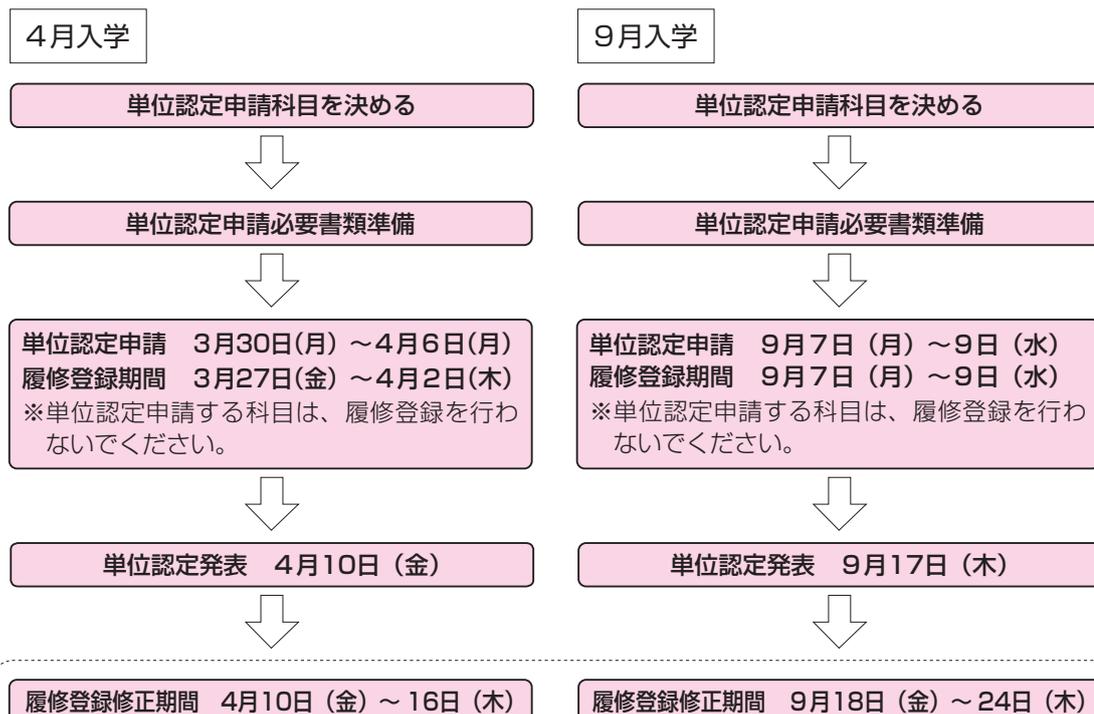
	他大学等開設科目	単位数（時間数）の比較	本学開設科目	備考
○ (申請可)	日本史 (2単位 30時間)	\geq	日本の歴史 (2単位 30時間)	
× (申請不可)	日本国憲法 (1単位 15時間)	$<$	日本国憲法 (2単位 30時間)	授業内容が本学開設科目に相当しても、単位数（時間数）が少ないので、認定されません。

既修得単位認定申請と履修登録

既修得単位認定申請と履修登録手続の流れは、次のとおりです。

年間の受講計画を立てる際は、**申請する科目がすべて認定されることを前提に検討し、履修登録は行わないでください。**

なお、履修登録修正期間は、授業開始から数日が経過しており、学修に支障をきたすことがあるので、認定申請に当たっては、十分に検討し、安易な申請は慎んでください。



注意 認定されなかった科目がある場合は、年間受講計画を見直し、履修登録内容を修正する必要がある場合は履修登録修正期間内に必ず修正してください。

[2] 知識及び技能に係る審査の成果

認定申請できる科目と単位数（グローバル・マネジメント専攻）

学修の種類等	認定単位数 (上限)				授業科目 (単位数)	
TOEFL iBT 50点以上60点未満	1				Academic English I (1)	
IELTS (Academic) 5.0以上5.5未満		2				
TOEFL iBT 60点以上70点未満	2					Academic English I (1) Academic English II (1)
IELTS (Academic) 5.5以上6.0未満			3			
TOEFL iBT 70点以上80点未満	3					Academic English I (1) Academic English II (1) Academic English III (1)
IELTS (Academic) 6.0以上6.5未満				合計4単位		
TOEFL iBT 80点以上95点未満		4			Academic English I (1) Academic English II (1) Academic English III (1) Academic English IV (1)	
IELTS (Academic) 6.5以上7.0未満					Academic English I (1) Academic English II (1) Academic English III (1) Academic English IV (1)	
TOEFL iBT 95点以上			12		Academic English I (1) Academic English II (1) Academic English III (1) Academic English IV (1) ビジネススキルA (2) ビジネススキルB (2) ビジネススキルC (2) ビジネススキルD (2)	
IELTS (Academic) 7.0以上				合計12単位		
中国語検定試験3級	2				中国語 I-a (1) 中国語 I-b (1)	
中国語検定試験2級	3		3		中国語 I-a (1) 中国語 I-b (1) 中国語 II-a (1)	
中国語検定試験準1級・1級			4		中国語 I-a (1) 中国語 I-b (1) 中国語 II-a (1) 中国語 II-b (1)	
中国語検定試験準1級・1級				合計4単位		
日本漢字能力検定(漢検)2級・準1級	2				ビジネススキルA (2) ビジネススキルB (2) ビジネススキルC (2) ビジネススキルD (2)	
日本漢字能力検定(漢検)1級	4		4			
実践日本語コミュニケーション検定 B+	2					
実践日本語コミュニケーション検定 A-	4	4		6		
実践日本語コミュニケーション検定 A+			6			
日商PC検定(文書作成)2級	2					
日商PC検定(文書作成)1級	4		4			
日商PC検定(データ活用)2級	2					
日商PC検定(データ活用)1級	4		4			
日本語検定3級	2					
日本語検定準2級・2級	4		4	6		
日本語検定準1級			6			
日本語検定1級				8		
ファイナンシャル・プランニング技能士3級	2					
ファイナンシャル・プランニング技能士2級	4	4		8		
ファイナンシャル・プランニング技能士1級			8			
ビジネス能力検定(B検)ジョブパス2級	2					
ビジネス能力検定(B検)ジョブパス1級	4		4			
文部科学省後援 色彩検定2級	2					
文部科学省後援 色彩検定1級	4		4			
販売士検定2級	2					
販売士検定1級	4		4			
秘書技能検定2級・準1級	2					
秘書技能検定1級	4		4			
簿記検定(日商)3級・2級	2					
簿記検定(日商)1級	4		4			
世界遺産検定2級	2					
世界遺産検定準1級	4	4		6		
世界遺産検定1級			6			
世界遺産検定マイスター				8		
国内旅行業務取扱管理者試験 管理業務主任者試験				各2		
総合旅行業務取扱管理者試験 基本情報技術者試験 宅地建物取引士 ITパスポート試験				各4		
全国通訳案内士試験【日：通訳案内士(ガイド)試験】				6		
備考	1 資格取得に係る学修については、当該資格を得るための所要資格(試験の合格及び実務経験等)を有する者を含みます。 2 申請時において修得済み及び履修中の授業科目については、認定を受けることができません。 3 学修の種類等(資格)の名称等が変更されている場合でも、認定を受けられることがありますので、学事課(教務担当)で確認してください。 4 TOEFL iBTについては、申請日(入学前に取得した場合は入学年度の4月1日)から遡って2年以内に実施されたTOEFL iBTテストのスコアを対象とします。試験日から2年以上経過したスコア及びTOEFL ITPテストで単位の認定を受けることはできません。 5 IELTS (Academic)については、申請日(入学前に取得した場合は入学年度の4月1日)から遡って2年以内に実施されたIELTS (Academic)のスコアを対象とします。試験日から2年以上経過したスコアで単位の認定を受けることはできません。 6 英語科目の単位認定は、低年次に開講されている授業科目を優先します。 7 簿記検定は、日本商工会議所が実施するものとします。 8 中国語検定試験は、(一財)日本中国語検定協会が実施するものとします。 9 次の語学等試験については、当該言語を母語とする学生は申請できません。 (1) TOEFL iBT (2) IELTS (Academic) (3) 中国語検定試験 (4) 実践日本語コミュニケーション検定					

認定申請できる科目と単位数 (2026年度入学生 観光専攻、経営情報専攻)

学修の種類等	認定単位数 (上限)		授業科目 (単位数)
IELTS (Academic) 4.0以上5.5未満	4	6	Academic English I (1) Academic English II (1) Academic English III (1) Academic English IV (1)
IELTS (Academic) 5.5以上7.0未満	6		
IELTS (Academic) 7.0以上	8	8	Academic English I (1) Academic English II (1) Academic English III (1) Academic English IV (1) English Grammar I -a (1) English Grammar I -b (1) English Grammar II -a (1) English Grammar II -b (1) English Writing I -a (1) English Writing I -b (1) English Writing II -a (1) English Writing II -b (1) English Speaking I -a (1) English Speaking I -b (1) English Speaking II -a (1) English Speaking II -b (1)
TOEFL iBT 42点以上72点未満	4		
TOEFL iBT 72点以上95点未満	6		
TOEFL iBT 95点以上	8	8	Academic English I (1) Academic English II (1) Academic English III (1) Academic English IV (1) English Grammar I -a (1) English Grammar I -b (1) English Grammar II -a (1) English Grammar II -b (1) English Writing I -a (1) English Writing I -b (1) English Writing II -a (1) English Writing II -b (1) English Speaking I -a (1) English Speaking I -b (1) English Speaking II -a (1) English Speaking II -b (1)
実用英語技能検定 2級	4		
実用英語技能検定 準1級	6		
実用英語技能検定 1級	8	8	Academic English I (1) Academic English II (1) Academic English III (1) Academic English IV (1) English Grammar I -a (1) English Grammar I -b (1) English Grammar II -a (1) English Grammar II -b (1) English Writing I -a (1) English Writing I -b (1) English Writing II -a (1) English Writing II -b (1) English Speaking I -a (1) English Speaking I -b (1) English Speaking II -a (1) English Speaking II -b (1)
TOEIC Listening & Reading Test 650点以上700点未満	1		
TOEIC Listening & Reading Test 700点以上	2		
ITパスポート試験	2		IoTテクノロジー基礎 (2)
中国語検定試験3級・2級	2	4	ビジネススキルA (2) ビジネススキルB (2) ビジネススキルC (2) ビジネススキルD (2)
中国語検定試験準1級	4		
中国語検定試験1級	8		
日本漢字能力検定 (漢検) 2級・準1級	2	4	ビジネススキルA (2) ビジネススキルB (2) ビジネススキルC (2) ビジネススキルD (2)
日本漢字能力検定 (漢検) 1級	4		
実践日本語コミュニケーション検定 B+	2	4	ビジネススキルA (2) ビジネススキルB (2) ビジネススキルC (2) ビジネススキルD (2)
実践日本語コミュニケーション検定 A-	4		
実践日本語コミュニケーション検定 A+	6		

合計12単位

合計8単位

学修の種類等	認定単位数 (上限)	授業科目(単位数)
日商PC検定(文書作成)2級	2	合計8単位 (合計12単位) ビジネススキルA(2) ビジネススキルB(2) ビジネススキルC(2) ビジネススキルD(2)
日商PC検定(文書作成)1級	4	
日商PC検定(データ活用)2級	2	
日商PC検定(データ活用)1級	4	
日本語検定3級	2	
日本語検定準2級・2級	4	
日本語検定準1級	6	
日本語検定1級	8	
ファイナンシャル・プランニング技能士3級	2	
ファイナンシャル・プランニング技能士2級	4	
ファイナンシャル・プランニング技能士1級	8	
ビジネス能力検定(B検)ジョブパス2級	2	
ビジネス能力検定(B検)ジョブパス1級	4	
文部科学省後援 色彩検定2級	2	
文部科学省後援 色彩検定1級	4	
販売士検定2級	2	
販売士検定1級	4	
秘書技能検定2級・準1級	2	
秘書技能検定1級	4	
簿記検定(日商)3級・2級	2	
簿記検定(日商)1級	4	
世界遺産検定2級	2	
世界遺産検定準1級	4	
世界遺産検定1級	6	
世界遺産検定マイスター	8	
国内旅行業務取扱管理者試験	各2	
管理業務主任者試験	各2	
総合旅行業務取扱管理者試験	各4	
基本情報技術者試験	各4	
宅地建物取引士	各4	
全国通訳案内士試験【旧:通訳案内士(ガイド)試験】	6	
備考	<p>1 資格取得に係る学修については、当該資格を得るための所要資格(試験の合格及び実務経験等)を有する者を含みます。</p> <p>2 申請時において修得済み及び履修中の授業科目については、認定を受けることができません。</p> <p>3 学修の種類等(資格)の名称等が変更されている場合でも、認定を受けられることがありますので、学事課(教務担当)で確認してください。</p> <p>4 TOEIC Listening & Reading Testについては、申請日(入学前に取得した場合は入学年度の4月1日)から遡って2年以内に実施されたTOEIC Listening & Reading Testのスコアを対象とします。試験日から2年以上経過したスコアで単位の認定を受けることはできません。</p> <p>5 TOEFL iBTについては、申請日(入学前に取得した場合は入学年度の4月1日)から遡って2年以内に実施されたTOEFL iBTのスコアを対象とします。試験日から2年以上経過したスコア及びTOEFL ITPテストで単位の認定を受けることはできません。</p> <p>6 IELTS (Academic)については、申請日(入学前に取得した場合は入学年度の4月1日)から遡って2年以内に実施されたIELTS (Academic)のスコアを対象とします。試験日から2年以上経過したスコアで単位の認定を受けることはできません。</p> <p>7 英語科目の単位認定は、低年次に開講されている授業科目を優先します。</p> <p>8 実用英語技能検定は、(公財)日本英語検定協会が実施するものとします。</p> <p>9 簿記検定は、日本商工会議所が実施するものとします。</p> <p>10 中国語検定試験は、(一財)日本中国語検定協会が実施するものとします。</p> <p>11 次の語学等試験については、当該言語を母語とする学生は申請できません。</p> <p>(1) TOEIC Listening & Reading Test</p> <p>(2) TOEFL iBT</p> <p>(3) IELTS (Academic)</p> <p>(4) 実用英語技能検定</p> <p>(5) 中国語検定試験</p> <p>(6) 実践日本語コミュニケーション検定</p>	

認定申請できる科目と単位数 (2022～2025年度入学生 観光専攻、経営情報専攻)

学修の種類等	認定単位数 (上限)		授業科目 (単位数)	
ケンブリッジ英語検定 134点以上142点未満	2	4	Academic English I (1) Academic English II (1)	
ケンブリッジ英語検定 142点以上	4		Academic English I (1) Academic English II (1) Academic English III (1) Academic English IV (1)	
TEAP 199点以上235点未満	2	4	Academic English I (1) Academic English II (1)	
TEAP 235点以上	4		Academic English I (1) Academic English II (1) Academic English III (1) Academic English IV (1)	
TEAP CBT 360点以上435点未満	2	4	Academic English I (1) Academic English II (1)	
TEAP CBT 435点以上	4		Academic English I (1) Academic English II (1) Academic English III (1) Academic English IV (1)	
TOEIC Listening & Reading Test/TOEIC Speaking & Writing Tests 900点以上1200点未満	2	4	Academic English I (1) Academic English II (1)	
TOEIC Listening & Reading Test/TOEIC Speaking & Writing Tests 1200点以上	4		Academic English I (1) Academic English II (1) Academic English III (1) Academic English IV (1)	
IELTS (Academic) 4.0以上5.0未満	4	10	Academic English I (1) Academic English II (1) Academic English III (1) Academic English IV (1)	
IELTS (Academic) 5.0以上5.5未満	8		Academic English I (1) Academic English II (1) Academic English III (1) Academic English IV (1)	
IELTS (Academic) 5.5以上7.0未満	10		ビジネススキルA (2) ビジネススキルB (2) ビジネススキルC (2) ビジネススキルD (2)	
IELTS (Academic) 7.0以上	12			
TOEFL Essentials 4.0点以上5.0点未満	2	12	Academic English I (1) Academic English II (1)	
TOEFL iBT 45点以上63点未満	4		Academic English I (1) Academic English II (1) Academic English III (1) Academic English IV (1)	
TOEFL iBT 63点以上72点未満	8		Academic English I (1) Academic English II (1) Academic English III (1) Academic English IV (1)	
TOEFL Essentials 5.0点以上8.0点未満	10		Academic English I (1) Academic English II (1) Academic English III (1) Academic English IV (1)	
TOEFL iBT 72点以上95点未満	10		ビジネススキルA (2) ビジネススキルB (2) ビジネススキルC (2) ビジネススキルD (2)	
TOEFL Essentials 8.0点以上10.0点未満	12			
TOEFL iBT 95点以上	12			
TOEFL Essentials 10.0点以上	12			
実用英語技能検定 1880点以上1996点未満	2		12	Academic English I (1) Academic English II (1)
実用英語技能検定 1996点以上2304点未満	4	Academic English I (1) Academic English II (1) Academic English III (1) Academic English IV (1)		
実用英語技能検定 2304点以上2630点未満	10	Academic English I (1) Academic English II (1) Academic English III (1) Academic English IV (1)		
実用英語技能検定 2630点以上	12	ビジネススキルA (2) ビジネススキルB (2) ビジネススキルC (2) ビジネススキルD (2)		
TOEIC Listening & Reading Test 650点以上700点未満	1	2	Advanced English skills C (1)	
TOEIC Listening & Reading Test 700点以上	2		Advanced English skills C (1) Advanced English skills D (1)	
ITパスポート試験	2		IoTテクノロジー基礎 (2)	
中国語検定試験3級・2級	2	4	合計8単位	
中国語検定試験準1級	4			
中国語検定試験1級	8			
日本漢字能力検定 (漢検) 2級・準1級	2	4	ビジネススキルA (2) ビジネススキルB (2) ビジネススキルC (2) ビジネススキルD (2)	
日本漢字能力検定 (漢検) 1級	4			
実践日本語コミュニケーション検定 B+	2	6		
実践日本語コミュニケーション検定 A-	4			
実践日本語コミュニケーション検定 A+	6			

学修の種類等	認定単位数 (上限)	授業科目(単位数)
日商PC検定(文書作成)2級	2	ビジネススキルA(2) ビジネススキルB(2) ビジネススキルC(2) ビジネススキルD(2)
日商PC検定(文書作成)1級	4	
日商PC検定(データ活用)2級	2	
日商PC検定(データ活用)1級	4	
日本語検定3級	2	
日本語検定準2級・2級	4	
日本語検定準1級	6	
日本語検定1級	8	
ファイナンシャル・プランニング技能士3級	2	
ファイナンシャル・プランニング技能士2級	4	
ファイナンシャル・プランニング技能士1級	8	
ビジネス能力検定(B検)ジョブパス2級	2	
ビジネス能力検定(B検)ジョブパス1級	4	
文部科学省後援 色彩検定2級	2	
文部科学省後援 色彩検定1級	4	
販売士検定2級	2	
販売士検定1級	4	
秘書技能検定2級・準1級	2	
秘書技能検定1級	4	
簿記検定(日商)3級・2級	2	
簿記検定(日商)1級	4	
世界遺産検定2級	2	
世界遺産検定準1級	4	
世界遺産検定1級	6	
世界遺産検定マイスター	8	
国内旅行業務取扱管理者試験	各2	
管理業務主任者試験	各2	
総合旅行業務取扱管理者試験	各4	
基本情報技術者試験	各4	
宅地建物取引士	各4	
全国通訳案内士試験【旧:通訳案内士(ガイド)試験】	6	
備考		

- 1 資格取得に係る学修については、当該資格を得るための所要資格(試験の合格及び実務経験等)を有する者を含みます。
- 2 申請時において修得済み及び履修中の授業科目については、認定を受けることができません。
- 3 学修の種類等(資格)の名称等が変更されている場合でも、認定を受けられることがありますので、学事課(教務担当)で確認してください。
- 4 TOEIC Listening & Reading Test及びTOEIC Speaking & Writing Testsについては、申請日(入学前に取得した場合は入学年度の4月1日)から遡って2年以内に実施され、かつ、2ヶ月以内の間隔で実施された公開テストのスコアの合計値を対象とします。
- (1) TOEIC Listening & Reading TestのスコアとTOEIC Speaking & Writing Testsのスコアは、次の公式で算出される値とします。
(TOEIC Listening & Reading Testのスコア) + (TOEIC Speaking & Writing Testsのスコア×2.5) = 合計値
- (2) 試験日から2年以上経過したスコア、団体特別受験制度によるIPスコア及び2ヶ月を超えた間隔で実施された公開テストの合計値で単位の認定を受けることはできません。
- 5 TOEFL iBTについては、申請日(入学前に取得した場合は入学年度の4月1日)から遡って2年以内に実施されたTOEFL iBTのスコアを対象とします。試験日から2年以上経過したスコア及びTOEFL ITPテストで単位の認定を受けることはできません。
- 6 TOEFL Essentialsについては、申請日(入学前に取得した場合は入学年度の4月1日)から遡って2年以内に実施されたTOEFL EssentialsのTest Dateスコアを対象とします。試験日から2年以上経過したスコア及びTOEFL EssentialsのMyBestスコアで単位の認定を受けることはできません。
- 7 IELTS (Academic)については、申請日(入学前に取得した場合は入学年度の4月1日)から遡って2年以内に実施されたIELTS (Academic)のスコアを対象とします。試験日から2年以上経過したスコアで単位の認定を受けることはできません。
- 8 TEAP及びTEAP CBTについては、申請日(入学前に取得した場合は入学年度の4月1日)から遡って2年以内に実施されたTEAP及びTEAP CBTのスコアを対象とします。試験日から2年以上経過したスコアで単位の認定を受けることはできません。
- 9 英語科目の単位認定は、低年次に開講されている授業科目を優先します。
- 10 実用英語技能検定は、(公財)日本英語検定協会が実施するものとします。
- 11 簿記検定は、日本商工会議所が実施するものとします。
- 12 中国語検定試験は、(一財)日本中国語検定協会が実施するものとします。
- 13 次の語学等試験については、当該言語を母語とする学生は申請できません。
- (1) TOEIC Listening & Reading Test
(2) TOEIC Speaking & Writing Tests
(3) TOEFL iBT
(4) TOEFL Essentials
(5) IELTS (Academic)
(6) TEAP
(7) TEAP CBT
(8) ケンブリッジ英語検定
(9) 実用英語技能検定
(10) 中国語検定試験
(11) 実践日本語コミュニケーション検定

認定申請できる科目と単位数 (2020・2021年度入学生 ホスピタリティ・ツーリズム メジャー)

学修の種類等	認定単位数 (上限)		授業科目 (単位数)
ケンブリッジ英語検定 134点以上142点未満	2	4	総合英語Ⅰ (1) 総合英語Ⅱ (1)
ケンブリッジ英語検定 142点以上	4		総合英語Ⅲ (1) 総合英語Ⅳ (1)
TEAP 199点以上235点未満	2	4	総合英語Ⅰ (1) 総合英語Ⅱ (1)
TEAP 235点以上	4		総合英語Ⅲ (1) 総合英語Ⅳ (1)
TEAP CBT 360点以上435点未満	2	4	総合英語Ⅰ (1) 総合英語Ⅱ (1)
TEAP CBT 435点以上	4		総合英語Ⅲ (1) 総合英語Ⅳ (1)
TOEIC Listening & Reading Test/TOEIC Speaking & Writing Tests 900点以上1200点未満	2	4	総合英語Ⅰ (1) 総合英語Ⅱ (1)
TOEIC Listening & Reading Test/TOEIC Speaking & Writing Tests 1200点以上	4		総合英語Ⅲ (1) 総合英語Ⅳ (1)
IELTS (Academic) 4.0以上5.0未満	4		総合英語Ⅰ (1) 総合英語Ⅱ (1) 総合英語Ⅲ (1) 総合英語Ⅳ (1)
IELTS (Academic) 5.0以上5.5未満	8	12	総合英語Ⅰ (1) 総合英語Ⅱ (1) 総合英語Ⅲ (1) 総合英語Ⅳ (1) ビジネススキルA (2) ビジネススキルB (2) ビジネススキルC (2) ビジネススキルD (2)
IELTS (Academic) 5.5以上7.0未満	10		
IELTS (Academic) 7.0以上	12		
TOEFL iBT 45点以上63点未満	4		総合英語Ⅰ (1) 総合英語Ⅱ (1) 総合英語Ⅲ (1) 総合英語Ⅳ (1)
TOEFL iBT 63点以上72点未満	8	12	総合英語Ⅰ (1) 総合英語Ⅱ (1) 総合英語Ⅲ (1) 総合英語Ⅳ (1) ビジネススキルA (2) ビジネススキルB (2) ビジネススキルC (2) ビジネススキルD (2)
TOEFL iBT 72点以上95点未満	10		
TOEFL iBT 95点以上	12		
実用英語技能検定 1880点以上1996点未満	2	4	総合英語Ⅰ (1) 総合英語Ⅱ (1)
実用英語技能検定 1996点以上2304点未満	4		総合英語Ⅲ (1) 総合英語Ⅳ (1)
実用英語技能検定 2304点以上2630点未満	10	12	総合英語Ⅰ (1) 総合英語Ⅱ (1) 総合英語Ⅲ (1) 総合英語Ⅳ (1) ビジネススキルA (2) ビジネススキルB (2) ビジネススキルC (2) ビジネススキルD (2)
実用英語技能検定 2630点以上	12		
TOEIC Listening & Reading Test 650点以上700点未満	1	2	Advanced English skills C (1)
TOEIC Listening & Reading Test 700点以上	2		Advanced English skills D (1)
中国語検定試験 3級・2級	2	4	
中国語検定試験 準1級	4		
中国語検定試験 1級	8		
日本漢字能力検定 (漢検) 2級・準1級	2	4	
日本漢字能力検定 (漢検) 1級	4		
実践日本語コミュニケーション検定 B+	2	6	ビジネススキルA (2) ビジネススキルB (2) ビジネススキルC (2) ビジネススキルD (2)
実践日本語コミュニケーション検定 A-	4		
実践日本語コミュニケーション検定 A+	6		
日商PC検定 (文書作成) 2級	2	4	
日商PC検定 (文書作成) 1級	4		
日商PC検定 (データ活用) 2級	2	4	
日商PC検定 (データ活用) 1級	4		

合計12単位

合計8単位

学修の種類等	認定単位数 (上限)	授業科目(単位数)
日本語検定3級	2	ビジネススキルA(2) ビジネススキルB(2) ビジネススキルC(2) ビジネススキルD(2)
日本語検定準2級・2級	4	
日本語検定準1級	6	
日本語検定1級	8	
ファイナンシャル・プランニング技能士3級	2	
ファイナンシャル・プランニング技能士2級	4	
ファイナンシャル・プランニング技能士1級	8	
ビジネス能力検定(B検)ジョブパス2級	2	
ビジネス能力検定(B検)ジョブパス1級	4	
文部科学省後援 色彩検定2級	2	
文部科学省後援 色彩検定1級	4	
販売士検定2級	2	
販売士検定1級	4	
秘書技能検定2級・準1級	2	
秘書技能検定1級	4	
簿記検定(日商)3級・2級	2	
簿記検定(日商)1級	4	
世界遺産検定2級	2	
世界遺産検定準1級	4	
世界遺産検定1級	6	
世界遺産検定マイスター	8	
国内旅行業務取扱管理者試験	各2	
管理業務主任者試験	各2	
総合旅行業務取扱管理者試験	各4	
基本情報技術者試験	各4	
宅地建物取引士	各4	
ITパスポート試験	各4	
全国通訳案内士試験【旧：通訳案内士(ガイド)試験】	6	
備考		

- 1 資格取得に係る学修については、当該資格を得るための所要資格(試験の合格及び実務経験等)を有する者を含みます。
- 2 申請時において修得済み及び履修中の授業科目については、認定を受けることができません。
- 3 学修の種類等(資格)の名称等が変更されている場合でも、認定を受けられることがありますので、学事課(教務担当)で確認してください。
- 4 TOEIC Listening & Reading Test及びTOEIC Speaking & Writing Testsについては、申請日(入学前に取得した場合は入学年度の4月1日)から遡って2年以内に実施され、かつ、2ヶ月以内の間隔で実施された公開テストのスコアの合計値を対象とします。
- (1) TOEIC Listening & Reading TestのスコアとTOEIC Speaking & Writing Testsのスコアは、次の公式で算出される値とします。
(TOEIC Listening & Reading Testのスコア) + (TOEIC Speaking & Writing Testsのスコア×2.5) = 合計値
- (2) 試験日から2年以上経過したスコア、団体特別受験制度によるIPスコア及び2ヶ月を超えた間隔で実施された公開テストの合計値で単位の認定を受けることはできません。
- 5 TOEFL iBTについては、申請日(入学前に取得した場合は入学年度の4月1日)から遡って2年以内に実施されたTOEFL iBTのスコアを対象とします。試験日から2年以上経過したスコア及びTOEFL ITPテストで単位の認定を受けることはできません。
- 6 IELTS (Academic) については、申請日(入学前に取得した場合は入学年度の4月1日)から遡って2年以内に実施されたIELTS (Academic) のスコアを対象とします。試験日から2年以上経過したスコアで単位の認定を受けることはできません。
- 7 TEAP及びTEAP CBTについては、申請日(入学前に取得した場合は入学年度の4月1日)から遡って2年以内に実施されたTEAP及びTEAP CBTのスコアを対象とします。試験日から2年以上経過したスコアで単位の認定を受けることはできません。
- 8 英語科目の単位認定は、低年次に開講されている授業科目を優先します。
- 9 実用英語技能検定は、(公財)日本英語検定協会が実施するものとします。
- 10 簿記検定は、日本商工会議所が実施するものとします。
- 11 中国語検定試験は、(一財)日本中国語検定協会が実施するものとします。
- 12 次の語学等試験については、当該言語を母語とする学生は申請できません。
- (1) TOEFL iBT
(2) TOEIC Listening & Reading Test
(3) TOEIC Speaking & Writing Tests
(4) IELTS (Academic)
(5) TEAP
(6) TEAP CBT
(7) ケンブリッジ英語検定
(8) 実用英語技能検定
(9) 中国語検定試験
(10) 実践日本語コミュニケーション検定

対象・申請方法等

対 象	入学前に行った学修		入学後に行った学修		
	2026年度入学の1年のみ		1～4年	4年（8学期）	1～4年（7学期）
申 請 期 間	4月入学	9月入学	第1回	第2回	
	3月30日（月）～4月6日（月）	9月7日（月）～9日（水）	前年度2月24日（火）～8月21日（金）	8月24日（月）～1月29日（金）	8月24日（月）～2月19日（金）
提 出 書 類	① 申請書類 a 入学前に行った学修（2026年度入学の1年のみ） 単位認定申請書兼単位認定通知書（本学所定様式） b 入学後に行った学修 単位認定申請書（本学所定様式） ② 知識及び技能に係る審査の成果に関する証明書（原本） 以下の項目が記載されている合格証書等（原本）を提出してください。 ●氏名 ●合格級数又は取得スコア等（学修の種類等で指定された要件） ●合格又は試験の年月日 ＊原則、インターネットからダウンロードした合格証明書等では申請できません。各自、試験実施団体が発行する公式の証明書（原本）を取得し、提出してください。ただし、デジタル合格証のみの発行の場合は、当該合格証を印刷したものを提出してください。原本提出の場合は、手続終了後に返却します。				
所定様式配布及び申請書類等提出先	学事課（教務担当）				
単 位 認 定 発 表	4月入学	9月入学	学期末の成績発表をもって単位認定発表に代えます。第1回申請期間に申請のあったものについては、前学期に単位を修得したものと前学期成績表に記載します。また、第2回申請期間に申請のあったものについては、後学期に単位を修得したものと後学期成績表に記載します。		
	4月10日（金）	9月17日（木）			
	学事課（教務担当）で単位認定通知書を直接本人へ交付します。				
備 考	入学後に行った学修のうち、第1回申請期間に申請のあったものについては9月の進級及び卒業要件に、第2回申請期間に申請のあったものについては3月の進級及び卒業の要件に反映されますので、該当者は留意してください。				

[3] 派遣留学生
（約1年間の
海外留学）

※右記の留学先や留学期間はこれまでの実績等に基づくものであり、国際情勢やその他の影響により、変更又は中止となることがあります。

留学先と留学年次等

専攻	留学先（国名等）	留学年次	留学期間	認定される単位数の上限
グローバル・マネジメント専攻	サンウェイ大学（マレーシア）	2	約12か月	40
	テイラーズ大学（マレーシア）			
	ハワイ大学（アメリカ）			
	セントラルフロリダ大学（アメリカ）			
観光専攻 経営情報専攻	カリフォルニア大学リバーサイド校 エクステンションセンター 他（アメリカ）	2又は3	約10か月	

認定申請できる科目及び手続等

別途開催されるオリエンテーション等で説明があります。留学対象者は、必ず出席してください。

なお、留学を検討する際は、自身の在籍年次や単位修得状況と、帰国時期及び単位認定申請期限等を十分確認してください。

[4] 派遣留学生 (短期海外研修)

※グローバル・マネジメント専攻 [GMM] を除く。

単位認定を伴う派遣留学(短期海外研修)はありません。

単位認定を伴わない短期海外研修については、学事課国際化推進室で確認してください。

[千葉県私立大学(短期大学を含む。)及び放送大学間の単位互換制度]

協定校

① 大学(27大学)

敬愛大学	和洋女子大学	麗澤大学	千葉商科大学
千葉工業大学	中央学院大学	淑徳大学	帝京平成大学
神田外語大学	千葉経済大学	東京情報大学	秀明大学
国際武道大学	川村学園女子大学	江戸川大学	聖徳大学
東京基督教大学	城西国際大学	二松学舎大学	清和大学
愛国学園大学	開智国際大学	植草学園大学	三育学院大学
国際医療福祉大学	環太平洋大学		
放送大学*			

※第2学期(後学期)のみ

② 短期大学(7短期大学)

千葉明德短期大学	千葉経済大学短期大学部	敬愛短期大学
昭和学院短期大学	清和大学短期大学部	聖徳大学短期大学部
東京経営短期大学		

注意 開放されている授業科目等については、各協定校の「特別聴講学生募集要項」に掲載されます。

認定申請できる科目と単位数等

科目区分		授業科目名(単位数)	認定される単位数の上限
共通科目	キャリア形成教育	特別聴講科目A(2) 特別聴講科目B(2) 特別聴講科目C(2) 特別聴講科目D(2)	8

諸手続等

出願資格、出願手続及び単位認定申請の手続等に関する詳細は、学事課(教務担当)で配布される「千葉県私立大学(短期大学を含む。)及び放送大学間の単位互換に関する包括協定に基づく派遣学生出願要項」及び各協定校の「特別聴講学生募集要項」に掲載されます。

[6] インターンシップ

本学が定める企業等における実習・研修的な就業体験（インターンシップ）の成果に対して単位の認定を行います。

インターンシップの実施機関、参加手続及び単位認定申請手続等については、キャリアサポートセンターで確認してください。

認定申請できる科目と単位数等

科目区分		授業科目名（単位数）	認定される単位数の上限	
共通科目	キャリア形成教育	インターンシップA・B・C・D(各2)	8	44
専門科目	ホスピタリティ・ツーリズム	ホスピタリティ・ツーリズム産業実地研修A・B・C・D・E・F・G・H(各4) ホスピタリティ・ツーリズム産業海外研修A・B(各2)	36	

単位認定発表について

夏季休暇中に実施したものについては、実施年度の前学期に単位を修得したものととして実施年度の後学期成績表に記載します。また、春季休暇中に実施したものについては、実施年度の後学期に単位を修得したものととして翌年度の前学期成績表に記載します。

[7] ボランティア活動

本学が定める社会貢献活動（ボランティア活動）の成果に対して単位の認定を行います。ボランティアの受入機関、参加手続及び単位認定申請手続等については、学生支援課（学生支援担当）で確認してください。

認定申請できる科目と単位数等

科目区分			授業科目名（単位数）	認定される単位数の上限
共通科目	人間力形成教育	人間形成	ボランティア活動A(2) ボランティア活動B(2)	4

単位認定発表について

7月に開催されるボランティア活動報告会に参加した場合は、前学期に単位を修得したものととして前学期成績表に記載します。また、1月に開催されるボランティア活動報告会に参加した場合は、後学期に単位を修得したものととして後学期成績表に記載します。

注意 ボランティア活動A：国内活動
ボランティア活動B：海外活動

[8] ホスピタリティ・ボランティア活動

ホスピタリティ・ツーリズム学部が実施するボランティア活動の成果に対して単位の認定を行います。

ボランティアの受入機関、参加手続及び単位認定申請手続等については、ホスピタリティ・ツーリズム学部ファカルティ・オフィスで確認してください。

認定申請できる科目と単位数等

科目区分		授業科目名（単位数）
専門科目	ホスピタリティ・ツーリズム	ホスピタリティ・ボランティア活動（4）

単位認定発表について

実施年度の後学期に単位を修得したものととして翌年度の前学期成績表に記載します。

5 学籍

1 修業年限と在学期間

修業年限とは、本学の教育課程を修了するために必要な期間で、通算4年（8学期）と定めています。また、在学期間とは、本学に在籍することができる期間で、上限を通算8年（16学期）と定めています。

修業年限 通算4年（8学期）

在学期間 通算8年（16学期）以内

参照→編入学生・学士入学生の修業年限と在学期間
→P.77「修業年限と在学期間」

2 学籍の異動

[1] 休学

傷病その他やむを得ない事由により、引き続き3か月以上出席することができない者は、許可を得て休学することができます。

	概 要			
休学単位	学期			
休学期間	(1) 休学できる期間は、3か月以上で学期の期間（1学期）以内又は1年（2学期）以内とします。 ※年度を越えて1年（2学期）にわたる休学の場合は、各学期ごとに休学の願い出を行い、許可を得ること。 (2) 休学の継続は、1年（2学期）以内〔連続して休学できる期間の上限は2年（4学期）〕とします。 ※あらかじめ休学の願い出を行い、許可を得ること。 (3) 休学期間は、通算して3年（6学期）を超えることはできません。			
休学期間満了日	当該年度の前学期末の9月30日又は当該年度の後学期末の3月31日			
休学期間と修業年限・在学期間	休学期間は修業年限及び在学期間に算入されません。 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 2px;">修業年限 通算4年(8学期)</td> <td style="padding: 2px;">在学期間 通算8年(16学期)以内</td> <td style="padding: 2px;">休学期間 3年(6学期)以内</td> </tr> </table>	修業年限 通算4年(8学期)	在学期間 通算8年(16学期)以内	休学期間 3年(6学期)以内
修業年限 通算4年(8学期)	在学期間 通算8年(16学期)以内	休学期間 3年(6学期)以内		
提出書類	保証人連署の「休学願」（所定様式・自署） ※傷病による休学は、診断書を添付してください。			
手続期限	休学開始希望日の1か月前			
休学の許可	休学が許可された場合、「休学許可書」が交付されます。			
休学による授業料等の免除	3月31日以前または9月30日以前に休学を願い出て許可された者は、休学が許可された学期に納付すべき授業料、施設維持費及び教育充実費が免除されます。			
在籍料	休学を許可された者は、在籍料として1学期当たり5万円を納付してください。			
学期の途中からの休学	学期の途中からの休学は1学期として換算します。 (1) 当該学期に開講されている授業科目の単位は認定されません。 (2) 当該学期に納入すべき学生納付金が完納されていない場合は、休学は許可されません。			
取扱窓口	学生支援課（学生支援担当）			

参考：休学期間一覧

休学期間		備 考
開始日	満了日	
4月1日	9月30日	前学期の1学期間休学
	年度末の3月31日	前学期と後学期の1年（2学期）間休学
前学期の途中	9月30日	前学期の1学期間休学
	年度末の3月31日	前学期と後学期の1年（2学期）間休学
10月1日	年度末の3月31日	後学期の1学期間休学
	翌年度9月30日	後学期と翌年度前学期の1年（2学期）間休学 ※各学期ごとに休学手続が必要
後学期の途中	年度末の3月31日	後学期の1学期間休学
	翌年度9月30日	後学期と翌年度前学期の1年（2学期）間休学 ※各学期ごとに休学手続が必要

[2] 復学

休学の事由が解消し復学を希望する者は、許可を得て復学することができます。

ア 復学の時期

復学の時期は、休学期間満了日の翌日とし、休学開始時と同じ学期へ復学するものとしします。

復学する際には、自分の在籍する学期(年次)をよく確認し、学修計画を立ててください。

イ 復学手続

提出書類	保証人連署の「復学願」(所定様式・自署) ※傷病の回復による復学は、診断書を添付してください。
手続期限	復学希望日の1か月前
復学の許可	復学が許可された場合、「復学許可書」が交付されます。
取扱窓口	学生支援課(学生支援担当)

[3] 退学

傷病その他やむを得ない事由により退学を希望する者は、許可を得て退学することができます。

なお、退学希望日の属する学期に納入すべき学生納付金が完納されていない場合、退学は許可されません。

提出書類	保証人連署の「退学願」(所定様式・自署) ※傷病による退学は、極力、診断書を添付してください。
手続期限	退学希望日の1か月前
退学の許可	退学が許可された場合、「退学許可書」が交付されます。
取扱窓口	学生支援課(学生支援担当)

※学生証を退学日までに返却してください。

※退学後に再入学を希望する場合は、学事課(教務担当)へ相談してください。

[4] 除籍

次のいずれかに該当する者は、除籍となります。

- 学生納付金の納入を怠り、督促を受けてもなお納入しない者

納入期限	前学期	4月末日
	後学期	10月末日

- 学則に定められた在学期間を超えた者

- 学則に定められた休学期間を超えた者

※傷病その他の事由により、卒業の見込みがないと認められる者は、除籍となることがあります。

※学生証を返却してください。

[5] 復籍

学生納付金等の納入を怠り、督促を受けてもなお納入せずに除籍となった者が、除籍日の翌日から起算して2年以内に願ひ出た場合は、復籍を許可する場合があります。復籍を希望する場合は、学生支援課(学生支援担当)に相談してください。

[6] 転学部

転学部を志望する者がいるときは、異動を希望する学部に欠員がある場合に限り、選考の上、許可することがあります。

当該選考の有無並びに選考を行う場合の出願資格、受験手続及び日程等の詳細については、12月頃掲示で発表します。

異動区分	他学部(2年次)への異動
対象者	転学部する年度の4月1日現在で、本学に1年以上在学(休学期間は除く。)する者 ※各学科の条件等は、「転学部・転学科試験要項」で確認してください。
選考方法	出願書類、試験の成績、単位の修得状況及び成績等を総合判定
出願・選考の時期	2~3月頃

6

その他

1 明海多言語コミュニケーションcommons (MLACC)

明海多言語コミュニケーションcommons〔Meikai Multilingual And Communication Commons 通称 MLACC (エムラック)〕は、建学の精神に則り、幅広い教養に裏打ちされたコミュニケーション能力を身につけ、主体的に異文化コミュニケーションを実践できるよう、支援する場所です。MLACCは、日本語・英語・中国語の個別言語ゾーンと、プレゼンテーションやグループワーク等で使用する多目的ゾーンで構成されます。日本語ゾーンでは、ライティングサポート及び留学生のための目的別日本語学習指導を行っています。英語ゾーンでは、英語ネイティブ教員や他の学生たちと親しく交わりながら、英語によるコミュニケーションのスキルアップを図ったり、英語に関する質問をしたりすることができます。フレンドリーな雰囲気の中、日常会話やゲームなどを通じて自然に英語が身につけ、キャンパスにいながらにして留学生生活を体験できます。

明海多言語コミュニケーションcommons (MLACC) の利用について

対 象 学部・学科を問わず、誰でも利用できます。
場 所 第2管理・研究棟2階
※利用時間等の詳細については、掲示等で確認してください。

2 コンピュータ・コンサルティング・サロン (CCS)

コンピュータ・コンサルティング・サロン (CCS) では、コンピュータを使った授業の分からないところを質問したり、レポートをまとめる際の集計や分析の手法を相談するなどコンピュータのスキルアップを図ることができます。

また、上級者はホームページの作成やプログラミングなどのより高度なスキルを学ぶこともできます。

コンピュータ・コンサルティング・サロン (CCS) の利用について

対 象 学部・学科を問わず、誰でも利用できます。
実施期間 前学期・後学期の授業期間内
利用時間 サロンに掲示します。
利用方法 予約の必要はありません。
時間内はいつでも気軽に参加してください。
場 所 30周年記念館 (図書館) 2階

3 科目等履修生

本学では、高等学校を卒業した者、通常の課程による12年の学校教育を修了した者又は文部科学省の定めるところにより高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、授業科目の一又は複数の科目について履修することにより、教養を高め、理論を深める目的を持つ者を科目等履修生として受け入れる制度があります。

科目等履修生は、履修を許可された授業科目の実授業回数の5分の4以上出席し、かつ所定の試験に合格した場合は、単位を認定します。

出願方法等詳細は、「科目等履修生出願要項」に掲載しますので、出願を希望する者は、事前に学事課（教務担当）に問い合わせてください。

注意 在学中は、本学の科目等履修生になることができません。

4 研究生

本学では、特定の課題について研究することを目的とした者を研究生として受け入れる制度があります。

出願資格は、本学の大学院への入学を希望し、かつ、その他「研究生出願要項」に掲載されている条件に該当する者としてします。

入学を希望する者は、指導を受けようとする本学教員の許可を得た上で出願しなければなりません。また、研究修了時には、研究成果の概要等を記載した「研究修了届」を提出しなければなりません。

出願方法等詳細については、「研究生出願要項」に掲載しますので、出願を希望する者は、事前に学事課（教務担当）に問い合わせてください。

7

教務事務

1 証明書

成績及び学籍等の諸証明書は、その種類に応じてS.I.S.(Student Information Services / 自動証明書発行機)又は学事課(教務担当)若しくは学生支援課(学生支援担当)で交付します。

S.I.S.以外の窓口での発行は、「証明書交付願」(所定の証紙を貼付)に必要な事項を記入し申し込んでください。

証明書の種類によって交付に要する日数が異なり、また、証明書の申込みが集中する時期には、所定以上の日数を要することもありますので、時間に余裕をもって申し込んでください。

教務関係証明書

対象	証明書	取扱窓口	交付所要日数	手数料	備考	
在 学 生	☆成績証明書	S. I. S.	即時	300円	成績証明書には、単位を修得した科目のみ記載されます。	
	☆卒業見込証明書				卒業要件を満たす履修登録がされている4年(9月卒業見込者を含む。)のみ発行します。ただし、後学期に4年7学期の者を除きます。	
	単位修得証明書	学事課 (教務担当)	2日	300円 (所定の証紙を購入)	ゼミ担当教員又は学科主任等が必要事項(学習の所見、在学中の状況、記載責任者署名等)を記入したものを窓口へ提出し、申し込んでください。	
	単位修得見込証明書		7日			
	調査書・推薦書等 (大学院受験用)					
卒 業 生 等	☆成績証明書	学事課 (教務担当)	2日	300円 (所定の証紙を購入)	成績証明書には、単位を修得した科目のみ記載されます。	
	単位修得証明書				7日	ゼミ担当教員又は学科主任等が必要事項(学習の所見、在学中の状況、記載責任者署名等)を記入したものを窓口へ提出し、申し込んでください。
	☆卒業証明書					
	☆在学期間証明書					
	調査書・推薦書等 (大学院受験用)					

※☆印は英文発行可能な証明書です。申込みは学事課(教務担当)で、交付所要日数は2日です。

※卒業生に限り郵便による申込みを受け付けます。手続方法等は、明海大学公式ホームページで確認してください。

※その他定型以外の証明書の発行については、学事課(教務担当)へ問い合わせてください。

注意 学事課(教務担当)で申し込んだ証明書の保管期限は、申込日から3か月までとします。この期限を過ぎた証明書は、受領の意思がないものとみなし廃棄します。なお、この場合の証明書発行手数料は返還しません。

学生生活関係証明書

対象	証明書	取扱窓口	交付所要日数	手数料	備考
在学生	☆健康診断証明書	S.I.S.	即時 (窓口発行は3日後)	300円	定期健康診断を受診又は医療機関の健康診断書を提出し、本学が指定した全受診科目において診断結果が異常なしの学生に発行します。 ※歯科検診結果については記載されません。
	☆在学証明書		即時 (窓口発行は翌日)		
	学割証	学生支援課 (学生支援担当)	即時	無料	年度内10枚まで発行可能。発行日から3か月間有効
	通学証明書				通学定期券を学生証の提示のみで購入できないときにのみ発行します。

※☆印は英文発行可能な証明書です。申込みは学生支援課（学生支援担当）で、交付所要日数は、在学証明書は翌日、健康診断証明書は7日です。

※上記証明書は、原則S.I.S.又は窓口で発行します。特別な事情がない限り、郵送対応はしません。

注意 窓口で申し込んだ証明書の保管期限は、申込日から3か月までとします。この期限を過ぎた証明書は、受領の意思がないものとみなし廃棄します。なお、この場合の証明書発行手数料は返還しません。

2 事務取扱時間

教務関係の事務取扱は、管理・研究棟2階の学事課（教務担当）において行います。窓口取扱時間は、次のとおりとなっていますので時間を厳守してください。

区分	窓口取扱時間
授業期間	月～金 9:00～18:30
	土 9:00～13:00
試験期間	月～金 9:00～17:30
	土 9:00～13:00
その他 (夏季・冬季・春季休暇中等)	月～金 9:00～17:00
	土 9:00～13:00

注意 日曜日及び祝日（休日授業実施日を除く。）は休業となり、窓口取扱は一切行いません。また、入学試験及び大学行事等による休業や窓口取扱時間の変更については、掲示及び浦安キャンパス公式ホームページで告知します。

3 問い合わせ

- (1) 行事予定、休講、その他授業や試験・成績等についての電話での問い合わせには、一切応じません。
- (2) 教員の個人情報（住所、電話番号及びメールアドレス等）に関する問い合わせには、一切応じません。

4 学生への連絡

大学では、学生への告知、発表、諸手続等の連絡は、Webポータルシステムによる掲示配信又は掲示板への掲示で行います。Webポータルシステムや掲示板の掲示を見ないことを理由にしての諸手続の遅延や免責は認められませんので、十分注意してください。Webポータルシステムを毎日こまめに確認するとともに、登下校時には、必ず掲示板を見る習慣を身につけてください。

なお、Webポータルシステムは、パソコン及びスマートフォン等で利用できます。

[1] Webポータルシステムによる掲示配信

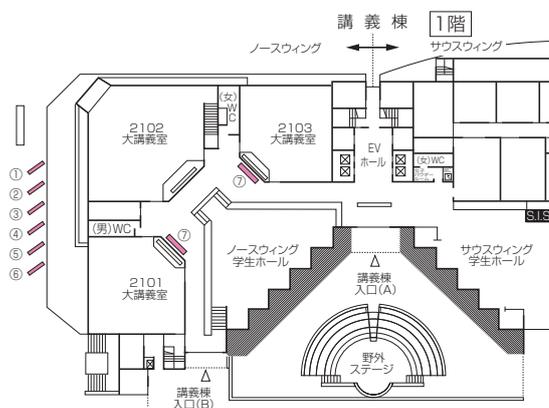
参照▶[Webポータルシステム利用マニュアル]

大学からの緊急連絡、休講・補講・教室変更・学生呼出し等の諸連絡については、Webポータルシステムによる掲示配信で行いますので、こまめに確認してください。

また、パソコン・スマートフォン・携帯電話等のメールアドレスを登録すると各種掲示情報がメール配信されますので、必ず登録してください。

[2] 掲示板の場所と掲示内容

掲示板の場所及び掲示内容は、原則として次のとおりです。



NO.	掲 示 板	掲 示 内 容
①	外国語学部掲示板	各学部の授業（休講、補講）やレポート、平常授業時に行われる試験、留学等の内容に関する こと。
②	経済学部掲示板	
③	不動産学部掲示板	
④	ホスピタリティ・ツーリズム学部掲示板	
⑤	呼び出し掲示板	呼び出し（履修、成績等の内容に関すること。）
⑥	全学共通掲示板	その他学生生活に関すること。
⑦	2101・2103大講義室横掲示板	履修関連、授業時間割、教室変更、定期試験、 進級・卒業等に関すること。

5 メールアカウントの付与

授業等において、講義資料の受領やレポート提出をスムーズに行えるようにするため、学生全員にメールアドレス（G-mail）を付与しています。メールアドレス及びパスワードについては、次のとおりです。

メールアドレス	s学籍番号@meikai.ac.jp (注：学籍番号は、学生証に記載されている8桁の番号です。)	
初期パスワード 確認方法	手順①	Webポータルシステムにログインする。
	手順②	ログイン後、「個人情報」の中の「学籍情報照会」を選択する。
	手順③	「学内LANパスワード」欄に記載されているパスワードを使用する。

※メールアドレスの使用に当たっては、CAMPUS GUIDE巻末資料に記載されている「明海大学浦安キャンパスネットワーク利用規則（学生用）」を確認してください。

6 シラバス

『シラバス』には、各授業科目の授業の概要、到達目標、履修条件、評価基準・方法及び教科書等が記載されています。受講計画を立てる際の授業科目選択の手引きとして、また、学修を進めていく上でも『シラバス』を確認し、授業の目標達成のために活用してください。

『シラバス』は、明海大学浦安キャンパス公式ホームページから閲覧できます。

※授業科目によっては授業の進度等により授業計画を変更することがあります。

<URL>

<https://syllabus.meikai.sugawara-p.co.jp/web/show.php>

<QRコード>



<パソコン版Webサイト画面>

明海大学 MEIKAI UNIVERSITY Syllabus 2026

Home 学部 大学院 School of Hospitality & Tourism Management GLOBAL MANAGEMENT MAJOR (PDF) 実務経験のある教員等による授業科目 年度: 選択してください 年度

自 シラバスの見方について

科目検索

はじめに

この「シラバス」には、2026年度に開講される授業科目の概要、到達目標及び授業内容等が掲載されています。1年間の学修計画を立てるに当たっての科目選択の手引として、さらには、日々の学修の参考にここに掲載された情報を活用してください。

なお、授業科目によっては、受講者数又は授業の進度等により授業計画を変更することがあります。また、若干の授業科目については掲載されていないものもありますが、これらについては、別途掲示又は初回の授業時に担当教員から説明があります。

シラバスの見方について

各ページの始めには授業科目名、開講学科等、開講年次その科目を学修することによって得られる単位数及び授業担当教員名等が一目で分かるよう表示しています。

【(例) 参照】

ディプロマ・ポリシーの対応番号を記載 ※ディプロマ・ポリシーの内容は「履修の手引」で確認できます。 なお、ディプロマ・ポリシーの後ろに記号(●/○/◇)が記載されている場合、●3/○2/◇1として、数字が大きいくほど該当するディプロマ・ポリシーとの結びつきが強いことを示しています。	前 2 : 前学期に週 2 回授業が行われます。 後 2 : 後学期に週 2 回授業が行われます。
履修可能な最低年次を記載	前/後 : 前学期に週 1 回、後学期に週 1 回同一内容の授業が行われます。 (履修できるのは、前学期又は後学期のいずれかです。) 通 : 1 年間を通して週 1 回授業が行われます。 集中 : ある一定期間に連続して授業が行われます。

学修の基礎 1

開講学科等: 日英中韓6HTX	開講年次: 1年次	2単位	履修制: 前	備考: 2026年度入学生のみ履修可能
担当: 野々島 (ののしま) ののり	担当: 田辺 (たねの) 裕太	講師: 橋本 (はしもと) 真一	講師: 山本 (やまもと) しんや	大黒 肇 (おおぐろ 肇)

授業の概要

<スマートフォン版サイト画面>

WEBシラバス 明海大学 2026

見方 検索

学部/大学院

学部 >

大学院 >

School of Hospitality & Tourism Management GLOBAL MANAGEMENT MAJOR (PDF)

実務経験のある教員等による授業科目

年度を選択

2026年度 >

2025年度 >

7 manaba

本学では、e-Learning実施のプラットフォームとなる学習管理システム〔Learning Management System (LMS)〕として「manaba (マナバ)」を導入しています。

「manaba」は、インターネットを利用し、講義資料の配布、レポートの提出、小テスト及びグループワーク等が行えるクラウド型の授業支援システムです。

「manaba」利用方法等の詳細については、利用マニュアル等を確認してください。

8 学修ポートフォリオ

本学では、学生一人ひとりの大学における学修成果を分かりやすく目に見える形で表すシステムとして「学修ポートフォリオ (START)」を導入しています。

「START」では、自身が力を入れて学んだ分野や伸びた力をレーダーチャートなどで確認し、学修の改善につなげることができます。また、入学から卒業までの目標設定や振り返り、インターンシップやボランティアなど、さまざまな活動をポートフォリオ (活動記録) として蓄積し、学修成果の把握に役立てることができます。

「START」利用方法の詳細については、利用マニュアル等を確認してください。

9 交通機関の運休又は自然災害等による休講措置

1 交通機関が運休した場合

JR京葉線 (東京 - 蘇我) が運転を中止した場合 (一時的な運転見合わせを除く。) は休講とする。ただし、運行を開始した場合は、次のとおりとする。

- (1) 午前6時30分までに運行を開始した場合…1時限から平常通り授業を開始する。
- (2) 午前10時30分までに運行を開始した場合…3時限から平常通り授業を開始する。
- (3) 午前10時30分を過ぎても運休している場合…当日の授業を全て休講とする。

2 暴風警報または暴風雪警報が発令された場合

千葉県全域又は千葉県北西部に上記の警報が発令された場合は休講とする。ただし、警報が解除された場合は次のとおりとする。

- (1) 午前6時30分までに警報が解除された場合…1時限から平常通り授業を開始する。
- (2) 午前10時30分までに警報が解除された場合…3時限から平常通り授業を開始する。
- (3) 午前10時30分を過ぎても警報が解除されない場合…当日の授業を全て休講とする。

3 自然災害や大規模な事故の発生等で学長が必要と判断した場合

上記1または2の取扱いに関わらず、学長が必要と判断した場合は、休講措置を講ずる場合がある。

4 その他

- (1) 事前に被害が予想される場合は、前日までに休講措置を講ずる場合がある。
- (2) 休講に関する情報は、浦安キャンパス公式ホームページ、Webポータルシステム、学内掲示等により周知する。
- (3) 定期試験期間及び追再試験期間に同様の状況が発生した場合は、これらの措置を準用する。

8

教育課程の構成

1 授業科目の構成

本学の授業科目は、大きく分けて「共通科目」と「専門科目」の2つの学修区分から編成されています。「共通科目」は、基礎教育〔特別科目〕、人間力形成教育、キャリア形成教育から構成され、「専門科目」では履修モデルにより目的に応じたより専門性の高い知識やスキルを、一定のルールと自らの選択により4年間で系統的かつ計画的に学修します。

各年次の学修テーマと学修区分ごとの科目配当は、おおむね次のとおりです。



各学修区分にはそれぞれの目的があり、その内容は次のとおりです。

共通科目		全学部・学科共通科目
基礎教育 〔特別科目※1〕	学修の基礎Ⅰ	<スタディプロモーション> 自分自身の特性を知り、自分が学ぶ環境である大学を知り、4年間でどのように自分づくりをするか、目標を定めるための授業です。グループワークでの課題解決学修（PBL）を通じて建学の精神の三要素「社会性・創造性・合理性」を深く学び、夢を実現するためのロードマップを作成します。
	学修の基礎Ⅱ	<コミュニケーションスキル> コミュニケーションができるとは、相手の話を的確に理解し、自分の意見を正確に表現・伝達できることを意味します。本学教員が作成した教材で、コミュニケーションスキルの向上を図ります。
	学修の基礎Ⅲ-a※2	<データリテラシー 数理・推論> 「データリテラシー」の素養を身につけ、情報を分析してその分析結果を伝えるための基礎を学ぶ授業です。「AI・データ活用の基礎知識」「データに基づく推論」などを学び、数理リテラシーのトレーニングも行います。
	学修の基礎Ⅲ-b (情報リテラシー)※2	<情報リテラシー> 学修の基礎Ⅲ-aで身につけた基礎力をもとに、データ分析やAI活用のスキルを育成し、情報リテラシーを発展させる授業です。データを扱うための「ICT（情報通信技術）の基礎」「情報倫理」「ビッグデータの活用法」などを学びます。
人間力形成教育	人間形成	幅広い分野の学問から自発的に学修計画を立てることによって、実社会の様々な場面で自ら課題を発見し解決していくことを可能にする力—明海大学の「建学の精神」にある、社会性・創造性・合理性からなる人間力—を育成します。
	国際理解	
	社会生活	
キャリア形成教育	キャリアプランニングⅠ	社会に出て働くことを考えることを通して、大学生生活の目標を設定し、さらに、実際に仕事を進めていく上で重要な実践力「基礎力（ジェネリックスキル）」を修得します。
	キャリアプランニングⅡ	
	キャリアプランニングⅢ	
	キャリアデザイン	キャリア形成に関連する他学部・他学科専門科目の履修、企業との連携による教育プログラム等の学修、資格取得及び企業研修（インターンシップ）等を通じて、将来の目標に向けた幅広い知識とスキルを身につけます。
	単位認定科目	
	他学部・他学科開放科目	
	産学連携教育プログラム	
専門教育	専門領域について、高度な知識や技術を体系的に修得します。	
	<他学部・他学科開放科目> ※2021年度以前入学生のみ 自分の専門分野にプラスして、他学部・他学科の専門性の高い知識・スキルを修得します。	

※1 外国人留学生特別入学試験によって入学した学生は、大学が必要と認めた場合、「アカデミック日本語Ⅰ～Ⅳ」の単位を修得してください。

※2 「学修の基礎Ⅲ-a」及び「学修の基礎Ⅲ-b」の2科目4単位を修得することで、文部科学省「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度（MDASH）」（リテラシーレベル）の修了証が授与されます。

2 専門科目

ホスピタリティ・ツーリズム学部では、原則として、下記の必修科目等を決められた年次に従って履修することになります。2年次及び3年次に進級するためには、必ず履修しなければならない授業科目もあり、計画的に履修し単位を修得していくことが重要です。

グローバル・マネジメント専攻

年次	必修科目等		※ () は単位数
1	○Academic English I (1) ○Academic English II (1) ◎日本文化論 (2) ◎デスティネーション研究A (日本) (2) ◎文化と芸術 (2) ◎ホスピタリティ論 (2) ◎ホスピタリティ・ツーリズム学 I (2) ◎ホスピタリティ・ツーリズム学 II (2) ◎マーケティング概論 (2)	◎マネジメント総論 (2) アカウンティング基礎 (2) ファイナンス基礎 (2) イノベーション概論 (2) 経済学概論 (2) ロジカル思考 (2) ◎統計学 I (2) ◎プレゼミナール I-a (2) ◎プレゼミナール I-b (2)	
2	◎Academic English III (1) ◎Academic English IV (1) 統計学 II (2) 倫理とコンプライアンス (2)	リーダーシップ論 (2) 異文化マネジメント論 (2) ◎プレゼミナール II-a (2) ◎プレゼミナール II-b (2)	
3	国際ビジネス関係論 (2) 経営戦略論 (2) サービス・マーケティング論 (2) サービス経済論 (2) デスティネーション・マーケティング論 (2)	デスティネーション・マネジメント論 (2) ヒューマンリソースマネジメント論 (2) リスクマネジメント論 (2) ケーススタディ I-a (2) ケーススタディ I-b (2)	
4	ケーススタディ II-a (2)	ケーススタディ II-b (2)	

○：2年次への進級要件となる授業科目

◎：3年次への進級要件となる授業科目

※1 すべての授業科目は、英語で行われ、英語で行われる授業科目のみで卒業することができます。

※2 海外大学への一年間の学部留学を必須としています。語学留学ではなく、海外へのホスピタリティ・ツーリズム関連学部への交換留学です。(外国人留学生を除く。)

注意 進級要件及び履修方法等の詳細は、「教育課程表」等によく確認し、間違いのないよう必要な単位を修得してください。

観光専攻

年次	必修科目等		※ () は単位数
1	○Academic English I (1) ○Academic English II (1) English Grammar I-a (1) English Grammar I-b (1) ◎サービスコミュニケーション実習 I-a (1) ◎サービスコミュニケーション実習 I-b (1) ◎ホスピタリティ論 (2)	◎ホスピタリティ・ツーリズム学 I (2) ◎ホスピタリティ・ツーリズム学 II (2) マーケティング概論 (2) マネジメント総論 (2) ◎プレゼミナール I-a (2) ◎プレゼミナール I-b (2)	
2	◎Academic English III (1) ◎Academic English IV (1) English Grammar II-a (1) English Grammar II-b (1) パーソナル・コミュニケーションリテラシー I (2) パーソナル・コミュニケーションリテラシー II (2)	エアラインビジネス論 (2) ホテルビジネス論 (2) 交流創造ビジネス論 (2) ◎プレゼミナール II-a (2) ◎プレゼミナール II-b (2)	
3	ラクシャリー論 (2)	ケーススタディ I-a (2) ケーススタディ I-b (2)	
4	ケーススタディ II-a (2)	ケーススタディ II-b (2)	

○：2年次への進級要件となる授業科目

◎：3年次への進級要件となる授業科目

注意 進級要件及び履修方法等の詳細は、「教育課程表」等によく確認し、間違いのないよう必要な単位を修得してください。

経営情報専攻

年次	必修科目等		※ () は単位数
1	○Academic English I (1) ○Academic English II (1) ◎サービスコミュニケーション実習 I-a (1) ◎サービスコミュニケーション実習 I-b (1) ◎ホスピタリティ論 (2) ◎ホスピタリティ・ツーリズム学 I (2) ◎ホスピタリティ・ツーリズム学 II (2) マーケティング概論 (2) マネジメント総論 (2)	アカウントニング基礎 (2) ファイナンス基礎 (2) イノベーション概論 (2) 統計学 I (2) ◎IoTテクノロジー基礎 (2) デジタルイノベーション概論 (2) ロジカル思考 (2) ◎プレゼミナール I-a (2) ◎プレゼミナール I-b (2)	
2	Academic English III (1) Academic English IV (1) エアラインビジネス論 (2) ホテルビジネス論 (2) 交流創造ビジネス論 (2) 統計学 II (2) 倫理とコンプライアンス (2)	デザイン思考 (2) データ解析基礎 (2) プロポーザル管理基礎 (2) デジタル・イノベーション実地研修 (2) ◎プレゼミナール II-a (2) ◎プレゼミナール II-b (2)	
3	ケーススタディ I-a (2)	ケーススタディ I-b (2)	
4	ケーススタディ II-a (2)	ケーススタディ II-b (2)	

○：2年次への進級要件となる授業科目

◎：3年次への進級要件となる授業科目

注意 進級要件及び履修方法等の詳細は、「教育課程表」等によく確認し、間違いのないよう必要な単位を修得してください。

ホスピタリティ・ツーリズム メジャー

2020・2021年度入学生

年次	必修科目等		※ () は単位数
1	○総合英語 I (1) ○総合英語 II (1) English Grammar I-a (1) English Grammar I-b (1) ◎サービスコミュニケーション実習 I-a (1) ◎サービスコミュニケーション実習 I-b (1) ◎ホスピタリティ論 (2)	◎ホスピタリティ・ツーリズム学 I (2) ◎ホスピタリティ・ツーリズム学 II (2) マーケティング概論 (2) マネジメント総論 (2) ◎プレゼミナール I-a (2) ◎プレゼミナール I-b (2)	
2	◎総合英語 III (1) ◎総合英語 IV (1) English Grammar II-a (1) English Grammar II-b (1) エアラインビジネス論 (2)	ホテルビジネス論 (2) トラベルエージェンシービジネス論 (2) ◎プレゼミナール II-a (2) ◎プレゼミナール II-b (2)	
3	ケーススタディ I-a (2)	ケーススタディ I-b (2)	
4	ケーススタディ II-a (2)	ケーススタディ II-b (2)	

○：2年次への進級要件となる授業科目

◎：3年次への進級要件となる授業科目

注意 進級要件及び履修方法等の詳細は、「教育課程表」等によく確認し、間違いのないよう必要な単位を修得してください。

3 カリキュラムマップ（履修系統図）

ホスピタリティ・ツーリズム学科 グローバル・マネジメント専攻

スコープ：学修経験の範囲と水平的統合

シークェンス…学修経験の順次性と垂直的統合	共通科目	ディプロマ・ポリシー (DP) (学位授与方針) 1～4年次	【DPM1/M2/M3】共通科目にあつては、全学のディプロマ・ポリシーに基づく次の項目を学位授与の基礎要件とする。 1 社会性：社会に貢献するホスピタリティマインドを持ち、協働に向けて主体的に思考し、的確に判断し、決断することができる。 2 創造性：夢に向け熱意を持ち、試行錯誤をし、小さな発見を積み重ね、新たな価値を産みだして的確に表現することができる。 3 合理性：知識やスキルを学び、目標達成に向けて多様な情報を収集し、適切に選択して活用することができる。 基礎教育（特別科目を含む。）、人間力形成教育（人間形成、国際理解、社会生活）、キャリア形成教育		
	専門科目	ディプロマ・ポリシー (DP) (学位授与方針)	【DP1】 ホスピタリティ・ツーリズム学を基礎として、マネジメントに関する幅広い知識を持って、高度のコミュニケーション能力を必要とする産業や国内外においてリーダーとして活躍できる。	【DP2】 英語運用能力（CEFR B2レベル以上相当）を基礎とし、海外大学のホスピタリティ・ツーリズム関連学部への留学体験に基づく文化の違いを超えたコミュニケーション能力を十分に有すると同時に、継続して発展させることができる。	【DP3】 ホスピタリティ・マインドをベースとしたリーダーシップにあふれ、柔軟性を活かして利害を超えた関係を構築でき、組織や社会の変革をリードすることができる。
	3・4年次履修	<ul style="list-style-type: none"> ●国際ビジネス関係論(2) ●経営戦略論(2) ●サービス・マーケティング論(2) ●サービス経済論(2) ●デスティネーション・マーケティング論(2) ●デスティネーション・マネジメント論(2) ●ヒューマンリソースマネジメント論(2) ●リスクマネジメント論(2) ●交通経済システム論A(2) ●交通経済システム論B(2) ●エアラインマネジメント論(2) ●観光事業マネジメント論(2) ●フード & ビバレッジマネジメント論(2) ●ホテルマネジメント論(2) 	Advanced English skills A(1) Advanced English skills B(1) Advanced English skills C(1) Advanced English skills D(1)	グローバル・マネジメント実践演習A(2) グローバル・マネジメント実践演習B(2) ●ケーススタディ I-a(2) ●ケーススタディ I-b(2) ●ケーススタディ II-a(2) ●ケーススタディ II-b(2)	
	2年次履修	エアラインビジネス論(2) ホテルビジネス論(2) 交流創造ビジネス論(2) ホスピタリティ・ツーリズム産業研究A(2) ホスピタリティ・ツーリズム産業研究B(2) ホスピタリティ・ツーリズム産業研究C(2) ホスピタリティ・ツーリズム産業研究D(2) ホスピタリティ・ツーリズム産業研究E(2) ホスピタリティ・ツーリズム産業研究F(2) ホスピタリティ・ツーリズム産業研究G(2) ホスピタリティ・ツーリズム産業研究H(2) ホスピタリティ・ツーリズム産業研究I(2) ●統計学Ⅱ(2) ●倫理とコンプライアンス(2) ●異文化マネジメント論(2) 特別講義A(2) 特別講義B(2)	中国語Ⅱ-a(1) 中国語Ⅱ-b(1)	グローバル・マネジメント実践演習C(2) グローバル・マネジメント実践演習D(2) ●リーダーシップ論(2) ●プレゼミナールⅡ-a(2) ●プレゼミナールⅡ-b(2)	
1年次履修	<ul style="list-style-type: none"> ●ホスピタリティ論(2) ●ホスピタリティ・ツーリズム学Ⅰ(2) ●ホスピタリティ・ツーリズム学Ⅱ(2) ●マーケティング概論(2) ●マネジメント総論(2) ●アカウントティング基礎(2) ●ファイナンス基礎(2) ●イノベーション概論(2) ●経済学概論(2) ●統計学Ⅰ(2) 	<ul style="list-style-type: none"> ●Academic EnglishⅠ(1) ●Academic EnglishⅡ(1) ●Academic EnglishⅢ(1) ●Academic EnglishⅣ(1) ●English WritingⅠ-a(1) ●English WritingⅠ-b(1) ●English SpeakingⅠ-a(1) ●English SpeakingⅠ-b(1) ●中国語Ⅰ-a(1) ●中国語Ⅰ-b(1) ●日本語A(1) ●日本語B(1) ●日本語C(1) ●日本語D(1) ●日本語E(1) ●日本語F(1) ●日本文化論(2) ●デスティネーション研究A(2) ●文化と芸術(2) ●世界遺産論(2) ●デスティネーション研究B(2) ●デスティネーション研究C(2) ●デスティネーション研究D(2) ●デスティネーション研究E(2) ●デスティネーション研究F(2) 	ホスピタリティ・ツーリズム産業実地研修A(4) ホスピタリティ・ツーリズム産業実地研修B(4) ホスピタリティ・ツーリズム産業実地研修C(4) ホスピタリティ・ツーリズム産業実地研修D(4) ホスピタリティ・ツーリズム産業実地研修E(4) ホスピタリティ・ツーリズム産業実地研修F(4) ホスピタリティ・ツーリズム産業実地研修G(4) ホスピタリティ・ツーリズム産業実地研修H(4) ホスピタリティ・ツーリズム産業海外研修A(2) ホスピタリティ・ツーリズム産業海外研修B(2) ホスピタリティ・ボランティア活動(4) ●ロジカル思考(2) ●プレゼミナールⅠ-a(2) ●プレゼミナールⅠ-b(2)		

※1 「●」＝必修科目

※2 共通科目は、科目ごとにDPとの結びつきの強さが異なります。詳細は、シラバスで確認してください。

スコープ：学修経験の範囲と水平的統合

シークエンス…学修経験の順次性と垂直的統合	共通科目	<p>[DPM1/M2/M3] 共通科目にあつては、全学のディプロマ・ポリシーに基づく次の項目を学位授与の基礎要件とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 社会性：社会に貢献するホスピタリティマインドを持ち、協働に向けて主体的に思考し、的確に判断し、決断することができる。 2 創造性：夢に向け熱意を持ち、試行錯誤をし、小さな発見を積み重ね、新たな価値を産みだして的確に表現することができる。 3 合理性：知識やスキルを学び、目標達成に向けて多様な情報を収集し、適切に選択して活用することができる。 <p>基礎教育（特別科目を含む。）、人間力形成教育（人間形成、国際理解、社会生活）、キャリア形成教育</p>			
	ディプロマ・ポリシー (DP) (学位授与方針)	1～4年次			
	ディプロマ・ポリシー (DP) (学位授与方針)		<p>[DP1] ホスピタリティ・ツーリズム学に関して十分な知識を持ち、ホスピタリティ・マインドと語学力を必要とし、これから希少性が高まる接客・接遇を重視する産業界において専門性を生かして活躍できる。</p>	<p>[DP2] 英語運用能力（CEFR B1レベル以上）を含むコミュニケーション能力を十分に有すると同時に、継続して学修することができる。</p>	<p>[DP3] 効果的なパーソナル・コミュニケーションを実現できる能力の上に、社会の変化を適切に捉え、自ら考え主体的に行動することができる。</p>
	3・4年次履修 ※	<ul style="list-style-type: none"> ●ラクシャリー論(2) ホスピタリティ・ツーリズム実習Ⅰ(1) ホスピタリティ・ツーリズム実習Ⅱ(1) ホスピタリティ・ツーリズム産業研究A(2) ホスピタリティ・ツーリズム産業研究B(2) ホスピタリティ・ツーリズム産業研究C(2) ホスピタリティ・ツーリズム産業研究D(2) ホスピタリティ・ツーリズム産業研究E(2) ホスピタリティ・ツーリズム産業研究F(2) ホスピタリティ・ツーリズム産業研究G(2) ホスピタリティ・ツーリズム産業研究H(2) ホスピタリティ・ツーリズム産業研究I(2) ホスピタリティ・ツーリズム産業研究J(2) アカウントニング基礎(2) ファイナンス基礎(2) イノベーション概論(2) 統計学Ⅰ(2) 統計学Ⅱ(2) 倫理とコンプライアンス(2) リーダーシップ論(2) 異文化マネジメント論(2) 国際ビジネス関係論(2) 経営戦略論(2) サービス・マーケティング論(2) デスティネーション・マーケティング論(2) デスティネーション・マネジメント論(2) ヒューマンリソースマネジメント論(2) リスクマネジメント論(2) 交通経済システム論A(2) 交通経済システム論B(2) エアラインマネジメント論(2) 観光事業マネジメント論(2) フード&ビバレッジマネジメント論(2) ホテルマネジメント論(2) IoTテクノロジー基礎(2) デジタルイノベーション概論(2) データ解析基礎(2) プロポーザル管理基礎(2) パーソナル・コミュニケーション実践演習A(2) パーソナル・コミュニケーション実践演習B(2) 	<ul style="list-style-type: none"> Advanced English skills A(1) Advanced English skills B(1) Advanced English skills C(1) Advanced English skills D(1) Advanced English skills E(1) Advanced English skills F(1) 国際ホスピタリティビジネス研究(2) ホスピタリティ・ツーリズム産業海外研修A(2) ホスピタリティ・ツーリズム産業海外研修B(2) 	<ul style="list-style-type: none"> パーソナル・コミュニケーション探究A(2) パーソナル・コミュニケーション探究B(2) パーソナル・コミュニケーション探究C(2) パーソナル・コミュニケーション探究D(2) サービスコミュニケーション実習Ⅲ(1) ホスピタリティ・ツーリズム産業実地研修A(4) ホスピタリティ・ツーリズム産業実地研修B(4) ホスピタリティ・ツーリズム産業実地研修C(4) ホスピタリティ・ツーリズム産業実地研修D(4) ホスピタリティ・ツーリズム産業実地研修E(4) ホスピタリティ・ツーリズム産業実地研修F(4) ホスピタリティ・ツーリズム産業実地研修G(4) ホスピタリティ・ツーリズム産業実地研修H(4) ホスピタリティ・ボランティア活動(4) パーソナル・コミュニケーション実践演習E(2) ●ケーススタディⅠ-a(2) ●ケーススタディⅠ-b(2) ●ケーススタディⅡ-a(2) ●ケーススタディⅡ-b(2) 	
2年次履修	<ul style="list-style-type: none"> ●日本文化論(2) ●世界遺産論(2) ●デスティネーション研究A(2) ●デスティネーション研究B(2) ●デスティネーション研究C(2) ●デスティネーション研究D(2) ●デスティネーション研究E(2) ●デスティネーション研究F(2) ●エアラインビジネス論(2) ●ホテルビジネス論(2) ●交流創造ビジネス論(2) ●特別講義A(2) ●特別講義B(2) 	<ul style="list-style-type: none"> ●Academic EnglishⅢ(1) ●Academic EnglishⅣ(1) ●English GrammarⅡ-a(1) ●English GrammarⅡ-b(1) ●English WritingⅡ-a(1) ●English WritingⅡ-b(1) ●English SpeakingⅡ-a(1) ●English SpeakingⅡ-b(1) 	<ul style="list-style-type: none"> ●パーソナル・コミュニケーションリテラシーⅠ(2) ●パーソナル・コミュニケーションリテラシーⅡ(2) ●サービスコミュニケーション実習Ⅱ(1) ●パーソナル・コミュニケーション実践演習C(2) ●パーソナル・コミュニケーション実践演習D(2) ●プレゼミナールⅡ-a(2) ●プレゼミナールⅡ-b(2) 		
1年次履修	<ul style="list-style-type: none"> ●ホスピタリティ論(2) ●ホスピタリティ・ツーリズム学Ⅰ(2) ●ホスピタリティ・ツーリズム学Ⅱ(2) ●マーケティング概論(2) ●マネジメント総論(2) 	<ul style="list-style-type: none"> ●Academic EnglishⅠ(1) ●Academic EnglishⅡ(1) ●English GrammarⅠ-a(1) ●English GrammarⅠ-b(1) ●English WritingⅠ-a(1) ●English WritingⅠ-b(1) ●English SpeakingⅠ-a(1) ●English SpeakingⅠ-b(1) 	<ul style="list-style-type: none"> ●サービスコミュニケーション実習Ⅰ-a(1) ●サービスコミュニケーション実習Ⅰ-b(1) ●プレゼミナールⅠ-a(2) ●プレゼミナールⅠ-b(2) 		

※1 「●」＝必修科目

※2 共通科目は、科目ごとにDPとの結びつきの強さが異なります。詳細は、シラバスで確認してください。

ホスピタリティ・ツーリズム学科 経営情報専攻

スコープ：学修経験の範囲と水平的統合

シークェンス・学修経験の順次性と垂直的統合	共通科目	<p>[DPM1/M2/M3] 共通科目にあつては、全学のディプロマ・ポリシーに基づく次の項目を学位授与の基礎要件とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 社会性：社会に貢献するホスピタリティマインドを持ち、協働に向けて主体的に思考し、的確に判断し、決断することができる。 2 創造性：夢に向け熱意を持ち、試行錯誤をし、小さな発見を積み重ね、新たな価値を産みだして的確に表現することができる。 3 合理性：知識やスキルを学び、目標達成に向けて多様な情報を収集し、適切に選択して活用することができる。 <p>基礎教育（特別科目を含む。）、人間力形成教育（人間形成、国際理解、社会生活）、キャリア形成教育</p>		
	ディプロマ・ポリシー (DP) (学位授与方針)	[DP1] ホスピタリティ・ツーリズム学に関する知識とICTリテラシーを併せて修得し、文理を超えた理解をもとにデジタル技術を活用した組織や社会の変革を推進するリーダーとして活躍できる。	[DP2] 英語運用能力 (CEFR B1レベル以上) を含むコミュニケーション能力を基礎として、言語の違いを超えた活用を目指した学修ができる。	[DP3] ホスピタリティ・マインドをベースとした分析・洞察力にあふれ、問題発見と提案力を発揮することで、SDGsの達成に向けて、自ら考え主体的に行動することができる。
	3・4年次履修 ※	<ul style="list-style-type: none"> ラクシャリー論(2) ホスピタリティ・ツーリズム実習 I (1) ホスピタリティ・ツーリズム実習 II (1) ホスピタリティ・ツーリズム産業研究A(2) ホスピタリティ・ツーリズム産業研究B(2) ホスピタリティ・ツーリズム産業研究C(2) ホスピタリティ・ツーリズム産業研究D(2) ホスピタリティ・ツーリズム産業研究E(2) ホスピタリティ・ツーリズム産業研究G(2) ホスピタリティ・ツーリズム産業研究H(2) ホスピタリティ・ツーリズム産業研究J(2) 経営戦略論(2) サービス・マーケティング論(2) ヒューマンリソースマネジメント論(2) リスクマネジメント論(2) 交通経済システム論A(2) 交通経済システム論B(2) エアラインマネジメント論(2) 観光事業マネジメント論(2) フード&ビバレッジマネジメント論(2) ホテルマネジメント論(2) デジタル・イノベーション探究A(2) デジタル・イノベーション探究B(2) デジタル・イノベーション探究C(2) デジタル・イノベーション探究E(2) デジタル・イノベーション探究F(2) デジタル・イノベーション探究G(2) デジタル・イノベーション実践演習C(2) デジタル・イノベーション実践演習D(2) 	<ul style="list-style-type: none"> 国際ホスピタリティビジネス研究(2) ホスピタリティ・ツーリズム産業海外研修A(2) ホスピタリティ・ツーリズム産業海外研修B(2) Advanced English skills A(1) Advanced English skills B(1) Advanced English skills C(1) Advanced English skills D(1) Advanced English skills E(1) Advanced English skills F(1) 	<ul style="list-style-type: none"> サービスコミュニケーション実習Ⅲ(1) ホスピタリティ・ツーリズム産業実地研修A(4) ホスピタリティ・ツーリズム産業実地研修B(4) ホスピタリティ・ツーリズム産業実地研修C(4) ホスピタリティ・ツーリズム産業実地研修D(4) ホスピタリティ・ツーリズム産業実地研修E(4) ホスピタリティ・ツーリズム産業実地研修F(4) ホスピタリティ・ツーリズム産業実地研修G(4) ホスピタリティ・ツーリズム産業実地研修H(4) ホスピタリティ・ボランティア活動(4) ホスピタリティ・ツーリズム産業研究F(2) ●倫理とコンプライアンス(2) リーダーシップ論(2) 異文化マネジメント論(2) 国際ビジネス関係論(2) デスティネーション・マーケティング論(2) デスティネーション・マネジメント論(2) デジタル・イノベーション探究D(2) デジタル・イノベーション実践演習A(2) デジタル・イノベーション実践演習B(2) ●ケーススタディ I-a(2) ●ケーススタディ I-b(2) ●ケーススタディ II-a(2) ●ケーススタディ II-b(2)
	2年次履修	<ul style="list-style-type: none"> ●エアラインビジネス論(2) ●ホテルビジネス論(2) ●交流創造ビジネス論(2) ●アカウントニング基礎(2) ●ファイナンス基礎(2) ●イノベーション概論(2) ●統計学 I (2) ●統計学 II (2) ●特別講義A(2) ●特別講義B(2) 	<ul style="list-style-type: none"> ●Academic English III (1) ●Academic English IV (1) English Grammar II-a(1) English Grammar II-b(1) 	<ul style="list-style-type: none"> サービスコミュニケーション実習Ⅱ(1) ●デザイン思考(2) ●データ解析基礎(2) ●プロポーザル管理基礎(2) ●デジタル・イノベーション実地研修(2) ●プレゼミナール II-a(2) ●プレゼミナール II-b(2)
1年次履修	<ul style="list-style-type: none"> ●ホスピタリティ論(2) ●ホスピタリティ・ツーリズム学 I (2) ●ホスピタリティ・ツーリズム学 II (2) ●マーケティング概論(2) ●マネジメント総論(2) ●IoTテクノロジー基礎(2) ●デジタルライゼーション概論(2) 	<ul style="list-style-type: none"> ●Academic English I (1) ●Academic English II (1) English Grammar I-a(1) English Grammar I-b(1) 	<ul style="list-style-type: none"> ●サービスコミュニケーション実習 I-a(1) ●サービスコミュニケーション実習 I-b(1) ●ロジカル思考(2) ●プレゼミナール I-a(2) ●プレゼミナール I-b(2) 	

※1 「●」=必修科目

※2 共通科目は、科目ごとにDPとの結びつきの強さが異なります。詳細は、シラバスで確認してください。

スコープ：学修経験の範囲と水平的統合

シークェンス・学修経験の順次性と垂直的統合	共通科目	ディプロマ・ポリシー (DP) (学位授与方針) 1~4年次	【DPM1/M2/M3】共通科目にあつては、全学のディプロマ・ポリシーに基づく次の項目を学位授与の基礎要件とする。 1 社会性：社会に貢献するホスピタリティマインドを持ち、協働に向けて主体的に思考し、的確に判断し、決断することができる。 2 創造性：夢に向け熱意を持ち、試行錯誤をし、小さな発見を積み重ね、新たな価値を産みだして的確に表現することができる。 3 合理性：知識やスキルを学び、目標達成に向けて多様な情報を収集し、適切に選択して活用することができる。 基礎教育（特別科目を含む。）、人間力形成教育（人間形成、国際理解、社会生活）、キャリア形成教育		
	専門科目	ディプロマ・ポリシー (DP) (学位授与方針)	【DP1】 ホスピタリティ・ツーリズム学に関して十分な知識を持ち、ホスピタリティ産業、その他ホスピタリティ・マインドと語学力を必要とする産業において専門性を生かして活躍できる。	【DP2】 特に、英語運用能力（CEFR B1レベル以上）を含むコミュニケーション能力を十分に有すると同時に、継続して学修することができる。	【DP3】 ホスピタリティ・マインドにあふれ、状況把握を発揮することで周囲への気配りができ、社会の変化に対しても果敢に挑戦し、自ら考え主体的に行動することができる。
	4年次履修	異文化マネジメント論(2) 経営戦略論(2) サービス・マーケティング論(2) サービス経済論(2) デスティネーション・マーケティング論(2) デスティネーション・マネジメント論(2) ヒューマンリソースマネジメント論(2)	Advanced English skills A(1) Advanced English skills B(1) Advanced English skills C(1) Advanced English skills D(1) Advanced English skills E(1) Advanced English skills F(1)	サービスコミュニケーション実習Ⅲ(1) ホスピタリティ・ツーリズム実践演習A(2) ホスピタリティ・ツーリズム実践演習B(2)	●ケーススタディⅠ-a(2) ●ケーススタディⅠ-b(2) ●ケーススタディⅡ-a(2) ●ケーススタディⅡ-b(2)
	3年次履修	リスクマネジメント論(2) 交通経済システム論A(2) 交通経済システム論B(2) エアラインマネジメント論(2) トラベルエージェンシーマネジメント論(2) フード&ビバレッジマネジメント論(2) ホテルマネジメント論(2)	●総合英語Ⅲ(1) ●総合英語Ⅳ(1) ●English Grammar Ⅱ-a(1) ●English Grammar Ⅱ-b(1) ●English Speaking Ⅱ-a(1) ●English Speaking Ⅱ-b(1) ●English Writing Ⅱ-a(1) ●English Writing Ⅱ-b(1)	リーダーシップ論(2) サービスコミュニケーション実習Ⅱ(1) ホスピタリティ・ツーリズム実践演習C(2) ホスピタリティ・ツーリズム実践演習D(2)	●プレゼミナールⅡ-a(2) ●プレゼミナールⅡ-b(2)
	2年次履修	エアラインサービス論(2) ホテルサービス論(2) ブライダル・フェューラルビジネス論(2) ●エアラインビジネス論(2) ●ホテルビジネス論(2) ●トラベルエージェンシービジネス論(2) ホスピタリティ・ツーリズム産業研究A(2) ホスピタリティ・ツーリズム産業研究B(2) ホスピタリティ・ツーリズム産業研究C(2) ホスピタリティ・ツーリズム産業研究D(2) ホスピタリティ・ツーリズム産業研究E(2) ホスピタリティ・ツーリズム産業研究F(2) ホスピタリティ・ツーリズム産業研究G(2) ホスピタリティ・ツーリズム産業研究H(2) ホスピタリティ・ツーリズム産業研究I(2) 統計学Ⅱ(2) 倫理とコンプライアンス(2) 国際ビジネス関係論(2) 特別講義A(2) 特別講義B(2)	●総合英語Ⅰ(1) ●総合英語Ⅱ(1) ●English Grammar Ⅰ-a(1) ●English Grammar Ⅰ-b(1) ●English Speaking Ⅰ-a(1) ●English Speaking Ⅰ-b(1) ●English Writing Ⅰ-a(1) ●English Writing Ⅰ-b(1)	サービスコミュニケーション実習Ⅰ-a(1) サービスコミュニケーション実習Ⅰ-b(1) ホスピタリティ・ツーリズム産業実地研修A(4) ホスピタリティ・ツーリズム産業実地研修B(4) ホスピタリティ・ツーリズム産業実地研修C(4) ホスピタリティ・ツーリズム産業実地研修D(4) ホスピタリティ・ツーリズム産業実地研修E(4) ホスピタリティ・ツーリズム産業実地研修F(4) ホスピタリティ・ツーリズム産業実地研修G(4) ホスピタリティ・ツーリズム産業実地研修H(4) ホスピタリティ・ツーリズム産業海外研修A(2) ホスピタリティ・ツーリズム産業海外研修B(2) ホスピタリティ・ボランティア活動(4)	●プレゼミナールⅠ-a(2) ●プレゼミナールⅠ-b(2)
1年次履修	日本文化論(2) デスティネーション研究A(2) 世界遺産論(2) デスティネーション研究B(2) デスティネーション研究C(2) デスティネーション研究D(2) デスティネーション研究E(2) デスティネーション研究F(2) ●ホスピタリティ論(2) ●ホスピタリティ・ツーリズム学Ⅰ(2) ●ホスピタリティ・ツーリズム学Ⅱ(2) ●ホスピタリティ・ツーリズム産業研究J(2) ●マーケティング概論(2) ●マネジメント総論(2) アカウンティング基礎(2) ファイナンス基礎(2) イノベーション概論(2) 経済学概論(2) 統計学Ⅰ(2)	●総合英語Ⅰ(1) ●総合英語Ⅱ(1) ●English Grammar Ⅰ-a(1) ●English Grammar Ⅰ-b(1) ●English Speaking Ⅰ-a(1) ●English Speaking Ⅰ-b(1) ●English Writing Ⅰ-a(1) ●English Writing Ⅰ-b(1)	●サービスコミュニケーション実習Ⅰ-a(1) ●サービスコミュニケーション実習Ⅰ-b(1) ホスピタリティ・ツーリズム産業実地研修A(4) ホスピタリティ・ツーリズム産業実地研修B(4) ホスピタリティ・ツーリズム産業実地研修C(4) ホスピタリティ・ツーリズム産業実地研修D(4) ホスピタリティ・ツーリズム産業実地研修E(4) ホスピタリティ・ツーリズム産業実地研修F(4) ホスピタリティ・ツーリズム産業実地研修G(4) ホスピタリティ・ツーリズム産業実地研修H(4) ホスピタリティ・ツーリズム産業海外研修A(2) ホスピタリティ・ツーリズム産業海外研修B(2) ホスピタリティ・ボランティア活動(4)	●プレゼミナールⅠ-a(2) ●プレゼミナールⅠ-b(2)	

※1 「●」=必修科目

※2 共通科目は、科目ごとにDPとの結びつきの強さが異なります。詳細は、シラバスで確認してください。

4 クラス担任制

ホスピタリティ・ツーリズム学部では、学生一人ひとりが健全で充実した学生生活を送れるよう支援するために、少人数によるクラス担任制を導入しています。

クラス担任には、各年次の必修科目であるプレゼミナール及びケーススタディの授業担当教員が当たり、学生の①コミュニティづくり、②学修支援、③就職活動等について、きめ細かい教育、指導を実践し、4年間を通じて学生生活をサポートします。

年次	授業科目	クラス担任
1	プレゼミナール I-a、I-b	3月30日（月）に掲示発表します。
2	プレゼミナール II-a、II-b	3月27日（金）に掲示発表します。
3	ケーススタディ I-a、I-b	別途指示します。
4	ケーススタディ II-a、II-b	別途指示します。

5 専攻（メジャー）変更

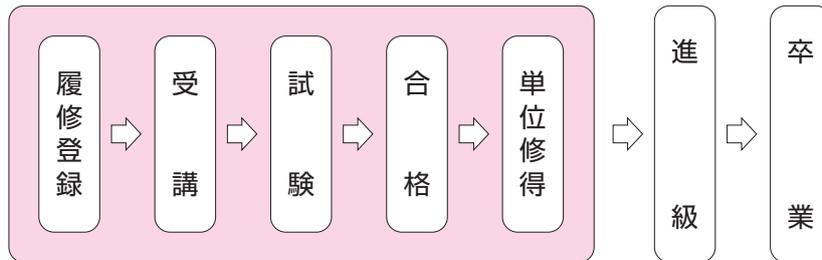
専攻（メジャー）の変更を希望する学生は、ホスピタリティ・ツーリズム学部教員に相談してください。

9

進級・卒業

卒業するためには、各学部・学科で定めている授業科目を一定の規則に従い習い修め、進級・卒業の要件を満たすことが必要となります。

在学中はこれらの要件を常に念頭に置き、無理のない履修登録を行い、確実に単位を修得するよう心がけてください。



1 進級

[1] 進級要件

1年から2年、及び2年から3年へ進級する際に、以下の要件が定められています。この要件を満たせない場合、2年（3学期）又は3年（5学期）に進級することができません。

1年から2年への進級

- 入学後1年（2学期）以上在籍していること。（休学期間を除く。）
- 次の単位数を修得していること。

グローバル・マネジメント専攻

観光専攻

経営情報専攻

授業科目等	必要単位数
「専門科目」の「Academic English I」及び「Academic English II」	2単位

ホスピタリティ・ツーリズム メジャー

2020・2021年度入学生

授業科目等	必要単位数
「専門科目」の「総合英語 I」及び「総合英語 II」	2単位

2年から3年への進級

- 入学後2年（4学期）以上在籍していること。（休学期間を除く。）
- 次の単位数を修得していること。

グローバル・マネジメント専攻

授業科目等	必要単位数
「共通科目」の必修科目	14単位
「専門科目」の「Academic English I」、「Academic English II」、「Academic English III」、「Academic English IV」、「日本文化論」、「デスティネーション研究A」、「文化と芸術」、「ホスピタリティ論」、「ホスピタリティ・ツーリズム学I」、「ホスピタリティ・ツーリズム学II」、「マーケティング概論」、「マネジメント総論」、「統計学I」、「プレゼミナールI-a」、「プレゼミナールI-b」、「プレゼミナールII-a」及び「プレゼミナールII-b」	30単位
合 計	44単位

※大学が必要と認めた場合に限り、「共通科目」から修得すべき単位の全部又は一部を「専門科目」の単位の修得をもってこれに代えることができる。

観光専攻

授業科目等	必要単位数
「共通科目」の必修科目	14単位
「専門科目」の「Academic English I」、「Academic English II」、「Academic English III」、「Academic English IV」、「サービスコミュニケーション実習I-a」、「サービスコミュニケーション実習I-b」、「ホスピタリティ論」、「ホスピタリティ・ツーリズム学I」、「ホスピタリティ・ツーリズム学II」、「プレゼミナールI-a」、「プレゼミナールI-b」、「プレゼミナールII-a」及び「プレゼミナールII-b」	20単位
上記で修得した科目以外のすべての科目	10単位
合 計	44単位

経営情報専攻

授業科目等	必要単位数
「共通科目」の必修科目	14単位
「専門科目」の「Academic English I」、「Academic English II」、「サービスコミュニケーション実習I-a」、「サービスコミュニケーション実習I-b」、「ホスピタリティ論」、「ホスピタリティ・ツーリズム学I」、「ホスピタリティ・ツーリズム学II」、「IoTテクノロジー基礎」、「プレゼミナールI-a」、「プレゼミナールI-b」、「プレゼミナールII-a」及び「プレゼミナールII-b」	20単位
上記で修得した科目以外のすべての科目	10単位
合 計	44単位

ホスピタリティ・ツーリズム メジャー

2020・2021年度入学生

授業科目等	必要単位数
「共通科目」の必修科目	14単位
「専門科目」の「総合英語I」、「総合英語II」、「総合英語III」、「総合英語IV」、「サービスコミュニケーション実習I-a」、「サービスコミュニケーション実習I-b」、「ホスピタリティ論」、「ホスピタリティ・ツーリズム学I」、「ホスピタリティ・ツーリズム学II」、「プレゼミナールI-a」、「プレゼミナールI-b」、「プレゼミナールII-a」及び「プレゼミナールII-b」	20単位
上記で修得した科目以外のすべての科目	10単位
合 計	44単位

参照→具体的な授業科目名称等
→「教育課程表」

[2] 進級発表

進級要件を満たした者を、次のとおり発表します。

4月入学

進級要件を満たした者は、翌年度の4月から2年（3学期）又は3年（5学期）に進級します。

発表日時	3月12日（金）9：00
発表場所	2101・2103大講義室横掲示板

9月入学

進級要件を満たした者は、当該年度の10月から2年（3学期）又は3年（5学期）に進級します。

発表日時	9月3日（木）9：00
発表場所	2101・2103大講義室横掲示板

※学籍管理上、10月1日に進級しますが、後学期の授業は10月1日より前に始まっていますので、必ず初回授業から出席してください。

2 卒業

[1] 卒業要件

本学において4年（通算8学期）以上在学（休学期間を除く。）し、学則に定められた卒業所要単位を修得した者は、卒業が認定されます。

卒業に必要な単位数（最低）は、次のとおりです。

次のとおり、合計124単位以上修得しなければならない。

専攻等	共通科目*							専門科目				合計
	基礎教育 [特別科目※]	人間力形成教育			キャリア形成教育	人間力形成教育・キャリア形成教育	計	必修	選択必修	選択	計	
		人間形成	国際理解	社会生活								
グローバル・マネジメント専攻	8	4	4	4	6	6	32	72	20		92	124
観光専攻	8	4	4	4	6	6	32	48	44		92	124
経営情報専攻	8	4	4	4	6	6	32	64	28		92	124
ホスピタリティ・ツーリズム メジャー	8	4	4	4	6	6	32	42	44	6	92	124

グローバル・マネジメント専攻

共通科目（32単位）

- ① 基礎教育から必修8単位
- ② 人間力形成教育の人間形成から4単位
- ③ 人間力形成教育の国際理解から4単位
- ④ 人間力形成教育の社会生活から4単位
- ⑤ キャリア形成教育から必修6単位
- ⑥ ②から⑥によるもののほか、人間力形成教育及びキャリア形成教育から6単位以上〔他学部・他学科開放科目（キャリア形成教育）で修得した単位を含む。〕

*大学が必要と認めた場合に限り、共通科目から修得すべき単位の全部又は一部を専門科目の単位の修得をもってこれに代えることができる。

専門科目（92単位）

- ① 必修科目72単位
- ② コミュニケーション発展科目から4単位
- ③ ホスピタリティ・ツーリズム発展科目から2単位
- ④ ホスピタリティ・ツーリズム産業研究科目から6単位
- ⑤ マネジメント応用科目から2単位
- ⑥ マネジメント発展科目から4単位
- ⑦ 演習科目から2単位

観光専攻

共通科目 (32単位)

- ① 基礎教育から必修8単位
 ※外国人留学生特別入学試験によって入学した学生は、大学が必要と認めた場合、「アカデミック日本語Ⅰ～Ⅳ」の単位を修得してください。
- ② 人間力形成教育の人間形成から4単位
 ③ 人間力形成教育の国際理解から4単位
 ④ 人間力形成教育の社会生活から4単位
 ⑤ キャリア形成教育から必修6単位
 ⑥ ②から⑤によるもののほか、人間力形成教育及びキャリア形成教育から6単位以上〔他学部・他学科開放科目(キャリア形成教育)で修得した単位を含む。]

専門科目 (92単位)

- ① 必修科目48単位
 ② コミュニケーションから12単位
 ③ 国際教養から6単位
 ④ ホスピタリティ・ツーリズムから8単位
 ⑤ ビジネスから14単位
 ⑥ 演習から4単位

経営情報専攻

共通科目 (32単位)

- ① 基礎教育から必修8単位
 ※外国人留学生特別入学試験によって入学した学生は、大学が必要と認めた場合、「アカデミック日本語Ⅰ～Ⅳ」の単位を修得してください。
- ② 人間力形成教育の人間形成から4単位
 ③ 人間力形成教育の国際理解から4単位
 ④ 人間力形成教育の社会生活から4単位
 ⑤ キャリア形成教育から必修6単位
 ⑥ ②から⑤によるもののほか、人間力形成教育及びキャリア形成教育から6単位以上〔他学部・他学科開放科目(キャリア形成教育)で修得した単位を含む。]

専門科目 (92単位)

- ① 必修科目64単位
 ② ホスピタリティ・ツーリズムから4単位
 ③ マネジメントから8単位
 ④ デジタルイノベーションから12単位
 ⑤ 演習から4単位

ホスピタリティ・ツーリズムメジャー

共通科目 (32単位)

- ① 基礎教育から必修8単位
 ※外国人留学生特別入学試験によって入学した学生は、大学が必要と認めた場合、「アカデミック日本語Ⅰ～Ⅳ」の単位を修得してください。
- ② 人間力形成教育の人間形成から4単位
 ③ 人間力形成教育の国際理解から4単位
 ④ 人間力形成教育の社会生活から4単位
 ⑤ キャリア形成教育から必修6単位
 ⑥ ②から⑤によるもののほか、人間力形成教育及びキャリア形成教育から6単位以上〔他学部・他学科開放科目(キャリア形成教育)で修得した単位を含む。]

専門科目 (92単位)

- ① 必修科目42単位
 ② コミュニケーションから8単位
 ③ 国際教養から8単位
 ④ ホスピタリティ・ツーリズムから10単位
 ⑤ マネジメントから14単位
 ⑥ 演習から4単位
 ⑦ ①から⑥によるもののほか、ホスピタリティ・ツーリズム、マネジメント及び演習から6単位以上〔他学部・他学科開放科目(専門科目)で修得した単位を含む。]

参照1 ➡ 具体的な授業科目名称及び必修・選択必修・選択の内訳等 ➡ 「教育課程表」

参照2 ➡ 編入学生・学士入学生の卒業要件等 ➡ P.78 「卒業要件」

[2]

卒業単位充足者・ 卒業予定者発表

卒業要件を満たした者を、次のとおり発表します。

卒業単位充足者発表	2月9日(火) 9:00 発表場所: 2101・2103大講義室横掲示板
↓	
卒業予定者発表	2月26日(金) 9:00 発表場所: 2101・2103大講義室横掲示板
↓	
卒業式	3月10日(水)

※卒業単位充足者: 後学期定期試験終了時までの成績で卒業の要件を満たした者

※卒業予定者: 後学期追・再試験終了時までの成績で卒業の要件を満たし、当該年度末に卒業が認定される予定の者

※9月卒業

2026年度前学期に4年(8学期)に在籍する者は、9月卒業を希望する・しないにかかわらず、9月卒業対象者となりますので、諸手続の日程(成績表交付、成績調査等)に十分注意してください。

卒業単位充足者発表	8月18日(火) 9:00 発表場所: 2101・2103大講義室横掲示板
↓	
卒業予定者発表	9月3日(木) 9:00 発表場所: 2101・2103大講義室横掲示板
↓	
卒業式	9月11日(金)

※卒業単位充足者: 前学期定期試験終了時までの成績で卒業の要件を満たした者

※卒業予定者: 前学期追・再試験終了時までの成績で卒業の要件を満たし、前学期末に卒業が認定される予定の者

[3] 学位

卒業要件を満たした者には、学士(ホスピタリティ・ツーリズム学)の学位が授与されます。

3 年次（学期）別基準単位数

年次（学期）別基準単位数は、4年（8学期）間で卒業要件単位数（最低）を充足するために、各年次終了時までまでに修得しておくことが望ましい単位数の目安を科目区分別に示しています。4年（8学期）間の学修計画を立てる際の参考として活用してください。また、修得単位数がこの年次（学期）別基準単位数を著しく下回っている場合は、今後の修学を滞りなく行うためにも、早い時期に指導教員又は学事課（教務担当）へ相談するようにしてください。

なお、この年次（学期）別基準単位数は、あくまでも最低限修得しておくことが望ましい単位数の目安を提示しているもので、進級や卒業を保証するものではありません。

年次（学期）別基準単位数の見方

自分が在籍する専攻等の年次（学期）別基準単位数を確認してください。

卒業に必要な単位数（最低）を授業科目区分ごとに表示

	共通科目							専門科目				合計	小計	
	基礎教育 特別科目*	人間力形成教育			キャリア形成教育	人間力形成教育・キャリア形成教育	計	必修	選択必修	選択	計		学期	年間
		人間形成	国際理解	社会生活										
卒業要件単位数	8	4	4	4	6	6	32	48	44		92	124		
1年（1学期）	4	※（2～）					6	11	2		13	19	19	38
1年（2学期）	8	※（4～）			2		14	20	4		24	38	19	

修得しておくことが望ましい単位数の目安を学年（学期）毎に累計で表示
 * 修得単位数とは、成績評価の結果、合格（S～C）又は認定（N）となった単位数

留意点

修得単位数は、単位が認定される学期に計上されますので、通年科目については注意してください。

例		前学期科目（2単位）	後学期科目（2単位）	通年科目（4単位）
修得単位数	前学期	2	—	0
	後学期	—	2	4

グローバル・マネジメント専攻

	共通科目*						専門科目				合計	小計		
	基礎教育	人間力形成教育			キャリア形成教育	人間力形成教育・キャリア形成教育	計	必修	選択必修	選択				計
		人間形成	国際理解	社会生活										
卒業要件単位数	8	4	4	4	6	6	32	72	20		92	124		

1年(1学期)	4	※(2~)					6	9	1		10	16	16	36
1年(2学期)	8	※(4~)			2		14	20	2		22	36	20	

*大学が必要と認めた場合に限り、修得すべき単位の全部又は一部を専門科目の単位の修得をもってこれに代えることができる。

1年終了時の修得単位数の基準は、合計36単位を目安とする。

<留意点> ① 1年次の必修科目(基礎教育、キャリア形成教育、専門科目)は必ず修得する。

② 選択必修科目(※印)は、各自の履修計画に従い、上表の()内の単位を目安として、履修単位数の上限の範囲内で修得することが望ましい。

2年(3学期)	8	※(8~)			4		20	29	5		34	54	18	38
2年(4学期)	8	4	4	4	6	2	28	38	8		46	74	20	

2年終了時の修得単位数の基準は、合計74単位を目安とする。

<留意点> ① 2年次までの必修科目(基礎教育、キャリア形成教育、専門科目)は必ず修得する。

② 選択必修科目(※印)は、各自の履修計画に従い、上表の()内の単位を目安として、履修単位数の上限の範囲内で修得することが望ましい。

3年(5学期)	8	4	4	4	6	4	30	48	14		62	92	18	36
3年(6学期)	8	4	4	4	6	6	32	60	18		78	110	18	

3年終了時の修得単位数の基準は、合計110単位を目安とする。

4年(7学期)	8	4	4	4	6	6	32	66	18		84	116	6	14
4年(8学期)	8	4	4	4	6	6	32	72	20		92	124	8	

観光専攻

	共通科目						専門科目				合計	小計		
	基礎教育 特別科目 *	人間力形成教育			キャリア 形成教育	人間力形成教育・ キャリア形成教育	計	必修	選択 必修	選択				計
		人間 形成	国際 理解	社会 生活										
卒業要件単位数	8	4	4	4	6	6	32	48	44		92	124		

1年(1学期)	4	※(2~)					6	11	2		13	19	19	38
1年(2学期)	8	※(4~)			2		14	20	4		24	38	19	

1年終了時の修得単位数の基準は、合計38単位を目安とする。

<留意点> ① 1年次での必修科目(基礎教育、キャリア形成教育、専門科目)は必ず修得する。

* 外国人留学生特別入学試験によって入学した学生は、大学が必要と認めた場合、「アカデミック日本語Ⅰ~Ⅳ」の単位を修得してください。

② 選択必修科目(※印)は、各自の履修計画に従い、上表の()内の単位を目安として、履修単位数の上限の範囲内で修得することが望ましい。

2年(3学期)	8	※(6~)			4		18	30	9		39	57	19	37
2年(4学期)	8	※(8~)			6		22	38	15		53	75	18	

2年終了時の修得単位数の基準は、合計75単位を目安とする。

<留意点> ① 2年次までの必修科目(基礎教育、キャリア形成教育、専門科目)は必ず修得する。

② 選択必修科目(※印)は、各自の履修計画に従い、上表の()内の単位を目安として、履修単位数の上限の範囲内で修得することが望ましい。

3年(5学期)	8	4	4	4	6		26	42	22		64	90	15	36
3年(6学期)	8	4	4	4	6	6	32	44	35		79	111	21	

3年終了時の修得単位数の基準は、合計111単位を目安とする。

4年(7学期)	8	4	4	4	6	6	32	46	40		86	118	7	13
4年(8学期)	8	4	4	4	6	6	32	48	44		92	124	6	

経営情報専攻

	共通科目						専門科目				合計	小計		
	基礎教育 特別科目 *	人間力形成教育			キャリア 形成教育	人間力形成教育・ キャリア形成教育	計	必修	選択 必修	選択		計	学期	年間
		人間 形成	国際 理解	社会 生活										
卒業要件単位数	8	4	4	4	6	6	32	64	28		92	124		
1年(1学期)	4	※(2~)					6	12			12	18	18	36
1年(2学期)	8	※(6~)			2		16	20			20	36	18	

1年終了時の修得単位数の基準は、合計36単位を目安とする。

<留意点> ① 1年次での必修科目(基礎教育、キャリア形成教育、専門科目)は必ず修得する。

* 外国人留学生特別入学試験によって入学した学生は、大学が必要と認めた場合、「アカデミック日本語Ⅰ~Ⅳ」の単位を修得してください。

② 選択必修科目(※印)は、各自の履修計画に従い、上表の()内の単位を目安として、履修単位数の上限の範囲内で修得することが望ましい。

2年(3学期)	8	※(6~)			4		18	37			37	55	19	38
2年(4学期)	8	※(6~)			6		20	54			54	74	19	

2年終了時の修得単位数の基準は、合計74単位を目安とする。

<留意点> ① 2年次までの必修科目(基礎教育、キャリア形成教育、専門科目)は必ず修得する。

② 選択必修科目(※印)は、各自の履修計画に従い、上表の()内の単位を目安として、履修単位数の上限の範囲内で修得することが望ましい。

3年(5学期)	8	4	4	4	6		26	58	9		67	93	19	36
3年(6学期)	8	4	4	4	6	6	32	60	18		78	110	17	

3年終了時の修得単位数の基準は、合計110単位を目安とする。

4年(7学期)	8	4	4	4	6	6	32	62	24		86	118	8	14
4年(8学期)	8	4	4	4	6	6	32	64	28		92	124	6	

ホスピタリティ・ツーリズム メジャー

2020・2021年度入学生

	共通科目						専門科目					合計	小計	
	基礎教育 [特別科目*]	人間力形成教育			キャリア形成教育	人間力形成教育・ キャリア形成教育	計	必修	選択必修	選択	計			
	人間形成	国際理解	社会生活	必修								選択	学期	年間
卒業要件単位数	8	4	4	4	6	6	32	42	44	6	92	124		

1年(1学期)	4	※(0~2)					6	9	2		11	17	17	34
1年(2学期)	8	※(4~)			2		14	16	4		20	34	17	

1年終了時の修得単位数の基準は、合計34単位を目安とする。

<留意点> ① 1年次の必修科目(基礎教育、キャリア形成教育、専門科目)は必ず修得する。

*外国人留学生特別入学試験によって入学した学生は、大学が必要と認めた場合、「アカデミック日本語Ⅰ~Ⅳ」の単位を修得してください。

② 選択必修科目(※印)は、各自の履修計画に従い、上表の()内の単位を目安として、履修単位数の上限の範囲内で修得することが望ましい。

2年(3学期)	8	※(6~)			4		18	26	8		34	52	18	36
2年(4学期)	8	※(8~)			6		22	34	14		48	70	18	

2年終了時の修得単位数の基準は、合計70単位を目安とする。

<留意点> ① 2年次までの必修科目(基礎教育、キャリア形成教育、専門科目)は必ず修得する。

② 選択必修科目(※印)は、各自の履修計画に従い、上表の()内の単位を目安として、履修単位数の上限の範囲内で修得することが望ましい。

3年(5学期)	8	4	4	4	6	2	28	36	26		62	90	20	38
3年(6学期)	8	4	4	4	6	6	32	38	38		76	108	18	

3年終了時の修得単位数の基準は、合計108単位を目安とする。

4年(7学期)	8	4	4	4	6	6	32	40	42	2	84	116	8	16
4年(8学期)	8	4	4	4	6	6	32	42	44	6	92	124	8	

10

教育課程表

I

共通事項(全学生共通)

10

教育課程表

授業科目区分		授業科目名称・配当年次等				卒業要件 単位数 (最低)
		1年次	2年次	3年次	4年次	
共通 科目	基礎教育	●学修の基礎Ⅰ(2) ●学修の基礎Ⅱ(2) ●学修の基礎Ⅲ-a(2) ●学修の基礎Ⅲ-b(情報リテラシー)(2)				8
	人間形成	人間存在の課題(2) 社会生活と倫理(2) 文学の世界(2) 人類と文化(2) 美とは何か(2) 記号と論理(2) コミュニケーション論(2) 心理学(2) からだと健康(2) 日本人の生活意識(2) 性格とは何か(2) 生命と遺伝子(2) スポーツ科学講義A(2) スポーツ科学講義B(2) スポーツ科学演習A(2) スポーツ科学演習B(2) ボランティア講義(2) <単位認定科目> ボランティア活動A(2) ボランティア活動B(2)				4
	国際理解	人間形成ゼミナール(2) 日本の歴史(2) 国際関係論(2) 国際貢献論(2) 民族と宗教(2) 異文化コミュニケーション論(2) 日本語と日本文化A(留)(2) 日本語と日本文化B(留)(2) フランスとフランス文化A(2) フランスとフランス文化B(2) ドイツ語とドイツ文化A(2) ドイツ語とドイツ文化B(2) スペイン語とスペイン文化A(2) スペイン語とスペイン文化B(2) 韓国語と韓国文化A(2) 韓国語と韓国文化B(2) 中国語と中国文化A(2) 中国語と中国文化B(2) 英語文化研究A(2) 英語文化研究B(2) <単位認定科目> 異文化実地研修A(2) 異文化実地研修B(2) 国際理解ゼミナール(2)				4
	社会生活	法 学(2) 日本国憲法(2) 経済のしくみ(2) 社会と生活(2) 政治のしくみ(2) 社会思想史(2) 日本企業論(2) 地理と環境(2) 自然環境論(2) 都市と生活(2) 生活と安全(2) 行動科学(2) データのまとめ方(2) 数理の世界(2) 身近な物理(2) 現代物理のはなし(2) 身近な化学(2) 科学技術と社会(2) 社会生活ゼミナール(2)				4
	キャリア形成教育	●キャリアプランニングⅠ(2) ●キャリアプランニングⅡ(2) ●キャリアプランニングⅢ(2) キャリアデザイン(4) <単位認定科目> インターンシップA(2) インターンシップB(2) インターンシップC(2) インターンシップD(2) ビジネススキルA(2) ビジネススキルB(2) ビジネススキルC(2) ビジネススキルD(2) 特別聴講科目A(2) 特別聴講科目B(2) 特別聴講科目C(2) 特別聴講科目D(2) <他学部・他学科開放科目(キャリア形成教育)> *「他学部・他学科開放科目の履修」を参照してください。→P.70 <産学連携教育プログラム> *「産学連携教育プログラムの履修」を参照してください。→P.75 ビジネスコミュニケーションプログラム 野村證券ファイナンスプログラム(寄附講座) Trip7 AIデータサイエンスプログラム(寄附講座) 浦安商工会議所起業プログラム(寄附講座) 日経・ビジネスプログラム サイマル・アカデミー通訳者養成特別プログラム				6
	国際教養	●Academic English I(1) ●Academic English II(1) ●Academic English III(1) ●Academic English IV(1)				4
	国際教養	English Writing I-a(1) English Writing I-b(1) English Speaking I-a(1) English Speaking I-b(1)				-
	国際教養	Advanced English skills A(1) Advanced English skills B(1) Advanced English skills C(1) Advanced English skills D(1) 日本語A(1) 日本語B(1) 日本語C(1) 日本語D(1) 日本語E(1) 日本語F(1) 中国語Ⅰ-a(1) 中国語Ⅰ-b(1) 中国語Ⅱ-a(1) 中国語Ⅱ-b(1)				4
	国際教養	●日本文化論(2) ●デスティネーション研究A(日本)(2) ●文化と芸術(2)				6
	国際教養	世界遺産論(2) デスティネーション研究C(北アメリカ)(2) デスティネーション研究E(オセアニア、太平洋地域)(2) デスティネーション研究B(ヨーロッパ)(2) デスティネーション研究D(アジア)(2) デスティネーション研究F(アフリカ、中東地域等)(2)				-
専門 科目	基本科目	●ホスピタリティ論(2) ●ホスピタリティ・ツーリズム学Ⅰ(2) ●ホスピタリティ・ツーリズム学Ⅱ(2)				6
	応用科目	<単位認定科目>ホスピタリティ・ツーリズム産業実地研修A・B・C・D・E・F・G・H(インターンシップ)(各4) ホスピタリティ・ボランティア活動(ボランティア)(4) ホスピタリティ・ツーリズム産業海外研修A・B(インターンシップ)(各2)				-
	発展科目	エアラインビジネス論(2) ホテルビジネス論(2) 交流創造ビジネス論(2)				2
	産業研究 科目	ホスピタリティ・ツーリズム産業研究A(フード・ビバレッジ)(2) ホスピタリティ・ツーリズム産業研究D(エンターテインメント/テーマパーク/ビジネス)(2) ホスピタリティ・ツーリズム産業研究G(社会と観光)(2) ホスピタリティ・ツーリズム産業研究B(コンシェルジュ/ビジネスネットワーク)(2) ホスピタリティ・ツーリズム産業研究E(MICE)(2) ホスピタリティ・ツーリズム産業研究H(eコマース)(2) ホスピタリティ・ツーリズム産業研究C(法規)(2) ホスピタリティ・ツーリズム産業研究F(地域創生)(2)※2 ホスピタリティ・ツーリズム産業研究I(クルーズビジネス)(2)				6
	基礎科目	●マーケティング概論(2) ●マネジメント総論(2)				4
	基礎科目	●アカウントティング基礎(2) ●ファイナンス基礎(2) ●イノベーション概論(2) ●経済学概論(2) ●ロジカル思考(2) ●統計学Ⅰ(2) ●統計学Ⅱ(2) ●リーダーシップ論(2) ●倫理とコンプライアンス(2) ●異文化マネジメント論(2)				36
	基礎科目	●国際ビジネス関係論(2) ●デスティネーション・マーケティング論(2) ●経営戦略論(2) ●デスティネーション・マネジメント論(2) ●サービス・マーケティング論(2) ●ヒューマンリソースマネジメント論(2) ●サービス経済論(2) ●リスクマネジメント論(2)				2
	応用科目	交通経済システム論A(2) 交通経済システム論B(2)				2
	発展科目	特別講義A(2) 特別講義B(2)				2
	発展科目	エアラインマネジメント論(2) フード&ビバレッジマネジメント論(2) 観光事業マネジメント論(2) ホテルマネジメント論(2)				4
演習 科目	グローバル・マネジメント実践演習A(ホテル商品企画)(2) グローバル・マネジメント実践演習B(地域研究)(2) グローバル・マネジメント実践演習C(クリティカルシンキング・ティベート)(2) グローバル・マネジメント実践演習D(プレゼンテーション技法)(2)				2	
ケーススタディ	●プレゼミナールⅠ-a(2) ●プレゼミナールⅡ-a(2) ●ケーススタディⅠ-a(2) ●ケーススタディⅡ-a(2) ●プレゼミナールⅠ-b(2) ●プレゼミナールⅡ-b(2) ●ケーススタディⅠ-b(2) ●ケーススタディⅡ-b(2)				16	
合計卒業要件単位数(最低)						124

※1 大学が必要と認めた場合に限り、共通科目から修得すべき単位の全部又は一部を専門科目の単位の修得をもってこれに代えることができます。

※2 2024年度から「ホスピタリティ・ツーリズム産業研究F(2)」のテーマが「地域開発/まちづくり」から「地域創生」に変更となりました。既に「ホスピタリティ・ツーリズム産業研究F(2)」の単位を修得している場合は履修できません。

注意 <他学部・他学科開放科目(専門科目)>の単位を修得した場合、その単位数は卒業要件には算入されません。→P.70

■ 履修方法

次のとおり合計124単位以上修得しなければならない。(具体的な科目名称等については、[教育課程表](#)を参照してください。)

授業科目区分		卒業要件単位数 (○は必修)	履 修 方 法	
共通科目	基礎教育	⑧	必修 全4科目8単位修得	
	人間力形成教育	人間形成	4	選択必修 人間形成の分野から4単位修得 (*4単位を超えて修得した単位→「その他【人間力形成教育・キャリア形成教育】」へ算入)
		国際理解	4	選択必修 国際理解の分野から4単位修得 (*4単位を超えて修得した単位→「その他【人間力形成教育・キャリア形成教育】」へ算入)
		社会生活	4	選択必修 社会生活の分野から4単位修得 (*4単位を超えて修得した単位→「その他【人間力形成教育・キャリア形成教育】」へ算入)
	キャリア形成教育	⑥	必修 全3科目6単位修得 (*必修科目以外で修得した単位→「その他【人間力形成教育・キャリア形成教育】」へ算入)	
	その他【人間力形成教育・キャリア形成教育】	6	選択 上記共通科目26単位のほかに、人間力形成教育及びキャリア形成教育から6単位修得	
	計	32	*大学が必要と認めた場合に限り、共通科目から修得すべき単位の全部又は一部を専門科目の単位の修得をもってこれに代えることができる。	
専門科目	コミュニケーション	基本科目	④	必修 全4科目4単位修得
		応用科目	-	-
		発展科目	4	選択必修 コミュニケーション発展科目から4単位修得
	国際教養	基本科目	⑥	必修 全3科目6単位修得
		応用科目	-	-
	ホスピタリティ・ツーリズム	基本科目	⑥	必修 全3科目6単位修得
		応用科目	-	-
		発展科目	2	選択必修 ホスピタリティ・ツーリズム発展科目から2単位修得
		産業研究科目	6	選択必修 ホスピタリティ・ツーリズム産業研究科目から6単位修得
	マネジメント	基礎科目	④	必修 全2科目4単位修得
		基本科目	③⑥	必修 全18科目36単位修得
		応用科目	2	選択必修 マネジメント応用科目から2単位修得
		発展科目	4	選択必修 マネジメント発展科目から4単位修得
		演習	演習科目	2
	ケーススタディ	①⑥	必修 全8科目16単位修得	
	計	92	-	
合計	124	-		

■ 進級要件

1年(2学期)から2年(3学期)への進級及び2年(4学期)から3年(5学期)への進級については、「進級要件」を参照してください。
→P.50

授業科目区分		授業科目名称・配当年次等				卒業要件単位数(最低)		
		1年次	2年次	3年次	4年次			
共通科目	基礎教育	●学修の基礎Ⅰ(2) ●学修の基礎Ⅱ(2) ●学修の基礎Ⅲ-a(2) ●学修の基礎Ⅲ-b(情報リテラシー)(2)	特別科目 アカデミック日本語Ⅰ(留)(2) アカデミック日本語Ⅱ(留)(2) アカデミック日本語Ⅲ(留)(2) アカデミック日本語Ⅳ(留)(2)	*外国人留学生特別入学試験によって入学した学生は、大学が必要と認めた場合、「アカデミック日本語Ⅰ～Ⅳ」の単位を修得してください。		8		
		人間存在の課題(2) コミュニケーション論(2) スポーツ科学講義A(2) <単位認定科目>	社会生活と倫理(2) 心理学(2) スポーツ科学講義B(2) ボランティア活動A(2)	文学の世界(2) からだ健康(2) からだと健康(2) ボランティア活動B(2)	人類と文化(2) 日本人の生活意識(2) スポーツ科学演習B(2)	美とは何か(2) 性格とは何か(2) ボランティア講義(2)	記号と論理(2) 生命と遺伝子(2)	4
	人間力形成教育	国際理解	日本の歴史(2) 日本語と日本文化B(留)(2) スペイン語とスペイン文化B(2) 英語文化研究B(2) <単位認定科目>	国際関係論(2) フランス語とフランス文化B(2) 韓国語と韓国文化A(2) 異文化実地研修A(2)	国際貢献論(2) フランス語とフランス文化B(2) 韓国語と韓国文化B(2) 異文化実地研修B(2)	民族と宗教(2) ドイツ語とドイツ文化A(2) 中国語と中国文化A(2)	異文化コミュニケーション論(2) 日本語と日本文化A(留)(2) スペイン語とスペイン文化A(2) 英語文化研究A(2)	4
	社会生活	法学(2) 日本企業論(2) データのまとめ方(2)	日本国憲法(2) 地理と環境(2) 数理の世界(2)	経済のしくみ(2) 自然環境論(2) 身近な物理(2)	社会と生活(2) 都市と生活(2) 現代物理のはなし(2)	政治のしくみ(2) 生活と安全(2) 身近な化学(2)	社会思想史(2) 行動科学(2) 科学技術と社会(2)	4
	キャリア形成教育	●キャリアプランニングⅠ(2)	●キャリアプランニングⅡ(2) ●キャリアプランニングⅢ(2)	キャリアデザイン(4)			6	
	<単位認定科目>		インターンシップA(2) ビジネススキルA(2)	インターンシップB(2) ビジネススキルB(2)	インターンシップC(2) ビジネススキルC(2)	インターンシップD(2) ビジネススキルD(2)		
	<他学部・他学科開放科目(キャリア形成教育)>		*「他学部・他学科開放科目の履修」を参照してください。→P.70					
	<産学連携教育プログラム>		*「産学連携教育プログラムの履修」を参照してください。→P.75					
	浦安商工会議所起業プログラム(寄附講座)		日経・ビジネスプログラム	Trip7 AIデータサイエンスプログラム(寄附講座)	サイマル・アカデミー通訳者養成特別プログラム			
	専門科目	コミュニケーション	●Academic English I(1) ●Academic English II(1) ●English Grammar I-a(1) ●English Grammar I-b(1) ●サービスコミュニケーション実習Ⅰ-a(1) ●サービスコミュニケーション実習Ⅰ-b(1)	●English Grammar II-a(1) ●English Grammar II-b(1) ●パーソナル・コミュニケーションリテラシーⅠ(2) ●パーソナル・コミュニケーションリテラシーⅡ(2)			26	
English Writing I-a(1) English Writing I-b(1) English Speaking I-a(1) English Speaking I-b(1)			サービスコミュニケーション実習Ⅱ(1)					
●Academic English III(1) ●Academic English IV(1) English Writing II-a(1) English Writing II-b(1) English Speaking II-a(1) English Speaking II-b(1)		パーソナル・コミュニケーション探究A(ビジネスネットワークワーキング)(2) パーソナル・コミュニケーション探究B(国際平和と観光)(2)* パーソナル・コミュニケーション探究C(マイノリティと共生社会)(2) パーソナル・コミュニケーション探究D(グローバル化とSDGs)(2) サービスコミュニケーション実習Ⅲ(1)						
Advanced English skills A(一般会話)(1) Advanced English skills B(ビジネス会話)(1)		Advanced English skills C(TOEIC 650+)(1) Advanced English skills D(TOEIC 700+)(1)	Advanced English skills E(Reading)(1) Advanced English skills F(Writing)(1)					
国際教養		日本文化論(2) アジア研究A(日本)(2) アジア研究B(ヨーロッパ)(2)	世界遺産論(2) アジア研究C(南北アメリカ)(2) アジア研究D(アジア)(2)	アジア研究E(オセアニア、太平洋地域)(2) アジア研究F(アフリカ、中東地域等)(2)			6	
ホスピタリティ・ツーリズム		●ホスピタリティ論(2) ●ホスピタリティ・ツーリズムⅠ(2) ●ホスピタリティ・ツーリズムⅡ(2)	●ラクチャー論(2) 国際ホスピタリティビジネス研究(2)				92	
		●エアラインビジネス論(2) ●ホテルビジネス論(2) ●交流創造ビジネス論(2)	ホスピタリティ・ツーリズム産業研究A(フード・ビバレッジ)(2) ホスピタリティ・ツーリズム産業研究B(フライタル・フェイタルビジネス)(2) ホスピタリティ・ツーリズム産業研究C(法規)(2) ホスピタリティ・ツーリズム産業研究D(エンターテインメント/テーマパークビジネス)(2) ホスピタリティ・ツーリズム産業研究E(MICE)(2) ホスピタリティ・ツーリズム産業研究F(地域創生)(2) ホスピタリティ・ツーリズム産業研究G(フライタルⅠ)(2) ホスピタリティ・ツーリズム産業研究H(フライタルⅡ)(2) ホスピタリティ・ツーリズム産業研究I(クルーズビジネス)(2) ホスピタリティ・ツーリズム産業研究J(トラベルエージェント実務)(2)					
<単位認定科目>		ホスピタリティ・ツーリズム実習Ⅰ(インフィニ国際線予約システム予約編-初級)(1)* ホスピタリティ・ツーリズム実地研修A・B・C・D・E・F・G・H(インターンシップ)(各4) ホスピタリティ・ボランティア活動(ボランティア)(4) ホスピタリティ・ツーリズム産業海外研修A・B(インターンシップ)(各2)						
ビジネス		●マーケティング概論(2) ●マネジメント総論(2)	●マーケティング基礎(2) ●ファイナンス基礎(2)	●イノベーション概論(2)	統計学Ⅰ(2) IoTテクノロジー基礎(2)	デジタルイノベーション概論(2)	18	
		●マーケティング基礎(2) ●ファイナンス基礎(2)	●イノベーション概論(2)	統計学Ⅱ(2) 倫理とコンプライアンス(2) リーダーシップ論(2)	異文化マネジメント論(2) 特別講義A(2) 特別講義B(2)	データ解析基礎(2) プロポーザル管理基礎(2)		
演習	●国際ビジネス関係論(2) ●経営戦略論(2) ●サービス・マーケティング論(2) ●アジア研究・マーケティング論(2) ●アジア研究・マネジメント論(2) ●グローバル・マネジメント論(2)		●交通経済システム論A(2) ●交通経済システム論B(2) ●エアラインマネジメント論(2) ●観光事業マネジメント論(2) ●フード&ビバレッジマネジメント論(2) ●ホテルマネジメント論(2)			4		
	パーソナル・コミュニケーション実践演習A(ホテル商品企画)(2) パーソナル・コミュニケーション実践演習B(地域研究)(2) パーソナル・コミュニケーション実践演習E(コンシェルジュ)(2)		パーソナル・コミュニケーション実践演習C(ロジカルシンキング・ディベート)(2) パーソナル・コミュニケーション実践演習D(プレゼンテーション技法)(2)					
ケーススタディ	●プレゼミナールⅠ-a(2) ●プレゼミナールⅠ-b(2)	●プレゼミナールⅡ-a(2) ●プレゼミナールⅡ-b(2)	●ケーススタディⅠ-a(2) ●ケーススタディⅠ-b(2)	●ケーススタディⅡ-a(2) ●ケーススタディⅡ-b(2)		16		
合計卒業要件単位数(最低)						124		

* 2024年度から「パーソナル・コミュニケーション探究B(2)」のテーマが「メディアリテラシー」から「国際平和と観光」に変更、「ホスピタリティ・ツーリズム実習Ⅰ(1)」のテーマが「インフィニGlobal Distribution System初級」から「インフィニ国際線予約システム予約編-初級」に変更及び「ホスピタリティ・ツーリズム実習Ⅰ(1)」のテーマが「インフィニGlobal Distribution System中級」から「インフィニ国際線予約システム実習編-上級」に変更となりました。既に「パーソナル・コミュニケーション探究B(2)」、「ホスピタリティ・ツーリズム実習Ⅰ(1)」及び「ホスピタリティ・ツーリズム実習Ⅱ(1)」の単位を修得している場合、同一名称科目は履修できません。

注意 <他学部・他学科開放科目(専門科目)>の単位を修得した場合、その単位数は卒業要件には算入されません。→P.70

■ 履修方法

次のとおり合計124単位以上修得しなければならない。(具体的な科目名称等については、[教育課程表](#)を参照してください。)

授業科目区分		卒業要件単位数 (○は必修)	履 修 方 法	
共通科目	基礎教育 〔特別科目〕	⑧	必修 全4科目8単位修得 *外国人留学生特別入学試験によって入学した学生は、大学が必要と認めた場合、「アカデミック日本語Ⅰ～Ⅳ」の単位を修得してください。	
	人間力形成教育	人間形成	4	選択必修 人間形成の分野から4単位修得 (*4単位を超えて修得した単位→「その他【人間力形成教育・キャリア形成教育】」へ算入)
		国際理解	4	選択必修 国際理解の分野から4単位修得 (*4単位を超えて修得した単位→「その他【人間力形成教育・キャリア形成教育】」へ算入)
		社会生活	4	選択必修 社会生活の分野から4単位修得 (*4単位を超えて修得した単位→「その他【人間力形成教育・キャリア形成教育】」へ算入)
	キャリア形成教育	⑥	必修 全3科目6単位修得 (*必修科目以外で修得した単位→「その他【人間力形成教育・キャリア形成教育】」へ算入)	
	その他【人間力形成教育・キャリア形成教育】	6	選択 上記共通科目26単位のほかに、人間力形成教育及びキャリア形成教育から6単位修得	
	計	32	—	
専門科目	必修科目	④⑧	必修 全29科目48単位修得	
	選択必修科目	コミュニケーション	12	選択必修 コミュニケーションから12単位修得
		国際教養	6	選択必修 国際教養から6単位修得
		ホスピタリティ・ツーリズム	8	選択必修 ホスピタリティ・ツーリズムから8単位修得
		ビジネス	14	選択必修 ビジネスから14単位修得
		演習	4	選択必修 演習から4単位修得
	計	92	—	
合計	124	—		

■ 進級要件

1年(2学期)から2年(3学期)への進級及び2年(4学期)から3年(5学期)への進級については、「進級要件」を参照してください。
→P.50

授業科目区分		授業科目名称・配当年次等				卒業要件単位数 (最低)		
		1年次	2年次	3年次	4年次			
共通科目	基礎教育	<ul style="list-style-type: none"> ●学修の基礎Ⅰ(2) ●学修の基礎Ⅱ(2) ●学修の基礎Ⅲ-a(2) ●学修の基礎Ⅲ-b(情報リテラシー)(2) 		特別科目 アカデミック日本語Ⅰ(留)(2) アカデミック日本語Ⅱ(留)(2) アカデミック日本語Ⅲ(留)(2) アカデミック日本語Ⅳ(留)(2)	*外国人留学生特別入学試験によって入学した学生は、大学が必要と認めた場合、「アカデミック日本語Ⅰ～Ⅳ」の単位を修得してください。		8	
		人間形成	人間存在の課題(2) コミュニケーション論(2) スポーツ科学講義A(2) <単位認定科目>	社会生活と倫理(2) 心理学(2) スポーツ科学講義B(2) ボランティア活動A(2)	文学の世界(2) からだ健康(2) スポーツ科学演習A(2) ボランティア活動B(2)	人類と文化(2) 日本人の生活意識(2) スポーツ科学演習B(2)		美とは何か(2) 性格とは何か(2) ボランティア講義(2)
	国際理解	日本の歴史(2) 日本語と日本文化B(留)(2) スペイン語とスペイン文化B(2) 英語文化研究B(2) <単位認定科目>	国際関係論(2) フランス語とフランス文化A(2) 韓国語と韓国文化A(2) 異文化実地研修A(2)	国際貢献論(2) フランス語とフランス文化B(2) 韓国語と韓国文化B(2) 異文化実地研修B(2)	民族と宗教(2) ドイツ語とドイツ文化A(2) 中国語と中国文化A(2)	異文化コミュニケーション論(2) ドイツ語とドイツ文化B(2) 中国語と中国文化B(2)	日本語と日本文化A(留)(2) スペイン語とスペイン文化A(2) 英語文化研究A(2)	4
	社会生活	法学(2) 日本企業論(2) データのまとめ方(2)	日本国憲法(2) 地理と環境(2) 数理の世界(2)	経済のしくみ(2) 自然環境論(2) 身近な物理(2)	社会と生活(2) 都市と生活(2) 現代物理のはなし(2)	政治のしくみ(2) 生活と安全(2) 身近な化学(2)	社会思想史(2) 行動科学(2) 科学技術と社会(2)	4
	キャリア形成教育	<ul style="list-style-type: none"> ●キャリアプランニングⅠ(2) 	<ul style="list-style-type: none"> ●キャリアプランニングⅡ(2) ●キャリアプランニングⅢ(2) 	キャリアデザイン(4)	<単位認定科目> インターンシップA(2) インターンシップB(2) インターンシップC(2) インターンシップD(2) ビジネススキルA(2) ビジネススキルB(2) ビジネススキルC(2) ビジネススキルD(2)		6	
	<他学部・他学科開放科目(キャリア形成教育)> *「他学部・他学科開放科目の履修」を参照してください。→P.70		<産学連携教育プログラム> *「産学連携教育プログラムの履修」を参照してください。→P.75 ビジネスコミュニケーションプログラム 野村證券ファイナンスプログラム(寄附講座) Trip7 AIデータサイエンスプログラム(寄附講座) 浦安商工会議所起業プログラム(寄附講座) 日経・ビジネスプログラム サイマル・アカデミー通訳者養成特別プログラム					
	<他学部・他学科開放科目(キャリア形成教育)> *「他学部・他学科開放科目の履修」を参照してください。→P.70		<産学連携教育プログラム> *「産学連携教育プログラムの履修」を参照してください。→P.75 ビジネスコミュニケーションプログラム 野村證券ファイナンスプログラム(寄附講座) Trip7 AIデータサイエンスプログラム(寄附講座) 浦安商工会議所起業プログラム(寄附講座) 日経・ビジネスプログラム サイマル・アカデミー通訳者養成特別プログラム					
	<他学部・他学科開放科目(キャリア形成教育)> *「他学部・他学科開放科目の履修」を参照してください。→P.70		<産学連携教育プログラム> *「産学連携教育プログラムの履修」を参照してください。→P.75 ビジネスコミュニケーションプログラム 野村證券ファイナンスプログラム(寄附講座) Trip7 AIデータサイエンスプログラム(寄附講座) 浦安商工会議所起業プログラム(寄附講座) 日経・ビジネスプログラム サイマル・アカデミー通訳者養成特別プログラム					
	<他学部・他学科開放科目(キャリア形成教育)> *「他学部・他学科開放科目の履修」を参照してください。→P.70		<産学連携教育プログラム> *「産学連携教育プログラムの履修」を参照してください。→P.75 ビジネスコミュニケーションプログラム 野村證券ファイナンスプログラム(寄附講座) Trip7 AIデータサイエンスプログラム(寄附講座) 浦安商工会議所起業プログラム(寄附講座) 日経・ビジネスプログラム サイマル・アカデミー通訳者養成特別プログラム					
	専門科目	コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ●Academic EnglishⅠ(1) ●Academic EnglishⅡ(1) ●サービスコミュニケーション実習Ⅰ-a(1) ●サービスコミュニケーション実習Ⅰ-b(1) 	English GrammarⅡ-a(1) English GrammarⅡ-b(1)	サービスコミュニケーション実習Ⅱ(1)		6	
<ul style="list-style-type: none"> ●Academic EnglishⅢ(1) ●Academic EnglishⅣ(1) 			サービスコミュニケーション実習Ⅲ(1)					
Advanced English skills A(一般会話)(1) Advanced English skills C(TOEIC 650+)(1) Advanced English skills E(Reading)(1) Advanced English skills B(ビジネス会話)(1) Advanced English skills D(TOEIC 700+)(1) Advanced English skills F(Writing)(1)								
ホスピタリティ・ツーリズム		<ul style="list-style-type: none"> ●ホスピタリティ論(2) ●ホスピタリティ・ツーリズムⅠ(2) ●ホスピタリティ・ツーリズムⅡ(2) 	ラクチャー論(2) 国際ホスピタリティビジネス研究(2)				16	
		<ul style="list-style-type: none"> ●エアラインビジネス論(2) ●ホテルビジネス論(2) ●交流創造ビジネス論(2) 	ホスピタリティ・ツーリズム産業研究A(フード・ビバレッジ)(2) ホスピタリティ・ツーリズム産業研究B(フライダル・フェーナルビジネス)(2) ホスピタリティ・ツーリズム産業研究C(法規)(2) ホスピタリティ・ツーリズム産業研究D(エンターテインメント/テーマパークビジネス)(2) ホスピタリティ・ツーリズム産業研究E(MICE)(2) ホスピタリティ・ツーリズム産業研究F(地域創生)(2) ホスピタリティ・ツーリズム産業研究G(フライダルⅠ)(2) ホスピタリティ・ツーリズム産業研究H(フライダルⅡ)(2) ホスピタリティ・ツーリズム産業研究I(クルーズビジネス)(2) ホスピタリティ・ツーリズム産業研究J(トラベルエージェンツ実務)(2)					
		ホスピタリティ・ツーリズム実習Ⅰ(インフィニ国際線予約システム予約編-初級)(1)* <単位認定科目> ホスピタリティ・ツーリズム産業実地研修A・B・C・D・E・F・G・H(インターンシップ)(各4) ホスピタリティ・ボランティア活動(ボランティア)(4) ホスピタリティ・ツーリズム産業海外研修A・B(インターンシップ)(各2)		ホスピタリティ・ツーリズム実習Ⅱ(インフィニ国際線予約システム運賃編-上級)(1)*				
		<単位認定科目>		<単位認定科目>				
マネジメント		<ul style="list-style-type: none"> ●マーケティング概論(2) ●マネジメント総論(2) ●アカウンティング基礎(2) ●ファイナンス基礎(2) ●イノベーション概論(2) ●統計学Ⅰ(2) 	統計学Ⅱ(2) 倫理とコンプライアンス(2)	リーダーシップ論(2) 異文化マネジメント論(2)	特別講義A(2) 特別講義B(2)		24	
		国際ビジネス関係論(2) 経営戦略論(2) サービス・マーケティング論(2) デザイン・マーケティング論(2) デザイン・マネジメント論(2) デザイン・イノベーション論(2) リスクマネジメント論(2)		交通経済システム論A(2) 交通経済システム論B(2) エアラインマネジメント論(2) 観光事業マネジメント論(2) フード&ビバレッジマネジメント論(2) ホテルマネジメント論(2)				
デジタルイノベーション		<ul style="list-style-type: none"> ●IoTテクノロジー基礎(2) ●デジタルイノベーション概論(2) ●ロジカル思考(2) 	<ul style="list-style-type: none"> ●デザイン思考(2) ●データ解析基礎(2) ●グローバル管理基礎(2) 	デジタル・イノベーション探究A(デジタルイノベーション・ビジネスモデル・プラットフォームビジネス)(2) デジタル・イノベーション探究B(顧客価値・顧客データ分析・CRM)(2) デジタル・イノベーション探究C(プロジェクト管理)(2) デジタル・イノベーション探究D(デジタルイノベーションとSDGs・国際社会)(2)	デジタル・イノベーション探究E(オムニチャネル・OMO・D2C)(2) デジタル・イノベーション探究F(経営情報システムと情報セキュリティ)(2) デジタル・イノベーション探究G(AI・RPA・深層学習)(2)		26	
	<単位認定科目> ●デジタル・イノベーション実地研修(2)							
演習	デジタル・イノベーション実践演習A(プロジェクト管理)(2) デジタル・イノベーション実践演習B(グローバル管理・交渉)(2) デジタル・イノベーション実践演習C(データマイニング)(2) デジタル・イノベーション実践演習D(デジタル・マーケティング技術)(2)				4			
ケーススタディ	<ul style="list-style-type: none"> ●プレゼミナールⅠ-a(2) ●プレゼミナールⅠ-b(2) 	<ul style="list-style-type: none"> ●プレゼミナールⅡ-a(2) ●プレゼミナールⅡ-b(2) 	<ul style="list-style-type: none"> ●ケーススタディⅠ-a(2) ●ケーススタディⅠ-b(2) 	<ul style="list-style-type: none"> ●ケーススタディⅡ-a(2) ●ケーススタディⅡ-b(2) 	16			
合計卒業要件単位数(最低)						124		

* 2024年度から「ホスピタリティ・ツーリズム実習Ⅰ(1)」のテーマが「インフィニGlobal Distribution System(初級)」から「インフィニ国際線予約システム予約編-初級」に変更及び「ホスピタリティ・ツーリズム実習Ⅱ(1)」のテーマが「インフィニGlobal Distribution System(上級)」から「インフィニ国際線予約システム運賃編-上級」に変更となりました。既に「ホスピタリティ・ツーリズム実習Ⅰ(1)」及び「ホスピタリティ・ツーリズム実習Ⅱ(1)」の単位を修得している場合、同一名称科目は履修できません。

注意 <他学部・他学科開放科目(専門科目)>の単位を修得した場合、その単位数は卒業要件には算入されません。→P.70

■ 履修方法

次のとおり合計124単位以上修得しなければならない。(具体的な科目名称等については、[教育課程表](#)を参照してください。)

授業科目区分		卒業要件単位数 (○は必修)	履 修 方 法	
共通科目	基礎教育 〔特別科目〕	⑧	必修 全4科目8単位修得 *外国人留学生特別入学試験によって入学した学生は、大学が必要と認めた場合、「アカデミック日本語Ⅰ～Ⅳ」の単位を修得してください。	
	人間力形成教育	人間形成	4	選択必修 人間形成の分野から4単位修得 (*4単位を超えて修得した単位→「その他〔人間力形成教育・キャリア形成教育〕」へ算入)
		国際理解	4	選択必修 国際理解の分野から4単位修得 (*4単位を超えて修得した単位→「その他〔人間力形成教育・キャリア形成教育〕」へ算入)
		社会生活	4	選択必修 社会生活の分野から4単位修得 (*4単位を超えて修得した単位→「その他〔人間力形成教育・キャリア形成教育〕」へ算入)
	キャリア形成教育	⑥	必修 全3科目6単位修得 (*必修科目以外で修得した単位→「その他〔人間力形成教育・キャリア形成教育〕」へ算入)	
	その他〔人間力形成教育・キャリア形成教育〕	6	選択 上記共通科目26単位のほかに、人間力形成教育及びキャリア形成教育から6単位修得	
	計	32	—	
専門科目	必修科目	⑥4	必修 全35科目64単位修得	
	選択必修科目	ホスピタリティ・ツーリズム	4	選択必修 ホスピタリティ・ツーリズムから4単位修得
		マネジメント	8	選択必修 マネジメントから8単位修得
		デジタルイノベーション	12	選択必修 デジタルイノベーションから12単位修得
		演習	4	選択必修 演習から4単位修得
計	92	—		
合計	124	—		

■ 進級要件

1年(2学期)から2年(3学期)への進級及び2年(4学期)から3年(5学期)への進級については、「進級要件」を参照してください。
→P.50

■ 履修方法

次のとおり合計124単位以上修得しなければならない。(具体的な科目名称等については、[教育課程表](#)を参照してください。)

授業科目区分		卒業要件単位数 (○は必修)	履 修 方 法		
共通科目	基礎教育 〔特別科目〕	⑧	必修	全4科目8単位修得 *外国人留学生特別入学試験によって入学した学生は、大学が必要と認めた場合、「アカデミック日本語Ⅰ～Ⅳ」の単位を修得してください。	
	人間力形成教育	人間形成	4	選択必修	人間形成の分野から4単位修得 (*4単位を超えて修得した単位→「その他〔人間力形成教育・キャリア形成教育〕」へ算入)
		国際理解	4	選択必修	国際理解の分野から4単位修得 (*4単位を超えて修得した単位→「その他〔人間力形成教育・キャリア形成教育〕」へ算入)
		社会生活	4	選択必修	社会生活の分野から4単位修得 (*4単位を超えて修得した単位→「その他〔人間力形成教育・キャリア形成教育〕」へ算入)
	キャリア形成教育	⑥	必修	全3科目6単位修得 (*必修科目以外で修得した単位→「その他〔人間力形成教育・キャリア形成教育〕」へ算入)	
	その他〔人間力形成教育・キャリア形成教育〕	6	選択	上記共通科目26単位のほかに、人間力形成教育及びキャリア形成教育から6単位修得	
	計	32		—	
専門科目	必修科目	④2	必修	全26科目42単位修得	
	選択必修科目	コミュニケーション	8	選択必修	コミュニケーションから8単位修得
		国際教養	8	選択必修	国際教養から8単位修得
		ホスピタリティ・ツーリズム	10	選択必修	ホスピタリティ・ツーリズムから10単位修得 (*10単位を超えて修得した単位→「その他〔専門科目〕」へ算入)
		マネジメント	14	選択必修	マネジメントから14単位修得 (*14単位を超えて修得した単位→「その他〔専門科目〕」へ算入)
		演習	4	選択必修	演習から4単位修得 (*4単位を超えて修得した単位→「その他〔専門科目〕」へ算入)
	その他〔専門科目〕	6	選択	上記専門科目86単位のほかに、ホスピタリティ・ツーリズム、マネジメント及び演習から6単位修得 *他学部・他学科開放科目(専門科目)で修得した単位を含む。	
計	92		—		
合計	124		—		

■ 進級要件

1年(2学期)から2年(3学期)への進級及び2年(4学期)から3年(5学期)への進級については、「進級要件」を参照してください。
→P.50

11

他学部・他学科開放科目 産学連携教育プログラム

他学部・他学科開放科目の履修

専門領域にとらわれない幅広い分野の中から、目的や興味に応じた学修を通して、より幅広い知識を修得することを目的として、他学部・他学科において開放されている授業科目（開放科目）を履修することができます。

1 履修方法

開放科目一覧から自分の履修したい授業科目を選び、授業担当教員の許可を得た上で履修登録してください。

履修上の注意点

- ① 授業科目によっては、一定の条件を満たさなければ履修できない科目がありますので、授業担当教員の説明や『シラバス』の「履修条件」欄で確認してください。
なお、他学部の『シラバス』は浦安キャンパス公式ホームページ上で閲覧することができます。
- ② 履修に当たっては、必ず授業担当教員の許可を得てください。授業担当教員に無断で登録した場合、単位が認定されないことがあります。
- ③ 下位年次配当科目の履修は認められますが、上位年次配当科目の履修は認められません。
- ④ 学部・学科・専攻・コース・メジャー等により、他学部・他学科開放科目の履修が認められない場合があります。卒業要件単位数に算入される区分等を含め詳細は教育課程表を確認してください。
- ⑤ 今年度開講されない授業科目については、授業時間割等で確認してください。

2 共通科目【キャリア形成教育】に含めることができる開放科目

開講学科	開放科目 〔 () の数字は単位数〕	開講年次	該当入学年度に●が付してある科目のみ履修可		
			2025年度 以降	2021～ 2024年度	2020年度 以前
日本語学科	日本研究(2)	2・3・4	●	●	
	東アジア研究(2)	2・3・4	●	●	
	文化講義Ⅰ(日本)(2)	2・3・4	●	●	
	文化講義Ⅱ(異文化理解)(2)	2・3・4	●	●	
	応用言語学(2)	3・4	●	●	
	社会言語学(2)	2	●	●	
	比較文化論(2)	2			●
	日本語教育のための英語(2)	3・4			●
	日本語教育のための中国語(2)	3・4			●
	日本語教育のための韓国語(2)	3・4			●
英米語学科	英語圏の文化と社会(2)	2			●
	英語史(2)	2	●	●	●
	対照言語研究 a (2)	2	●	●	●
	対照言語研究 b (2)	2	●	●	●
	英文法研究 a (2)	2	●	●	●
	英文法研究 b (2)	2	●	●	●
	英米文学史(2)	2			●
	時事英語 a (2)	2	●	●	●
	時事英語 b (2)	2	●	●	●

開講学科	開放科目 〔() の数字は単位数〕	開講年次	該当入学年度に●が付してある科目のみ履修可		
			2025年度 以降	2021～ 2024年度	2020年度 以前
英米語学科	Interpreting Skills a (2)	3・4	●	●	●
	Interpreting Skills b (2)	3・4	●	●	●
	Translation Skills a (2)	3・4	●	●	●
	Translation Skills b (2)	3・4	●	●	●
	Advanced Writing Skills a (2)	3・4	●	●	●
	Advanced Writing Skills b (2)	3・4	●	●	●
	Advanced Reading Skills a (2)	3・4	●	●	●
	Advanced Reading Skills b (2)	3・4	●	●	●
	Advanced Listening Skills a (2)	3・4	●	●	●
	Advanced Listening Skills b (2)	3・4	●	●	●
	Discussion & Debate a (2)	3・4	●	●	●
	Discussion & Debate b (2)	3・4	●	●	●
	English for Current Issues a (2)	3・4			●
	English for Current Issues b (2)	3・4			●
	Advanced Business English a (2)	3・4	●	●	●
	Advanced Business English b (2)	3・4	●	●	●
Advanced Research & Presentation Skills(2)	3・4	●	●	●	
中国語学科	中国社会研究入門(2)	1	●	●	●
	中国現代史研究入門(2)	1	●	●	●
	中国思想研究入門(2)	2	●	●	●
	中国文学研究入門(2)	2	●	●	●
	中国歴史研究入門(2)	2	●	●	●
	中国ビジネス入門(2)	2	●	●	●
	中国現代史 I (2)	3・4	●	●	●
	中国現代史 II (2)	3・4	●	●	●
	中国経済 I (2)	3・4	●	●	●
	中国経済 II (2)	3・4	●	●	●
	日中観光実務 I (2)	3・4	●	●	●
	日中観光実務 II (2)	3・4	●	●	●
経済学科	キャリア講座 I (2)	1～4	●	●	●
	キャリア講座 II (2)	1～4	●	●	●
不動産学科	ライフプランと資産形成(2)	1	●		
	不動産実務演習 I (2)	1～4		●	●
	不動産実務演習 II (2)	1～4		●	●

※外国語学部の学科・専攻によっては「共通科目【キャリア形成教育】」に含めることができる開放科目の対象外となる科目があります。詳細は教育課程表等で確認してください。

3 専門科目に含めることができる開放科目

開講学科	開放科目 (()の数字は単位数)	開講年次	該当入学年度に●が付してある科目のみ履修可		
			2025年度 以降	2021～ 2024年度	2020年度 以前
日本語学科	日本語学概論(2)	1	●	●	●
	日本語表現研究Ⅰ(2)	1	●	●	●
	日本語表現研究Ⅱ(2)	1	●	●	●
	日本語教授法(2)	1	●	●	●
	音声学概論(2)	2	●	●	●
	日本語音声学(2)	2	●	●	●
	日本語文法論Ⅰ(2)	2	●	●	●
	日本語文法論Ⅱ(2)	2	●	●	●
	言語学概論(2)	2	●	●	●
	日本語教材論(2)	2	●	●	●
	検定対策Ⅰ(2)	3・4 ^{注1}	●	●	●
	検定対策Ⅱ(2)	3・4 ^{注1}	●	●	●
	検定対策Ⅲ(2)	3・4 ^{注1}	●	●	●
	検定対策Ⅳ(2)	3・4 ^{注1}	●	●	●
	評価法研究(2)	2	●	●	●
	教案作成研究(2)	2	●	●	●
	日本語教育事情(2)	2	●	●	●
	第二言語習得論(2)	2	●	●	●
	日本語史Ⅰ(2)	2	●	●	●
	日本語史Ⅱ(2)	2	●	●	●
日本語教育実習(4) ^{注2}	3・4	●	●	●	
英米語学科	異文化コミュニケーション概論a(2)	1・2	●	●	●
	異文化コミュニケーション概論b(2)	1・2	●	●	●
	英語学概論a(2)	1・2	●	●	●
	英語学概論b(2)	1・2	●	●	●
	英米文学概論a(2)	1・2	●	●	●
	英米文学概論b(2)	1・2	●	●	●
	英語教育学概論a(2)	1・2	●	●	●
	英語教育学概論b(2)	1・2	●	●	●
	コミュニケーション特講Ⅰ-a(2)	3・4	●	●	●
	コミュニケーション特講Ⅰ-b(2)	3・4	●	●	●
	コミュニケーション特講Ⅱ-a(2)	3・4	●	●	●
	コミュニケーション特講Ⅱ-b(2)	3・4	●	●	●
	コミュニケーション特講Ⅲ-a(2)	3・4	●	●	●
	コミュニケーション特講Ⅲ-b(2)	3・4	●	●	●
	英語学特講Ⅰ-a(2)	3・4	●	●	●
	英語学特講Ⅰ-b(2)	3・4	●	●	●
	英語学特講Ⅱ-a(2)	3・4	●	●	●
	英語学特講Ⅱ-b(2)	3・4	●	●	●
	英語学特講Ⅲ-a(2)	3・4	●	●	●
	英語学特講Ⅲ-b(2)	3・4	●	●	●
	文学特講Ⅰ-a(2)	3・4	●	●	●
	文学特講Ⅰ-b(2)	3・4	●	●	●
	文学特講Ⅱ-a(2)	3・4	●	●	●
	文学特講Ⅱ-b(2)	3・4	●	●	●
文学特講Ⅲ-a(2)	3・4	●	●	●	
文学特講Ⅲ-b(2)	3・4	●	●	●	
中国語学科	中国方言基礎演習Ⅰ(2)	3・4	●	●	●
	中国方言基礎演習Ⅱ(2)	3・4	●	●	●
	中国語文法Ⅰ(2)	3・4	●	●	●
	中国語文法Ⅱ(2)	3・4	●	●	●
	中国語史Ⅰ(2)	3・4	●	●	●
	中国語史Ⅱ(2)	3・4	●	●	●
	日中言語対照Ⅰ(2)	3・4	●	●	●
	日中言語対照Ⅱ(2)	3・4	●	●	●

開講学科	開放科目 〔 () の数字は単位数〕	開講年次	該当入学年度に●が付してある科目のみ履修可		
			2025年度 以降	2021～ 2024年度	2020年度 以前
中国語学科	現当代文学Ⅰ(2)	3・4	●	●	●
	現当代文学Ⅱ(2)	3・4	●	●	●
	古典文学Ⅰ(2)	3・4	●	●	●
	古典文学Ⅱ(2)	3・4	●	●	●
	東アジア比較思想論Ⅰ(2)	3・4	●	●	●
	東アジア比較思想論Ⅱ(2)	3・4	●	●	●
	中国宗教・文化論Ⅰ(2)	3・4	●	●	●
	中国宗教・文化論Ⅱ(2)	3・4	●	●	●
	中国芸術論Ⅰ(2)	3・4			●
	中国芸術論Ⅱ(2)	3・4			●
	中国文化体験(2)	3・4			●
	経済学科	日本経済論Ⅰ(2)	1		
日本経済論Ⅱ(2)		1			●
日本経済史(2)		1	●	●	●
経営史Ⅰ(2)		1			●
経営史Ⅱ(2)		1			●
東洋経済史(2)		1	●	●	●
経済学史Ⅰ(2)		1	●	●	●
経済学史Ⅱ(2)		1	●	●	●
民法(2)		1	●	●	●
西洋経済史Ⅰ(2)		1	●	●	●
西洋経済史Ⅱ(2)		1	●	●	●
日本経済論Ⅰ(2)		2	●	●	
日本経済論Ⅱ(2)		2	●	●	
社会保障論Ⅰ(2)		2	●	●	●
社会保障論Ⅱ(2)		2	●	●	●
経営戦略論Ⅰ(2)		2	●	●	
経営戦略論Ⅱ(2)		2	●	●	
環境経済論Ⅰ(2)		2			●
環境経済論Ⅱ(2)		2			●
会社法Ⅰ(2)		2	●	●	●
会社法Ⅱ(2)		2	●	●	●
税法総論(2)		2	●	●	●
アメリカ経済論Ⅰ(2)		2	●	●	●
アメリカ経済論Ⅱ(2)		2	●	●	●
ヨーロッパ経済論Ⅰ(2)		2	●	●	●
ヨーロッパ経済論Ⅱ(2)		2	●	●	●
アジア経済論Ⅰ(2)		2	●	●	●
アジア経済論Ⅱ(2)		2	●	●	●
サービス経済論Ⅰ(2)		2	●	●	●
サービス経済論Ⅱ(2)		2	●	●	●
地方財政論Ⅰ(2)		3・4	●	●	●
地方財政論Ⅱ(2)		3・4	●	●	●
交通経済論Ⅰ(2)	3・4	●	●	●	
交通経済論Ⅱ(2)	3・4	●	●	●	
マーケティング論Ⅰ(2)	3・4	●	●	●	
マーケティング論Ⅱ(2)	3・4	●	●	●	
生産管理論Ⅰ(2)	3・4	●	●		
生産管理論Ⅱ(2)	3・4	●	●		
不動産学科	法と社会 a(2)	2	●		
	法と社会 b(2)	2	●		
	経済と社会 a(2)	2	●		
	経済と社会 b(2)	2	●		
	工学と社会 a(2)	2	●		
	工学と社会 b(2)	2	●		
	不動産の統計(2)	2	●		
	都市と不動産の歴史(2)	2	●		
	財産法の基礎(2)	1		●	●

開講学科	開放科目 〔 () の数字は単位数〕	開講年次	該当入学年度に●が付してある科目のみ履修可		
			2025年度 以降	2021～ 2024年度	2020年度 以前
不動産学科	ミクロ経済学(2)	1		●	●
	都市計画の基礎(2)	1～4	●	●	●
	建築一般構造論(2)	1～4	●	●	●
	不動産公法(2)	1		●	●
	不動産学のための数学と統計(2)	2		●	●
	担保物権法(2)	2		●	●
	債権法(4)	2		●	●
	マクロ経済学(2)	2		●	●
	土地と住宅の経済学(2)	2		●	●
	会計学の基礎(2)	2		●	●
	経営分析(2)	2		●	●
	都市計画(2)	2・3・4	●	●	●
	測量と地図(2)	2		●	●
	地籍と不動産登記(2)	2		●	●
	ハウジング論(2)	2・3・4	●	●	●
	物権法(2)	2		●	●
	都市と建築の基本法(2)	2・3・4	●	●	●
	不動産政策史(2)	2		●	●
	建築史(2)	2・3・4	●	●	●
	住宅計画(2)	2・3・4	●	●	●
	不動産数理(2)	2		●	●
	都市と環境の経済学(2)	2		●	●
	不動産鑑定評価論(4)	2		●	●
	借地借家法・区分所有法(2)	3		●	●
	開発行政法(2)	3		●	●
	会社法(2)	3		●	●
	家族法(2)	3		●	●
	不動産トラブルと法(2)	3		●	●
	不動産金融法・不動産税法(2)	3		●	●
	環境法(2)	3・4	●	●	●
	都市と環境の経済学(2)	3		●	●
	不動産金融論(4)	3		●	●
	不動産鑑定評価論(4)	3		●	●
	不動産会計財務論(2)	3		●	●
	不動産ファイナンス(4)	3		●	●
	法と政策の経済学(2)	3		●	●
	不動産経営戦略(2)	3		●	●
	集合住宅管理論(2)	3・4	●	●	●
	不動産経営計画(2)	3・4	●	●	●
	都市開発と社会基盤(2)	3・4	●	●	●
	都市環境と防災(2)	3・4	●	●	●
	建築計画(2)	3・4	●	●	●
建築環境計画(2)	3・4	●	●	●	
建築材料学(2)	3・4	●	●	●	
建築構造計画(2)	3・4	●	●	●	
建築環境デザイン(2)	3・4	●	●	●	
建築設備(2)	3・4	●	●	●	
構造力学Ⅰ(2)	3・4	●	●	●	
構造力学Ⅱ(2)	3・4	●	●	●	
建築生産(2)	4	●	●	●	
HT学科	日本文化論(2)	1～4	●	●	●
	世界遺産論(2)	1～4	●	●	●
	デスティネーション研究A(日本)(2)	1～4	●	●	●
	デスティネーション研究B(ヨーロッパ)(2)	1～4	●	●	●
	デスティネーション研究C(南北アメリカ)(2)	1～4	●	●	●
	デスティネーション研究D(アジア)(2)	1～4	●	●	●
	デスティネーション研究E(オセアニア、太平洋地域)(2)	1～4	●	●	●
	デスティネーション研究F(アフリカ、中東地域等)(2)	1～4	●	●	●
国際ビジネス関係論(2)	3・4	●	● ^{注3}	●	

※グローバル・マネジメント専攻専門科目は、他学部・他学科開放科目の対象外です。

注1：2025年度以前入学生は2年次から履修が可能です。

注2：2026年度以降入学生は「日本語教育実習(2)」となります。

注3：2022年度以降入学生のみ履修が可能です。

産学連携教育プログラムの履修

産学連携教育プログラムとは、社会との接点、いわば大学教育と企業等社会とのパイプとなるもので、本学の美学教育の一環として開設する実学・実践的なプログラムです。

履修希望者は、必ず4月1日（水）の産学連携教育プログラム履修ガイダンスに出席してください。履修が許可されたプログラムについては、やむを得ない理由を除き、原則として途中で辞退することはできません。

なお、修得単位は、共通科目の「キャリア形成教育」の卒業要件単位に算入されます。詳細は、産学連携教育プログラム履修ガイダンス時に配布される資料及び『シラバス』で確認してください。

1 ビジネスコミュニケーションプログラム

【先着順／定員各回20名】

本プログラムは、人間関係構築の視点からマナーと日本語によるコミュニケーションについて学び、人間が人間らしく生き、日常生活をスムーズに送り、そしてビジネスの世界においては安心と信頼から成る人間関係を構築するためのスキルを修得することを目的としたプログラムです。

授業科目名（単位数）	年次
ビジネスコミュニケーションA(1)	1
ビジネスコミュニケーションB(1)	1

【履修方法】

- 1 手続期間等（前学期）
第1・2回 4月6日（月）から先着順
第3回 7月3日（金）から先着順
※各回の日程等の詳細については、掲示等で確認してください。
- 2 取扱窓口
学事課（教務担当）窓口

- 注意 1** 後学期開講スケジュール等については、後学期の授業開始前に掲示します。
- 注意 2** 授業内容はA・B同一で、2科目2単位（2回）まで受講できます。
- 注意 3** 本プログラムの単位数は、履修単位数の上限には含まれません。
- 注意 4** スケジュール上、4年（8学期）の学生は単位の認定を受けることができない回がありますので掲示等をよく確認してください。

2 野村證券ファイナンスプログラム（寄附講座）

【選抜／定員50名】

野村證券株式会社との連携による寄附講座です。日常生活を取り巻く環境が著しく変化している中、「自己責任の原則」の下、一般生活者・消費者又は貯蓄・投資者として賢くふるまうためのファイナンスに関する実践的な知識を修得することができます。野村證券株式会社の現役スタッフが証券市場の話題を中心に授業を行います。

授業科目名（単位数）	年次
資本市場の役割と証券投資(2)	2

【履修方法】

- 1 産学連携教育プログラム履修ガイダンスに出席し、「履修希望カード」を提出する。
- 2 履修希望科目の初回授業に出席する。
- 3 履修登録期間中にWebポータルシステムで履修登録を行う。

3 Trip7 AIデータサイエンスプログラム（寄附講座）

株式会社Trip7ホールディングスとの連携によるプログラムです。

授業科目名（単位数）	年次
ビジネス実務におけるAIデータサイエンスⅠ(2)	2
ビジネス実務におけるAIデータサイエンスⅡ(2)	

4 浦安商工会議所起業プログラム（寄附講座）

【選抜／定員24名】

浦安商工会議所との連携による寄附講座です。起業を身近な選択肢の一つとして捉え直し、学生自身が社会課題や身近な違和感を出発点としてビジネスアイデアを考え、事業計画として形にする能力を養成します。浦安商工会議所推薦の起業に精通した税理士、中小企業診断士、コンサルタント、起業家、金融機関担当者等の実務家が講師となり、それぞれの実務経験を活かした実践的な内容を学ぶことができるプログラムです。

授業科目名（単位数）	年次
はじめての起業講座 (Start up Basics) (2)	2

【履修方法】

- 1 産学連携教育プログラム履修ガイダンスに出席し、「履修希望カード」を提出する。
- 2 履修希望科目の初回授業に出席する。
- 3 履修登録期間中にWebポータルシステムで履修登録を行う。

5 日経・ビジネスプログラム

日経メディアプロモーション株式会社との連携によるプログラムです。

授業科目名（単位数）	年次
日経・ビジネスプログラム(4)	2

6 サイマル・アカデミー通訳者養成特別プログラム

【選抜／定員2名】

株式会社サイマル・インターナショナルとの連携による英語通訳者養成のプログラムです。同社が開設しているサイマル・アカデミーの通訳コースに入り本格的な通訳スキルを修得するもので、サイマル・アカデミーの授業料等の減免及び本学からの奨学金の給付制度があります。また、本プログラムを履修する希望者は、通訳業務に関連したインターンシップを行うことができます。

なお、今年度については、10月入学（履修）の募集となります。詳細については、掲示を確認してください。

サイマルにおける対応コース及びクラス等（英語コース）		本学における単位認定科目名（単位数）
サイマル・インターナショナルにおける通訳補助業務研修		サイマル・インターンシップ(2)
通訳コース (それぞれ週4時間 半年)	通訳 I	通訳入門 I (英語)(4)
	通訳 II	通訳入門 II (英語)(4)
	通訳 III	逐次通訳基礎 I (英語)(4)
	通訳 IV	逐次通訳基礎 II (英語)(4)

II

編入学生・学士入学生 特記事項

編入学生・学士入学生を対象とした項目です。

編入学生・学士入学生特記事項

1 修業年限と在学期間

修業年限とは、本学の教育課程を修了するために必要な期間で、3年次に編入学・学士入学した者については通算2年（4学期）と定めています。また、在学期間とは、本学に在籍することができる期間で、上限を通算4年（8学期）と定めています。

修業年限 通算2年（4学期）

在学期間 通算4年（8学期）以内

2 2年間の学修計画

編入学生・学士入学生は、3年次から本学での学修を開始しますが、卒業までの2年間で、個々の興味に応じた体系的な履修を行うためには、既修得単位の取扱いや卒業要件はもちろんのこと、履修上の規則等を十分理解し、綿密な学修計画を立てることが必要です。

3 既修得単位の認定（包括・弾力認定）

編入学・学士入学前の大学・短期大学等において修得した単位は、当該大学・短期大学等における学修を尊重し、その科目の分野等を問わず、62単位を包括・弾力的に本学において修得したものと認定します。

4 卒業要件

3年次に編入学・学士入学した者は、本学において2年（通算4学期）以上在学（休学期間を除く。）し、学則に定められた卒業所要単位を修得した場合に卒業が認定されます。

卒業に必要な単位数（最低）は、次のとおりです。

グローバル・マネジメント専攻

授 業 科 目 区 分		卒業に必要な単位数	編入学・学士入学時に認定される単位数		編入学・学士入学後に修得が必要な単位数	
共通科目		32	32		-	
専門科目	必 修	72	12	※ 14	60	※ △14 (弾力認定)
	選択必修	20	4		16	
合 計		124	62		62	

※入学前の学修状況（修得科目等）により個別に合計14単位認定する。

参照⇒具体的な授業科目名称及び必修・選択必修・選択の内訳等→「教育課程表」

観光専攻

授 業 科 目 区 分		卒業に必要な単位数	編入学・学士入学時に認定される単位数		編入学・学士入学後に修得が必要な単位数	
共通科目		32	32		-	
専門科目	必 修	48	22		26	
	選択必修	44	8		36	
合 計		124	62		62	

参照⇒具体的な授業科目名称及び必修・選択必修・選択の内訳等→「教育課程表」

経営情報専攻

授 業 科 目 区 分		卒業に必要な単位数	編入学・学士入学時に認定される単位数		編入学・学士入学後に修得が必要な単位数	
共通科目		32	32		-	
専門科目	必 修	64	16	※ 14	48	※ △14 (弾力認定)
	選択必修	28	-		28	
合 計		124	62		62	

※入学前の学修状況（修得科目等）により個別に合計14単位認定する。

参照⇒具体的な授業科目名称及び必修・選択必修・選択の内訳等→「教育課程表」

5 その他

[1] クラス指定

編入学生・学士入学生のクラス分けは行いません。ただし、授業科目の性質から、適正人数（少人数等）で授業を行うためにクラス指定された場合は、授業担当教員の指示に従ってください。

[2] 修得(認定)済科目の履修

編入学・学士入学時に個別に認定された科目及び編入学・学士入学後に単位を修得又は認定された科目は、履修することができません。

6 教育課程表(編入学生・学士入学生用)

II

編入学生・学士入学生特記事項

編・学

ホスピタリティ・ツーリズム学部 ホスピタリティ・ツーリズム学科 グローバル・マネジメント専攻 教育課程表(2024年度以降編入学・学士入学生用)

2026年度版(24-26HT編・学-GMM)

授業科目区分		授業科目名称・配当年次等 (●は必修、(留)は外国人留学生特別入学試験によって入学した学生対象科目、()の数字は単位数)				編入学・ 学士入学時に 認定される 単位数	編入学・ 学士入学後に 修得が必要な 単位数(最低)					
		1年次	2年次	3年次	4年次							
共通 科目	基礎教育	●学修の基礎Ⅰ(2) ●学修の基礎Ⅱ(2) ●学修の基礎Ⅲ-a(2) ●学修の基礎Ⅲ-b(情報リテラシー)(2)				32 (編入学・学士入学 後認定)	-					
	人間形成	人間存在の課題(2) コミュニケーション論(2) スポーツ科学講義A(2) <単位認定科目>	社会生活と倫理(2) 心理学(2) スポーツ科学講義B(2) ボランティア活動A(2) ボランティア活動B(2)	文学の世界(2) からだと健康(2) スポーツ科学演習A(2) ボランティア活動B(2)	人類と文化(2) 日本人の生活意識(2) スポーツ科学演習B(2)		美とは何か(2) 性格とは何か(2) ボランティア講義(2)	記号と論理(2) 生命と遺伝子(2)	-			
	国際理解	日本の歴史(2) 日本語と日本文化B(留)(2) スペイン語とスペイン文化B(2) 英語文化研究B(2) <単位認定科目>	国際関係論(2) フランス語とフランス文化A(2) 韓国語と韓国文化A(2) 異文化実地研修A(2)	国際貢献論(2) フランス語とフランス文化B(2) 韓国語と韓国文化B(2) 異文化実地研修B(2)	民族と宗教(2) ドイツ語とドイツ文化A(2) 中国語と中国文化A(2)		異文化コミュニケーション論(2) ドイツ語とドイツ文化B(2) 中国語と中国文化B(2)	日本語と日本文化A(留)(2) スペイン語とスペイン文化A(2) 英語文化研究A(2)	-			
	社会生活	法学(2) 日本企業論(2) データのまとめ方(2)	日本国憲法(2) 地理と環境(2) 数理の世界(2)	経済のしくみ(2) 自然環境論(2) 身近な物理(2)	社会と生活(2) 都市と生活(2) 現代物理のはなし(2)		政治のしくみ(2) 生活と安全(2) 身近な化学(2)	社会思想史(2) 行動科学(2) 科学技術と社会(2)	-			
	キャリア形成教育	●キャリアプランニングⅠ(2)	●キャリアプランニングⅡ(2) ●キャリアプランニングⅢ(2)	キャリアデザイン(4)				-				
	<単位認定科目>		インターンシップA(2) ビジネススキルA(2)	インターンシップB(2) ビジネススキルB(2)	インターンシップC(2) ビジネススキルC(2)		インターンシップD(2) ビジネススキルD(2)					
	<他学部・他学科開放科目(キャリア形成教育)>		*「他学部・他学科開放科目の履修」を参照してください。→P.70									
	<産学連携教育プログラム>		*「産学連携教育プログラムの履修」を参照してください。→P.75									
	浦安商工会議所起業プログラム(寄附講座)		野村證券ファイナンスプログラム(寄附講座)		Trip7 AIデータサイエンスプログラム(寄附講座)							
	サイマル・アカデミー通訳者養成特別プログラム											
専門 科目	基本科目	●Academic EnglishⅠ(1) ●Academic EnglishⅡ(1) ●Academic EnglishⅢ(1) ●Academic EnglishⅣ(1)				4 (編入学・学士入学 後認定)	-					
	応用科目	English WritingⅠ-a(1) English WritingⅠ-b(1) English SpeakingⅠ-a(1) English SpeakingⅠ-b(1)				-	-					
	発展科目	Advanced English skills A(1) 日本語A(1) 中国語Ⅰ-a(1)		Advanced English skills B(1) 日本語C(1) 中国語Ⅱ-a(1)		Advanced English skills C(1) 日本語E(1) 中国語Ⅱ-b(1)		4 (編入学・学士入学 後認定)	-			
	基本科目	●日本文化論(2) ●文化と芸術(2)				[14]※1 (編入学・学士入学 後認定)	6 ※2					
	応用科目	世界遺産論(2) デスティネーション研究B(ヨーロッパ)(2)		デスティネーション研究C(南北アメリカ)(2) デスティネーション研究D(アジア)(2)		デスティネーション研究E(オセアニア、太平洋地域)(2) デスティネーション研究F(アフリカ、中東地域等)(2)		-				
	基本科目	●ホスピタリティ論(2) ●ホスピタリティ・ツーリズム学Ⅰ(2) ●ホスピタリティ・ツーリズム学Ⅱ(2)				[14]※1 (編入学・学士入学 後認定)	6 ※2					
	応用科目	<単位認定科目>ホスピタリティ・ツーリズム産業実地研修A・B・C・D・E・F・G・H(インターンシップ)(各4) ホスピタリティ・ツーリズム産業海外研修A・B(インターンシップ)(各2)				-	-					
	発展科目	エアラインビジネス論(2) ホテルビジネス論(2) 交流創造ビジネス論(2)				[14]※1 (編入学・学士入学 後認定)	2 ※2					
	産業研究 科目	ホスピタリティ・ツーリズム産業研究A (フード・ビバレッジ)(2)	ホスピタリティ・ツーリズム産業研究B (コンシェルジュ/ビジネスネットワーク)(2)	ホスピタリティ・ツーリズム産業研究C (法規)(2)	ホスピタリティ・ツーリズム産業研究D (エンターテインメント/テーマパーク/ビジネス)(2)	ホスピタリティ・ツーリズム産業研究E (MICE)(2)	ホスピタリティ・ツーリズム産業研究F (地域創生)(2)	ホスピタリティ・ツーリズム産業研究G (社会と観光)(2)	ホスピタリティ・ツーリズム産業研究H (エコマーズ)(2)	ホスピタリティ・ツーリズム産業研究I (クルーズビジネス)(2)	[14]※1 (編入学・学士入学 後認定)	6 ※2
	基礎科目	●マーケティング概論(2) ●マネジメント総論(2)				[14]※1 (編入学・学士入学 後認定)	4 ※2					
基本科目	●アカウントティング基礎(2) ●統計学Ⅰ(2)		●ファイナンス基礎(2) ●リーダーシップ論(2) ●異文化マネジメント論(2)		●イノベーション概論(2) ●国際ビジネス関係論(2) ●経営戦略論(2) ●サービス・マーケティング論(2) ●サービス経済論(2)		●経済学概論(2) ●デスティネーション・マーケティング論(2) ●デスティネーション・マネジメント論(2) ●ヒューマンリソースマネジメント論(2) ●リスクマネジメント論(2)		[14]※1 (編入学・学士入学 後認定)	36 ※2		
応用科目	特別講義A(2) 特別講義B(2)		交通経済システム論A(2) 交通経済システム論B(2)				[14]※1 (編入学・学士入学 後認定)	2 ※2				
発展科目	エアラインマネジメント論(2) 観光事業マネジメント論(2)		フード&ビバレッジマネジメント論(2) ホテルマネジメント論(2)				[14]※1 (編入学・学士入学 後認定)	4 ※2				
演習 科目	グローバル・マネジメント実践演習A(ホテル商品企画)(2) グローバル・マネジメント実践演習B(地域研究)(2)				[14]※1 (編入学・学士入学 後認定)	2 ※2						
ケーススタディ	●プレゼミナールⅠ-a(2) ●プレゼミナールⅠ-b(2)		●プレゼミナールⅡ-a(2) ●プレゼミナールⅡ-b(2)		●ケーススタディⅠ-a(2) ●ケーススタディⅠ-b(2)		●ケーススタディⅡ-a(2) ●ケーススタディⅡ-b(2)		8 (編入学・学士入学 後認定)	8		
合計卒業要件単位数(最低)						62	62					

※1 入学前の学修状況(修得科目等)により、国際教養、ホスピタリティ・ツーリズム、マネジメント及び演習区分の科目から個別に合計14単位認定します。

※2 編入学・学士入学後に修得が必要な授業科目は、※1で認定される授業科目により異なります。

注意 <他学部・他学科開放科目(専門科目)>の単位を修得した場合、その単位数は卒業要件には算入されません。→P.70

■ 履修方法

次のとおり合計62単位以上修得しなければならない。(具体的な科目名称等については、[教育課程表](#)を参照してください。)

授業科目区分		卒業要件 単位数 (○は必修)	編入学・ 学士入学時に 認定される 単位数	編入学・ 学士入学後に 修得が必要な 単位数	履 修 方 法	
共通 科目	基礎教育 [特別科目]	⑧	32	-	(履修できません。)	
	人間力形成教育	人間形成			4	(卒業要件には算入されません。)
		国際理解			4	
		社会生活			4	
	キャリア形成教育	⑥			(履修できません。)	
	その他(人間力形成教育・ キャリア形成教育)	6				(卒業要件には算入されません。)
	計	32			32	
専門 科目	コミュニケーション	基本科目	④	4	-	(履修できません。)
		応用科目	-	-	-	(卒業要件には算入されません。)
		発展科目	4	4	-	(卒業要件には算入されません。)
	国際教養	基本科目	⑥	14※1	6※2	必修 国際教養基本科目6単位修得(認定単位数を含む。)
		応用科目	-	-	-	(卒業要件には算入されません。)
	ホスピタリティ・ツーリズム	基本科目	⑥	14※1	6※2	必修 ホスピタリティ・ツーリズム基本科目6単位修得(認定単位数を含む。)
		応用科目	-	-	-	(卒業要件には算入されません。)
		発展科目	2	14※1	2※2	選択必修 ホスピタリティ・ツーリズム発展科目から2単位修得(認定単位数を含む。)
		産業研究科目	6	14※1	6※2	選択必修 ホスピタリティ・ツーリズム産業研究科目から6単位修得(認定単位数を含む。)
	マネジメント	基礎科目	④	14※1	4※2	必修 マネジメント基礎科目から4単位修得(認定単位数を含む。)
		基本科目	③⑥	14※1	36※2	必修 マネジメント基本科目から36単位修得(認定単位数を含む。)
		応用科目	2	14※1	2※2	選択必修 マネジメント応用科目から2単位修得(認定単位数を含む。)
		発展科目	4	14※1	4※2	選択必修 マネジメント発展科目から4単位修得(認定単位数を含む。)
	演習	演習科目	2	14※1	2※2	選択必修 演習科目から2単位修得(認定単位数を含む。)
	ケーススタディ	⑩⑥	8	8	必修 全4科目8単位修得	
	計	92	30	62	-	
	合計	124	62	62	-	

※1 入学前の学修状況(修得科目等)により個別に合計14単位認定します。

※2 編入学・学士入学後に修得が必要な授業科目は、※1で認定される授業科目により異なります。

卒業要件単位数	124単位
編入学・学士入学時認定単位数	62単位
編入学・学士入学後に修得しなければならない単位数	62単位

II

編入学・学士入学学生特記事項

編・学

教育課程表

ホスピタリティ・ツーリズム学科グローバル・マネジメント専攻

ホスピタリティ・ツーリズム学部 ホスピタリティ・ツーリズム学科 観光専攻 教育課程表(2024年度以降編入学生・学士入学生用)

2026年度版(24-26HT編・学-観光)

授業科目区分		授業科目名称・配当年次等				編入学・ 学士入学時に 認定される 単位数	編入学・ 学士入学後に 修得が必要な 単位数(最低)	
		(●は必修、(留)は外国人留学生特別入学試験によって入学した学生対象科目、()の数字は単位数)						
		1年次	2年次	3年次	4年次			
共通科目	基礎教育	●学修の基礎Ⅰ(2) ●学修の基礎Ⅱ(2) ●学修の基礎Ⅲ-a(2) ●学修の基礎Ⅲ-b (情報リテラシー)(2)	特別科目 アカデミック日本語Ⅰ(留)(2) アカデミック日本語Ⅱ(留)(2) アカデミック日本語Ⅲ(留)(2) アカデミック日本語Ⅳ(留)(2)					
	人間形成	人間存在の課題(2) コミュニケーション論(2) スポーツ科学講義A(2) <単位認定科目>	社会生活と倫理(2) 心理学(2) スポーツ科学講義B(2) ボランティア活動A(2) ボランティア活動B(2)	文学の世界(2) からだと健康(2) スポーツ科学演習A(2) ボランティア活動B(2)	人類と文化(2) 日本人の生活意識(2) スポーツ科学演習B(2)	美とは何か(2) 性格とは何か(2) ボランティア講義(2)	記号と論理(2) 生命と遺伝子(2)	
	国際理解	日本の歴史(2) 日本語と日本文化B(留)(2) スペイン語とスペイン文化B(2) 英語文化研究B(2) <単位認定科目>	国際関係論(2) フランス語とフランス文化A(2) 韓国語と韓国文化A(2) 異文化実地研修A(2)	国際貢献論(2) フランス語とフランス文化B(2) 韓国語と韓国文化B(2) 異文化実地研修B(2)	民族と宗教(2) ドイツ語とドイツ文化A(2) 中国語と中国文化A(2)	異文化コミュニケーション論(2) ドイツ語とドイツ文化B(2) 中国語と中国文化B(2)	日本語と日本文化A(留)(2) スペイン語とスペイン文化A(2) 英語文化研究A(2)	
	社会生活	法学(2) 日本企業論(2) データのまとめ方(2)	日本国憲法(2) 地理と環境(2) 数理の世界(2)	経済のしくみ(2) 都市と生活(2) 身近な物理(2)	社会と生活(2) 生活と安全(2) 現代物理のはなし(2)	政治のしくみ(2) 生活と安全(2) 身近な化学(2)	社会思想史(2) 行動科学(2) 科学技術と社会(2)	
	キャリア形成教育	●キャリアプランニングⅠ(2)	●キャリアプランニングⅡ(2) ●キャリアプランニングⅢ(2)		キャリアデザイン(4)			
		<単位認定科目>	インターンシップA(2) ビジネススキルA(2)	インターンシップB(2) ビジネススキルB(2)	インターンシップC(2) ビジネススキルC(2)	インターンシップD(2) ビジネススキルD(2)		
		<他学部・他学科開放科目(キャリア形成教育)>	*「他学部・他学科開放科目」の履修を参照してください。→P.70					
		<産学連携教育プログラム>	*「産学連携教育プログラムの履修」を参照してください。→P.75					
		浦安商工会議所起業プログラム(寄附講座)	野村證券ファイナンスプログラム(寄附講座)	日経・ビジネスプログラム	Trip7 AIデータサイエンスプログラム(寄附講座)	サイマル・アカデミー通訳者養成特別プログラム		
	専門科目	コミュニケーション	●Academic English I(1) ●Academic English II(1) ●English Grammar I-a(1) ●English Grammar I-b(1) ●サービスコミュニケーション実習Ⅰ-a(1) ●サービスコミュニケーション実習Ⅰ-b(1) English Writing I-a(1) English Writing I-b(1) English Speaking I-a(1) English Speaking I-b(1)	●English Grammar II-a(1) ●English Grammar II-b(1) ●パーソナル・コミュニケーションリテラシーⅠ(2) ●パーソナル・コミュニケーションリテラシーⅡ(2)				
		●Academic EnglishⅢ(1) ●Academic EnglishⅣ(1)	English WritingⅡ-a(1) English WritingⅡ-b(1)	English SpeakingⅡ-a(1) English SpeakingⅡ-b(1)				
			サービスコミュニケーション実習Ⅱ(1)					
		Advanced English skills A(一般会話)(1) Advanced English skills B(ビジネス会話)(1)	Advanced English skills C(TOEIC 650+)(1) Advanced English skills D(TOEIC 700+)(1)	Advanced English skills E(Reading)(1) Advanced English skills F(Writing)(1)				
国際教養		日本文化論(2) デスティネーション研究A(日本)(2) デスティネーション研究B(ヨーロッパ)(2)	世界遺産論(2) デスティネーション研究C(南北アメリカ)(2) デスティネーション研究D(アジア)(2)		デスティネーション研究E(オセアニア、太平洋地域)(2) デスティネーション研究F(アフリカ、中東地域等)(2)			
ホスピタリティ・ツーリズム		●ホスピタリティ論(2) ●ホスピタリティ・ツーリズムⅠ(2) ●ホスピタリティ・ツーリズムⅡ(2)	●エアラインビジネス論(2) ●ホテルビジネス論(2) ●交流創造ビジネス論(2)		●ラクチャー論(2) 国際ホスピタリティビジネス研究(2)			
				ホスピタリティ・ツーリズム産業研究A(フード・ピバレッジ)(2) ホスピタリティ・ツーリズム産業研究B(フライダル・フェーネラルビジネス)(2) ホスピタリティ・ツーリズム産業研究C(法規)(2) ホスピタリティ・ツーリズム産業研究D(エンターテイメント/テーマパークビジネス)(2) ホスピタリティ・ツーリズム産業研究E(MICE)(2) ホスピタリティ・ツーリズム産業研究F(地域創生)(2) ホスピタリティ・ツーリズム産業研究G(フライダルⅠ)(2) ホスピタリティ・ツーリズム産業研究H(フライダルⅡ)(2) ホスピタリティ・ツーリズム産業研究I(クルーズビジネス)(2) ホスピタリティ・ツーリズム産業研究J(トラベルエージェンツ実務)(2)				
		ホスピタリティ・ツーリズム実習Ⅰ(インフィニ国際線予約システム予約編-初中級)(1) <単位認定科目> ホスピタリティ・ツーリズム産業実地研修A・B・C・D・E・F・G・H(インターンシップ)(各4) ホスピタリティ・ボランティア活動(ボランティア)(4) ホスピタリティ・ツーリズム産業海外研修A・B(インターンシップ)(各2)		ホスピタリティ・ツーリズム実習Ⅱ(インフィニ国際線予約システム運賃編-上級)(1)				
ビジネス		●マーケティング概論(2) ●アカウント基礎(2)	●マネジメント総論(2) イノベーション概論(2)	統計学Ⅰ(2) 統計学Ⅱ(2) 倫理とコンプライアンス(2) リーダーシップ論(2)	IoTテクノロジー基礎(2) 異文化マネジメント論(2) 特別講義A(2) 特別講義B(2)	デジタルイノベーション概論(2) データ解析基礎(2) グローバル管理基礎(2)		
				国際ビジネス関係論(2) 経営戦略論(2) サービス・マーケティング論(2) デスティネーション・マーケティング論(2) デスティネーション・マネジメント論(2) ヒューマンリソースマネジメント論(2) リスクマネジメント論(2)	交通経済システム論A(2) 交通経済システム論B(2) エアラインマネジメント論(2) 観光事業マネジメント論(2) フード&ピバレッジマネジメント論(2) ホテルマネジメント論(2)			
演習			パーソナル・コミュニケーション実践演習A(ホテル商品企画)(2) パーソナル・コミュニケーション実践演習B(地域研究)(2) パーソナル・コミュニケーション実践演習E(コンシェルジュ)(2)	パーソナル・コミュニケーション実践演習C(ロジカルシンキング・ディベート)(2) パーソナル・コミュニケーション実践演習D(プレゼンテーション技法)(2)				
ケーススタディ	●プレゼミナールⅠ-a(2) ●プレゼミナールⅠ-b(2)	●プレゼミナールⅡ-a(2) ●プレゼミナールⅡ-b(2)		●ケーススタディⅠ-a(2) ●ケーススタディⅠ-b(2)	●ケーススタディⅡ-a(2) ●ケーススタディⅡ-b(2)			
合計卒業要件単位数(最低)						62	62	

注意 <他学部・他学科開放科目(専門科目)>の単位を修得した場合、その単位数は卒業要件には算入されません。→P.70

■ 履修方法

次のとおり合計62単位以上修得しなければならない。(具体的な科目名称等については、[教育課程表](#)を参照してください。)

授業科目区分		卒業要件 単位数 (○は必修)	編入学・ 学士入学時に 認定される 単位数	編入学・ 学士入学後に 修得が必要な 単位数	履 修 方 法	
共通 科目	基礎教育 〔特別科目〕	⑧	32	-	(履修できません。)	
	人間力形成教育	人間形成			4	(卒業要件には算入されません。)
		国際理解			4	
		社会生活			4	
	キャリア形成教育	⑥			(履修できません。)	
	その他〔人間力形成教育・ キャリア形成教育〕	6				(卒業要件には算入されません。)
	計	32			32	
専 門 科 目	必修科目	④⑧	22	26	必修 全13科目26単位修得	
	選択必修科目	コミュニケーション	12	8	4	選択必修 コミュニケーションから4単位修得
		国際教養	6	-	6	選択必修 国際教養から6単位修得
		ホスピタリティ・ ツーリズム	8	-	8	選択必修 ホスピタリティ・ツーリズムから8単位修得
		ビジネス	14	-	14	選択必修 ビジネスから14単位修得
		演習	4	-	4	選択必修 演習から4単位修得
	計	92	30	62	-	
合計	124	62	62	-		

卒業要件単位数	124単位
編入学・学士入学時認定単位数	62単位
編入学・学士入学後に修得しなければならない単位数	62単位

II

編入学学生・学士入学学生特記事項

編・学

教育課程表

ホスピタリティ・ツーリズム学科観光専攻

ホスピタリティ・ツーリズム学部 経営情報専攻 教育課程表(2024年度以降編入学生・学士入学生用)

2026年度版(24-26HT編・学-経情)

授業科目区分		授業科目名称・配当年次等				編入学・ 学士入学時に 認定される 単位数	編入学・ 学士入学後に 修得が必要な 単位数(最低)		
		(●は必修、(留)は外国人留学生特別入学試験によって入学した学生対象科目、()の数字は単位数)							
		1年次	2年次	3年次	4年次				
共通科目	基礎教育	●学修の基礎Ⅰ(2) ●学修の基礎Ⅱ(2) ●学修の基礎Ⅲ-a(2) ●学修の基礎Ⅲ-b (情報リテラシー)(2)	特別科目 アカデミック日本語Ⅰ(留)(2) アカデミック日本語Ⅱ(留)(2) アカデミック日本語Ⅲ(留)(2) アカデミック日本語Ⅳ(留)(2)						
	人間形成	人間存在の課題(2) コミュニケーション論(2) スポーツ科学講義A(2) <単位認定科目>	社会生活と倫理(2) 心理学(2) スポーツ科学講義B(2) ボランティア活動A(2)	文学の世界(2) からだと健康(2) スポーツ科学演習A(2) ボランティア活動B(2)	人類と文化(2) 日本人の生活意識(2) スポーツ科学演習B(2)	美とは何か(2) 性格とは何か(2) ボランティア講義(2)	記号と論理(2) 生命と遺伝子(2)		
	国際理解	日本の歴史(2) 日本語と日本文化B(留)(2) スペイン語とスペイン文化B(2) 英語文化研究B(2) <単位認定科目>	国際関係論(2) フランスとフランス文化A(2) 韓国語と韓国文化A(2) 異文化実地研修A(2)	国際貢献論(2) フランスとフランス文化B(2) 韓国語と韓国文化B(2) 異文化実地研修B(2)	民族と宗教(2) ドイツ語とドイツ文化A(2) 中国語と中国文化A(2)	異文化コミュニケーション論(2) ドイツ語とドイツ文化B(2) 中国語と中国文化B(2)	日本語と日本文化A(留)(2) スペイン語とスペイン文化A(2) 英語文化研究A(2)		
	社会生活	法学(2) 日本企業論(2) データのまとめ方(2)	日本国憲法(2) 地理と環境(2) 数理の世界(2)	経済のしくみ(2) 都市と生活(2) 身近な物理(2)	社会と生活(2) 生活と安全(2) 現代物理のはなし(2)	政治のしくみ(2) 行動科学(2) 身近な化学(2)	社会思想史(2) 科学技術と社会(2)		
	キャリア形成教育	●キャリアプランニングⅠ(2)	●キャリアプランニングⅡ(2) ●キャリアプランニングⅢ(2)		キャリアデザイン(4)				
		<単位認定科目>	インターンシップA(2) ビジネススキルA(2)	インターンシップB(2) ビジネススキルB(2)	インターンシップC(2) ビジネススキルC(2)	インターンシップD(2) ビジネススキルD(2)			
		<他学部・他学科開放科目(キャリア形成教育)>	*「他学部・他学科開放科目」の履修を参照してください。→P.70						
		<産学連携教育プログラム>	*「産学連携教育プログラムの履修」を参照してください。→P.75						
		ビジネスコミュニケーションプログラム	野村證券ファイナンスプログラム(寄附講座)	Trip7 AIデータサイエンスプログラム(寄附講座)		サイマル・アカデミー通訳者養成特別プログラム			
		浦安商工会議所起業プログラム(寄附講座)	日経・ビジネスプログラム						
専門科目	コミュニケーション	●Academic EnglishⅠ(1) ●Academic EnglishⅡ(1) ●サービスコミュニケーション実習Ⅰ-a(1) ●サービスコミュニケーション実習Ⅰ-b(1)	●Academic EnglishⅢ(1) ●Academic EnglishⅣ(1)	English GrammarⅠ-a(1) English GrammarⅠ-b(1)	English GrammarⅡ-a(1) English GrammarⅡ-b(1)	サービスコミュニケーション実習Ⅲ(1)			
		Advanced English skills A(一般会話)(1) Advanced English skills B(ビジネス会話)(1)	Advanced English skills C(TOEIC 650+)(1) Advanced English skills D(TOEIC 700+)(1)	Advanced English skills E(Reading)(1) Advanced English skills F(Writing)(1)					
	ホスピタリティ・ツーリズム	●ホスピタリティ論(2) ●ホスピタリティ・ツーリズム学Ⅰ(2) ●ホスピタリティ・ツーリズム学Ⅱ(2)	●エアラインビジネス論(2) ●ホテルビジネス論(2) ●交流創造ビジネス論(2)	ホスピタリティ・ツーリズム産業研究A(フード・ビバレッジ)(2) ホスピタリティ・ツーリズム産業研究B(フライダル・フェーネラルビジネス)(2) ホスピタリティ・ツーリズム産業研究C(法規)(2) ホスピタリティ・ツーリズム産業研究D(エンターテイメント/テーマパークビジネス)(2) ホスピタリティ・ツーリズム産業研究E(MICE)(2) ホスピタリティ・ツーリズム産業研究F(地域創生)(2) ホスピタリティ・ツーリズム産業研究G(フライダルⅠ)(2) ホスピタリティ・ツーリズム産業研究H(フライダルⅡ)(2) ホスピタリティ・ツーリズム産業研究I(クルーズビジネス)(2) ホスピタリティ・ツーリズム産業研究J(トラベルエージェント実務)(2)	ラクチャラー論(2) 国際ホスピタリティビジネス研究(2)				
		ホスピタリティ・ツーリズム実習Ⅰ(インフィニ国際線予約システム予約編-初中級)(1) ホスピタリティ・ツーリズム実習Ⅱ(インフィニ国際線予約システム運営編-上級)(1)	ホスピタリティ・ツーリズム産業実地研修A・B・C・D・E・F・G・H(インターンシップ)(各4)	ホスピタリティ・ボランティア活動(ボランティア)(4) ホスピタリティ・ツーリズム産業海外研修A・B(インターンシップ)(各2)					
	マネジメント	●マーケティング概論(2) ●統計学Ⅰ(2)	●マネジメント総論(2) ●アカウンティング基礎(2)	●ファイナンス基礎(2) ●イノベーション概論(2)	リーダーシップ論(2) 異文化マネジメント論(2)	特別講義A(2) 特別講義B(2)			
		●統計学Ⅱ(2) ●倫理とコンプライアンス(2)			国際ビジネス関係論(2) 経営戦略論(2) サービス・マーケティング論(2) デスティネーション・マーケティング論(2) デスティネーション・マネジメント論(2) ヒューマンリソースマネジメント論(2)	交通経済システム論A(2) 交通経済システム論B(2) エアラインマネジメント論(2) 観光事業マネジメント論(2) フード&ビバレッジマネジメント論(2) ホテルマネジメント論(2)			
	デジタルイノベーション	●IoTテクノロジー基礎(2) ●デジタルイノベーション概論(2) ●ロジカル思考(2)	●デザイン思考(2) ●データ解析基礎(2) ●プロポーザル管理基礎(2) <単位認定科目>	デジタル・イノベーション探究A(デジタルイノベーション・ビジネスモデル・プラットフォームビジネス)(2) デジタル・イノベーション探究B(顧客価値・顧客データ分析・CRM)(2) デジタル・イノベーション探究C(プロジェクト管理)(2) デジタル・イノベーション探究D(デジタルイノベーションとSDGs・国際社会)(2) ●デジタル・イノベーション実地研修(2)	デジタル・イノベーション探究E(オムニチャネル・OMO・D2C)(2) デジタル・イノベーション探究F(経営情報システムと情報セキュリティ)(2) デジタル・イノベーション探究G(AI・RPA・深層学習)(2)				
	演習				デジタル・イノベーション実践演習A(プロジェクト管理)(2) デジタル・イノベーション実践演習B(プロポーザル管理・交渉)(2) デジタル・イノベーション実践演習C(データマイニング)(2) デジタル・イノベーション実践演習D(デジタル・マーケティング技術)(2)				
	ケーススタディ	●プレゼミナールⅠ-a(2) ●プレゼミナールⅠ-b(2)	●プレゼミナールⅡ-a(2) ●プレゼミナールⅡ-b(2)	●ケーススタディⅠ-a(2) ●ケーススタディⅠ-b(2)	●ケーススタディⅡ-a(2) ●ケーススタディⅡ-b(2)				
	合計卒業要件単位数(最低)						62	62	

※1 入学前の学修状況(修得科目等)により、コミュニケーション、ホスピタリティ・ツーリズム、マネジメント、デジタルイノベーション及び演習区分の科目から個別に合計14単位認定します。
 ※2 編入学・学士入学後に修得が必要な授業科目は、※1で認定される授業科目により異なります。
注意 <他学部・他学科開放科目(専門科目)>の単位を修得した場合、その単位数は卒業要件には算入されません。→P.70

■ 履修方法

次のとおり合計62単位以上修得しなければならない。(具体的な科目名称等については、[教育課程表](#)を参照してください。)

授業科目区分		卒業要件 単位数 (○は必修)	編入学・ 学士入学時に 認定される 単位数	編入学・ 学士入学後に 修得が必要な 単位数	履 修 方 法	
共通 科目	基礎教育 〔特別科目〕	⑧	32	-	(履修できません。)	
	人間力形成教育	人間形成			4	(卒業要件には算入されません。)
		国際理解			4	
		社会生活			4	
	キャリア形成教育	⑥			(履修できません。)	
	その他〔人間力形成教育・ キャリア形成教育〕	6			(卒業要件には算入されません。)	
	計	32			32	-
専門 科目	コミュニケーション	必修科目	⑥	6	-	-
		選択科目	-	14※1	-	(卒業要件には算入されません。)
	ホスピタリティ・ ツーリズム	必修科目	⑫	14※1	12※2	必修 全6科目12単位修得(認定単位数を含む。)
		選択必修科目	4		4※2	選択必修 ホスピタリティ・ツーリズムから4単位修得(認定単位数を含む。)
	マネジメント	必修科目	⑮	14※1	16※2	必修 全8科目16単位修得(認定単位数を含む。)
		選択必修科目	8		8※2	選択必修 マネジメントから8単位修得(認定単位数を含む。)
	デジタルイ ンゼーション	必修科目	⑭	14※1	12※2	必修 全7科目14単位修得(認定単位数を含む。)
		選択必修科目	12		12※2	選択必修 デジタルイノベーションから12単位修得(認定単位数を含む。)
	演 習	4	14※1	4※2	選択必修 演習から4単位修得(認定単位数を含む。)	
	ケーススタディ	⑮	8	8	必修 全4科目8単位修得	
計	92	30	62	-		
合 計	124	62	62	-		

※1 入学前の学修状況(修得科目等)により個別に合計14単位認定します。ただし、デジタルイノベーション区分の必修科目のうち、「IoTテクノロジー基礎(2単位)」については、編入学・学士入学時に認定するため、当該14単位から除きます。

※2 編入学・学士入学後に修得が必要な授業科目は、※1で認定される授業科目により異なります。

卒業要件単位数	124単位
編入学・学士入学時認定単位数	62単位
編入学・学士入学後に修得しなければならない単位数	62単位

MEMO

A series of horizontal dotted lines for writing a memo.

時間割(控)

時限・開講期	月			火			水			木			金			土		
	授業コード	授業科目名 (単位数)	担当教員名 教室															
1 9:00 } 後学期 ・通年		()			()			()		()			()		()		()	
		()			()			()		()			()		()		()	
2 10:40 } 後学期 ・通年		()			()			()		()			()		()		()	
		()			()			()		()			()		()		()	
3 13:00 } 後学期 ・通年		()			()			()		()			()		()		()	
		()			()			()		()			()		()		()	
4 14:40 } 後学期 ・通年		()			()			()		()			()		()		()	
		()			()			()		()			()		()		()	
5 16:20 } 後学期 ・通年		()			()			()		()			()		()		()	
		()			()			()		()			()		()		()	

記入例1：必修(共通科目)
 学修の基礎 I 明海 太郎
 (2) 2101

※必修科目の場合は、授業コードに丸を付してください。

記入例2：選択必修(共通科目)
 1001 政治のしくみ 浦安 花子
 (2) 2201

1 前年度までに修得した単位数を「A 修得済単位数」欄に記入してください。
 2 今年度履修する「B 必修(共通科目)」、「C 必修(専門科目)」、「D 選択必修・選択(共通・専門科目)」の履修単位数を記入してください。
 3 上記B、C、Dを学期ごとに合計し「E 履修単位数」欄に記入してください。
 4 「A 修得済単位数」と「E 履修中単位数」を合計し、「F 合計単位数」欄に記入してください。

A 修得済単位数	B 必修(共通科目)	C 必修(専門科目)	D 選択必修・選択(共通・専門科目)
	前学期	前学期	前学期
	後学期	後学期	後学期

↑
B+C+D

E 履修単位数(※1)
前学期
後学期

↑
A+E

F 合計単位数(※2)

※1 注意事項
 ・履修単位数を算出する際、通年科目については単位数の1/2を前学期及び後学期にそれぞれ算入してください。
 例：4単位の通年科目 → 2単位(前学期)、2単位(後学期)
 ・履修単位数の上限は入学年度により異なります。
 2025年度以降入学生 → 1~4年生：各学期24単位
 2024年度以前入学生 → 1年生：各学期22単位、2年生：各学期24単位、3年生：各学期26単位、4年生：各学期28単位

※2 参考
 合計単位数の学修状況については、「履修の手引」の「年次(学期)別基準単位数」を確認し、学修計画を立てる際の参考にしてください。

教科書の購入について

「シラバス」、「授業時間割」等で授業科目名、担当教員、教科書名をよく確認し、また、授業時における担当教員からの指示に従い、各自必ず販売期間内に購入してください。



<教科書販売期間> 3月25日(水)～4月3日(金) 10:00～15:00
4月4日(土)～4月17日(金) 10:00～16:30
〔土曜日及び日曜日除く。〕

※4月4日(土)の入学式当日は販売を実施します。

<販売会場> 丸善キャンパスショップ明海大学店 特設会場

※教科書販売の詳細については、丸善キャンパスショップ明海大学店へお問い合わせください。

2026年度 履修の手引 ホスピタリティ・ツーリズム学部

2026年4月発行

編 集 明海大学浦安キャンパス学務部
学事課(教務担当)

発 行 明海大学
〒279-8550
千葉県浦安市明海1丁目
TEL (047) 350-4993(直通)
<https://www.meikai.ac.jp>



<https://www.meikai.ac.jp>